

白馬村

地域公共交通計画

令和7年3月 白馬村



目次

序章 計画策定の背景	1
第1章 地域特性の整理	3
1. 地勢・気象	3
2. 人口動向	5
3. 主要施設の立地状況	16
4. 道路基盤の状況	18
5. 観光動向	20
第2章 上位・関連計画等の把握	26
1. 上位関連計画	26
2. 各種まちづくり戦略	36
第3章 公共交通の現状分析	42
1. 交通機関別の運行状況、利用状況	42
2. 公共交通施策の取組状況	69
3. 近隣自治体の公共交通サービス状況	70
第4章 移動実態とニーズの把握	73
1. 白馬村が運行する公共交通の利用実態によるニーズの把握	73
2. 既存調査等からの移動ニーズの把握	82
第5章 公共交通を取り巻く課題の整理	84
1. 現計画の事業評価	84
2. 地域公共交通の課題	86
第6章 基本的な方向性（公共交通のあり方）の検討	96
1. 基本的な方向性	96
2. 地域公共交通のあるべき姿（将来像）	98
第7章 地域公共交通計画の基本方針・目標の設定	100
1. 基本方針	100
2. 目標設定	102
第8章 地域公共交通に関する施策・事業の検討	104
1. 目標達成に向けて取り組む施策	104
2. 具体的な施策・事業、事業スケジュール	105
第9章 計画管理体制	120
1. 目標設定と数値目標の検討	120
2. 各主体の役割と管理体制	123
3. 事業主体、事業スケジュール	125
用語集	126



(1) 計画の背景と目的

現在における公共交通を取り巻く状況は、人口減少や新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行による新しい生活様式の浸透に伴い、民間事業者による公共交通サービス供給の縮小や、交通事業者（運転手等）不足により、益々厳しい状況となっています。そのため、公共交通サービスの維持確保については、改めて計画的かつ早期に対応することが求められています。

また、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正において、輸送資源の総動員による移動手段を確保することが求められ、MaaSの普及促進をはじめとするAI・IOT等のイノベーションの進展に伴い、これらの新たな技術を活用することも必要とされています。

こうした状況を踏まえつつ、村民生活に必要な最も効率的かつ持続可能な移動手段の確保について定め、地域公共交通の指針となる「白馬村地域公共交通計画」を策定します。

(2) 計画の区域

本計画の計画対象区域は、白馬村全域とします。

(3) 計画の位置づけ

本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、国が策定する基本方針に基づくとともに、上位計画である「白馬村第5次総合計画」及び「白馬村都市計画マスタープラン」等との整合を図ったものです。また、令和元年度に策定された「白馬村地域公共交通網形成計画」を基礎にその後の計画の進捗状況、社会情勢の変化、村民ニーズの変化等を踏まえながら、白馬村総合戦略との連携を図り、持続可能な公共交通ネットワークのあり方、地域住民や関係機関の役割分担等を示すものです。

■本計画の位置づけ

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律
(令和5年6月23日改正)

■国土交通省の基本的考え方

- ①地域ごとに、バス・タクシーの労働力確保とサービス維持を図りながら、サービスが不足する地域では、その他の移動手段を総動員して移動ニーズに対応する。
- ②その際、MaaS、AIによる配車、自動運転などの最新技術を活用して、高齢者や外国人旅行者を含む幅広い利用者を使いやすいサービスの提供を促進する。
- ③①と②について、地方公共団体が中心となって取り組める制度を充実・強化していく。

白馬村地域公共交通網形成計画(平成31年3月)

■上位計画

「白馬村第5次総合計画」後期計画
(令和3年3月)

■関連計画

「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(長野県)
「白馬村立地適正化計画」(令和3年3月)
「白馬村総合戦略まち・ひと・しごと創生」(令和元年6月)
「白馬村都市計画マスタープラン」(令和5年3月)
「白馬村高齢者福祉計画」(令和6年3月)
「白馬村子ども子育て支援事業計画」(令和6年3月)等

■既存計画の検証

- ・計画の目標値の検証

■既存計画の継続性

- ・地域公共交通計画に必要な項目・内容の確認

【白馬村地域公共交通計画】

- 基本的な方針
- 計画の区域、目標・期間
- 目標達成に向けた主要施策
- 計画の達成状況の評価に関する事項
- その他配慮すべき事項



1. 地勢・気象

(1) 地勢

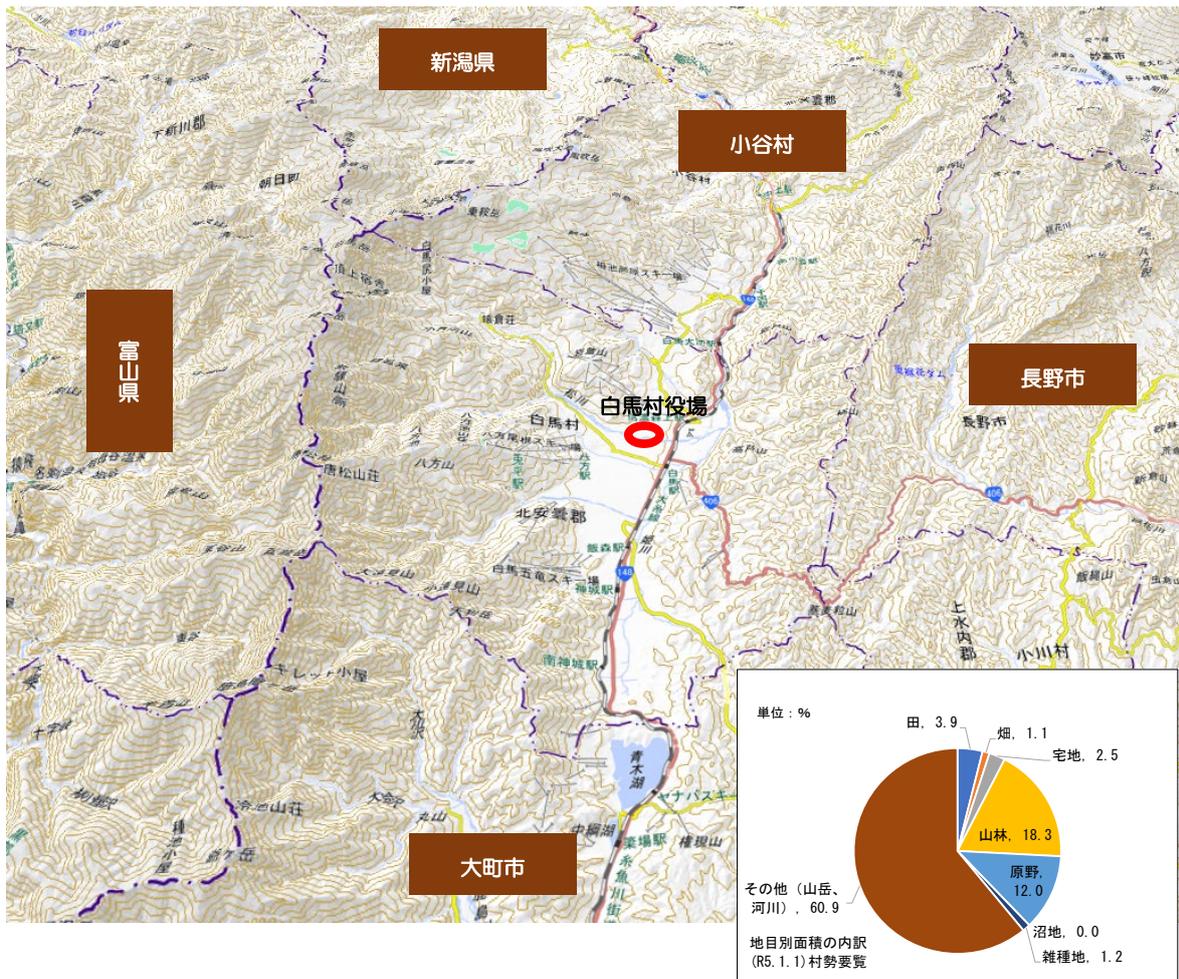
白馬村は、長野県の北西部に位置し、南北 16.8km、東西 15.7km の盆地であり、南は大田市と、西は北アルプス白馬連峰で富山県に接し、北は小谷村、東は大田市美麻、長野市鬼無里に隣接し、標高 700m の高地に位置しています。

地域の中央部を南北にフォッサマグナが走っており、この大断層地帯に白馬連峰から流れ出す河川によって扇状地が形成されています。

この中央部を一級河川姫川が南北に縦断し、生活エリアである姫川沿いの盆地を中心に、西側に 5 つのスキー場等の観光施設と宿泊施設が点在し、東側は主に中山間地の集落が点在しています。西側白馬連峰一帯は、急峻な山岳美をみせ登山・ハイキング・スキー場等観光資源となっています。

地目別では、山林原野、山岳河川の割合が 91.2% を占めています。

図 1.1.1 白馬村の位置
出典：地理院地図



(2) 気象

白馬村は冷涼な気候であり、全域が特別豪雪地帯に指定されています。

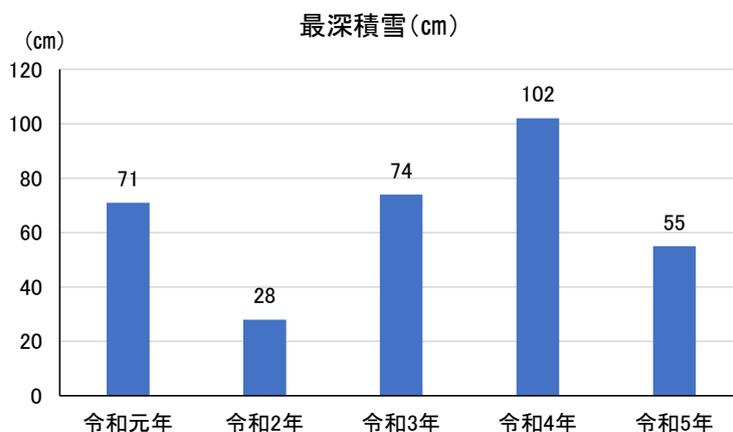
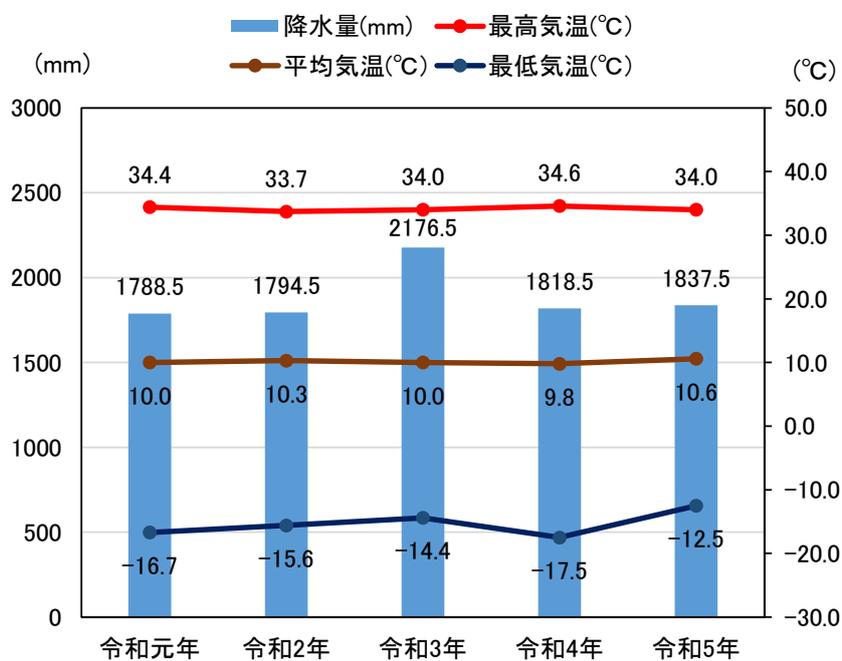
白馬村の年間降水量は 1,800~2,200mmで、これは背後に 3,000m級の北アルプスがあるため気象の変化が起きやすいことと、冬の降雪が原因といわれています。

最高気温は 34 度前後、最低気温は-15 度前後で、年平均気温は 10 度前後で推移し、ここ 5 年間大きな変動はみられません。

最深積雪は、年によって変動しており、ここ 5 年間で令和 4 年が 1mを超えて最深でした。

図 1.1.2 気温及び降水量、最深積雪の経年変化

出典：気象庁 過去の気象データ（白馬村）



2. 人口動向

(1) 総人口の推移

白馬村の総人口は、平成17年を境に減少傾向にあります。世帯数は横ばい傾向にあり核家族化が進んでいます。特に令和2年には高齢化率が20年前の約2倍、32.5%を占めており、高齢者の単身世帯も令和2年には375世帯と全世帯の10%を占めています。

一方、年少人口は減少が続いており、令和2年には1,000人を下回り、全体の11%となっています。

図 1.2.1 総人口、世帯数と高齢化率の推移

出典：国勢調査

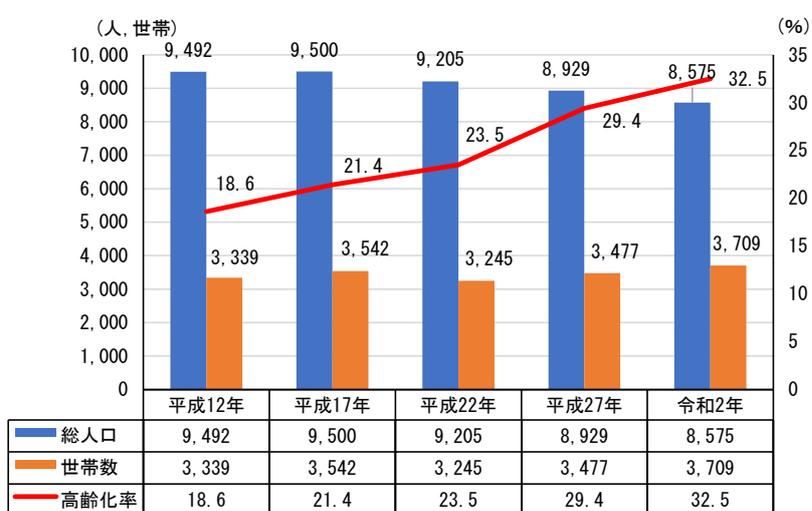
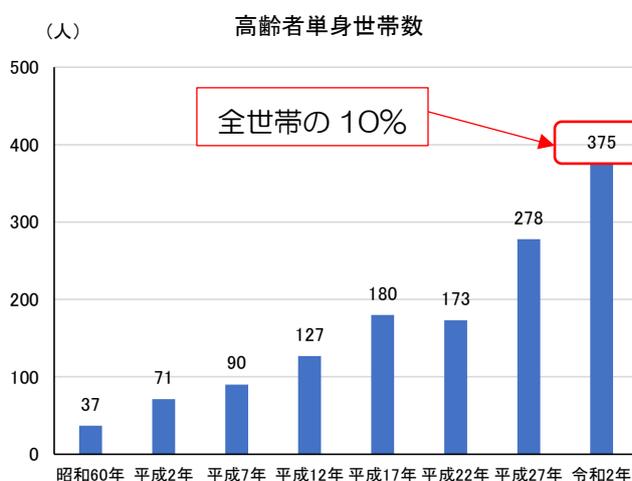


図 1.2.2 高齢者単身世帯数の推移

図 1.2.3 年少人口の推移

出典：国勢調査



(2) 年齢別人口の推移

白馬村の年齢別人口は次のように推移しています。

①年少人口

年少人口の減少スピードは県平均より速くなっています。

②生産年齢人口

総人口のグラフと、ほぼ同じ曲線を描き推移し、平成 12 年の 6,184 人をピークに減少傾向が強くなっています。

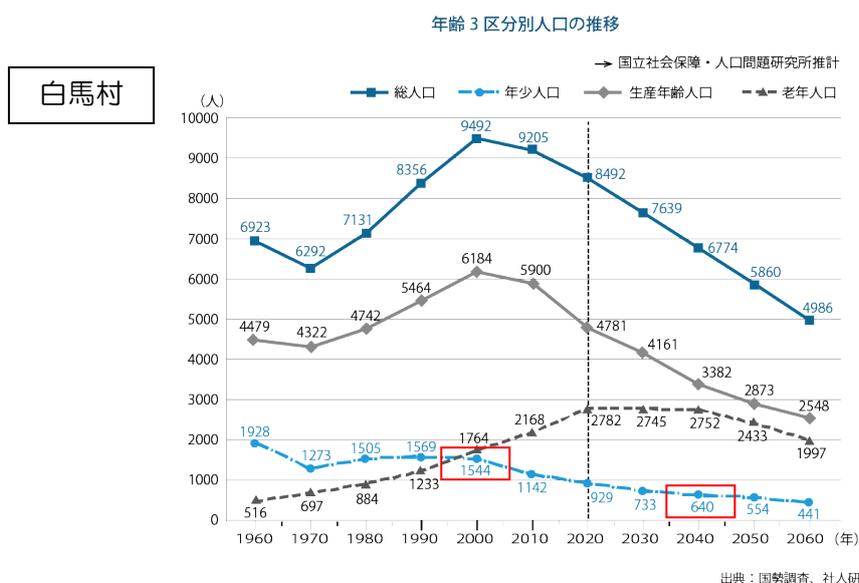
③老年人口

令和 22 年までは上昇ペースが続いていますが、総人口が減少していることを踏まえれば、高齢化率が加速度的に上昇することが危惧されます。

図 1.2.4 年齢 3 区分別人口の推移

出典：白馬村第 5 次総合計画後期計画（令和 3 年 3 月）

令和 22 年の長野県の人口の見通し（長野総研）



長野県

■年少人口の減少率

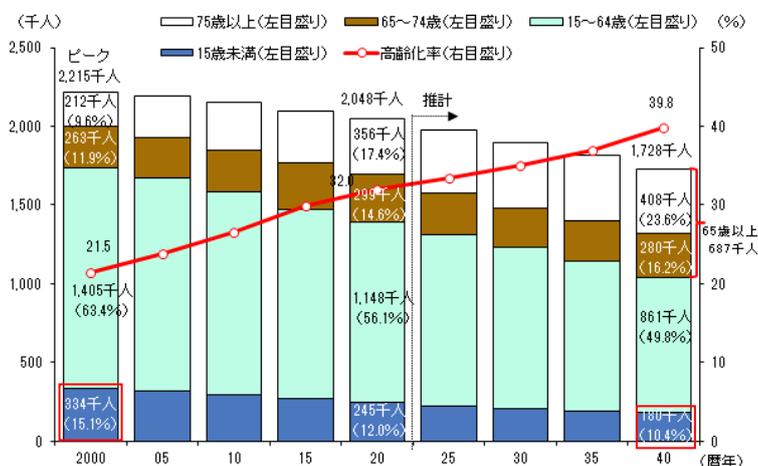
平成 12 年～令和 22 年の伸び率

白馬村

1,544 人→640 人(-59%)

長野県

334,000 人→180,000 人(-46%)



(3) 人口の分布とその増減

【人口】

人口の分布をみると、JR大系線沿線、特に白馬駅西側に広がっています。

特に人口が多いのは、住宅、別荘、営業施設が混在するみそら野区で約1,000人、神城駅を中心とした飯田区で約900人、白馬駅や飯森駅周辺の白馬町区、飯森区の4区です。北東の3区と周辺の2区で50人未満の区があり、周辺の5区では100人未満の地区がみられます。

【世帯数】

JR大系線沿いの地区には、100世帯以上の地区が分布していますが、周辺部では50世帯未満や青鬼区、立の間区のように10世帯未満の地区があります。

【人口増加率】

過去5年間の人口増加率をみると、増加している地区は堀之内区、三日市場区、瑞穂区など8区です。特に減少が著しいのは、通区、青鬼区、山麓区の3区であり、30%を超えています。

【65歳以上割合】

65歳以上の高齢者の割合が高い地区は、通区の81.3%、どんぐり区53.9%、内山区52.2%など3区で50%を超えています。

(4) 外国人住民数と割合の変化

村内の外国人は、基準日となる3月末では、350人から900人で推移しています。この中には、冬期に宿泊施設に住み込みで働く人が含まれ、毎年12月から3月頃まで一時的に増加しています。

八方周辺及び飯田区で100人を超えています。

図 1.2.5 外国人住民数及び割合の推移と分布

出典：白馬村資料（各年3月末）

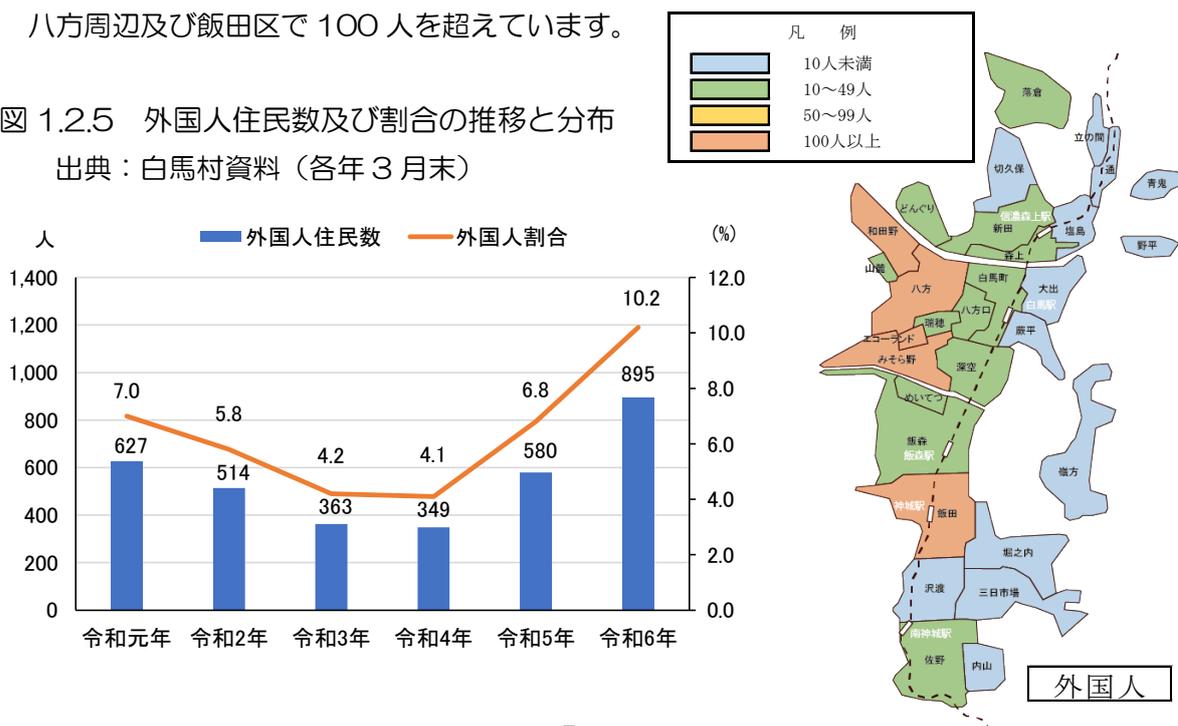


図 1.2.6 250mメッシュデータによる人口の分布

出典：令和2年国勢調査

■人口総数の分布

■65歳以上人口の分布

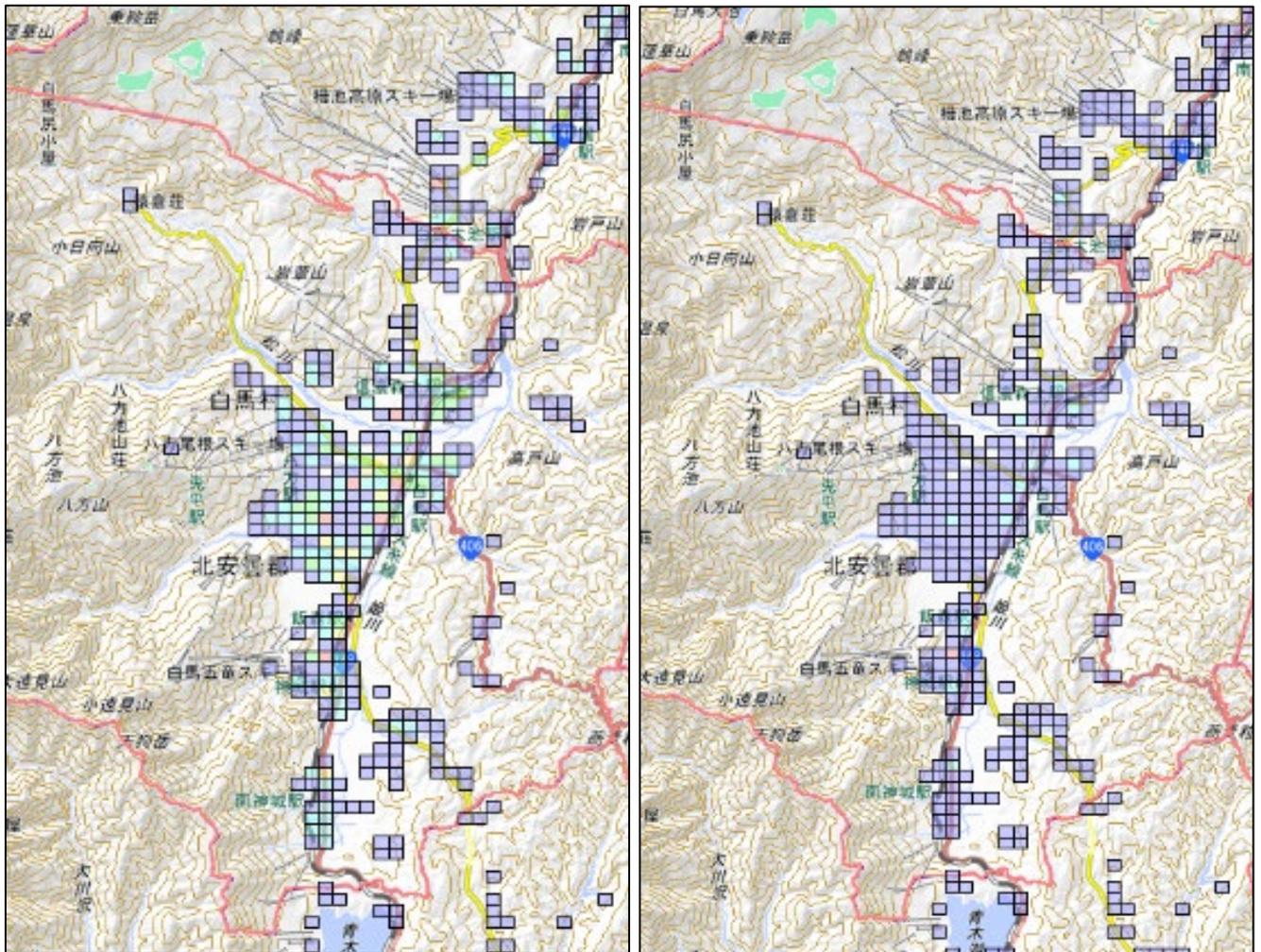
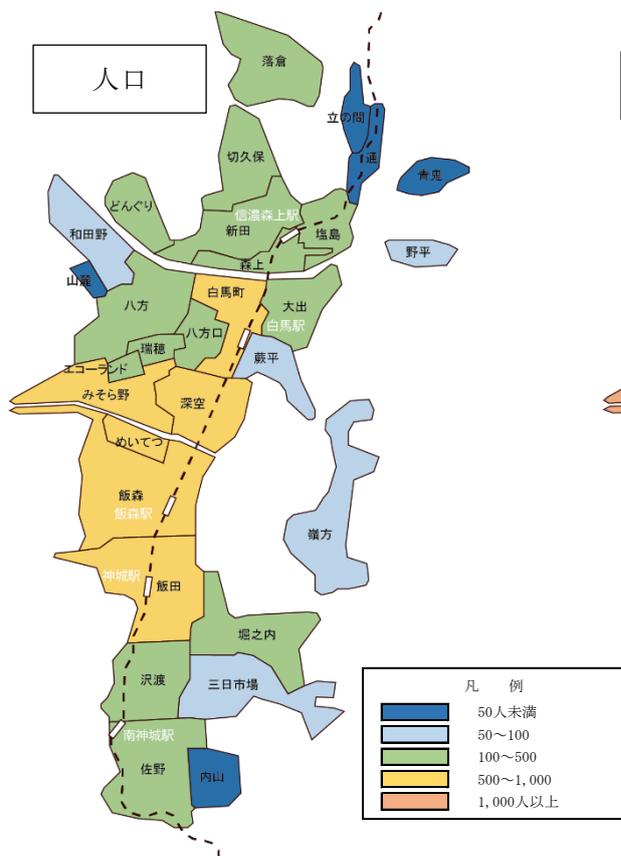
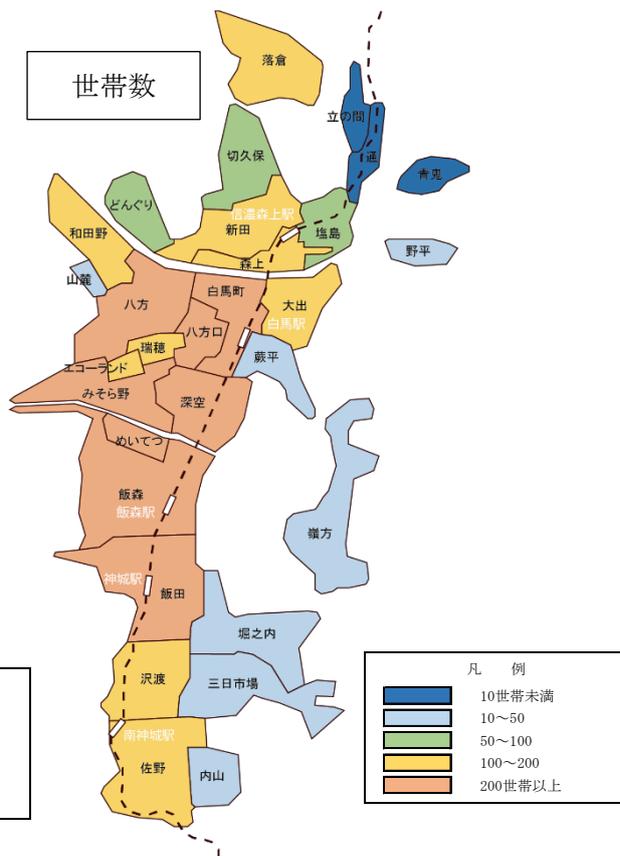


図 1.2.7 行政区別人口
出典：令和2年国勢調査



人口	平成27年	令和2年
内山	59	46
佐野	381	294
沢渡	307	241
三日市場	61	93
堀之内	108	195
飯田	1,054	887
飯森	814	786
めいてつ	—	—
深空	555	548
みそら野	904	973
エコーランド	367	330
瑞穂	215	311
八方口	415	416
白馬町	888	851
八方	481	466
山麓	50	35
和田野	189	195
大出	377	379
蕨平	78	68
嶺方	74	53
どんぐり	113	102
新田	391	358
森上	311	286
塩島	252	217
切久保	149	133
落倉	237	218
通	27	16
立の間	9	7
野平	46	55
青鬼	26	16
白馬村	8,938	8,575
北城	6,154	6,033
神城	2,784	2,542

図 1.2.8 行政区別世帯数
出典：令和2年国勢調査



世帯数	平成27年	令和2年
内山	23	21
佐野	128	114
沢渡	105	101
三日市場	24	34
堀之内	38	78
飯田	323	319
飯森	305	318
めいてつ	—	—
深空	251	279
みそら野	351	413
エコーランド	145	151
瑞穂	89	129
八方口	190	206
白馬町	370	388
八方	197	207
山麓	15	16
和田野	87	114
大出	160	165
蕨平	32	30
嶺方	30	25
どんぐり	56	53
新田	138	144
森上	126	120
塩島	100	89
切久保	56	52
落倉	97	103
通	13	7
立の間	5	4
野平	19	22
青鬼	9	7
白馬村	3,482	3,709
北城	2,536	2,724
神城	946	985

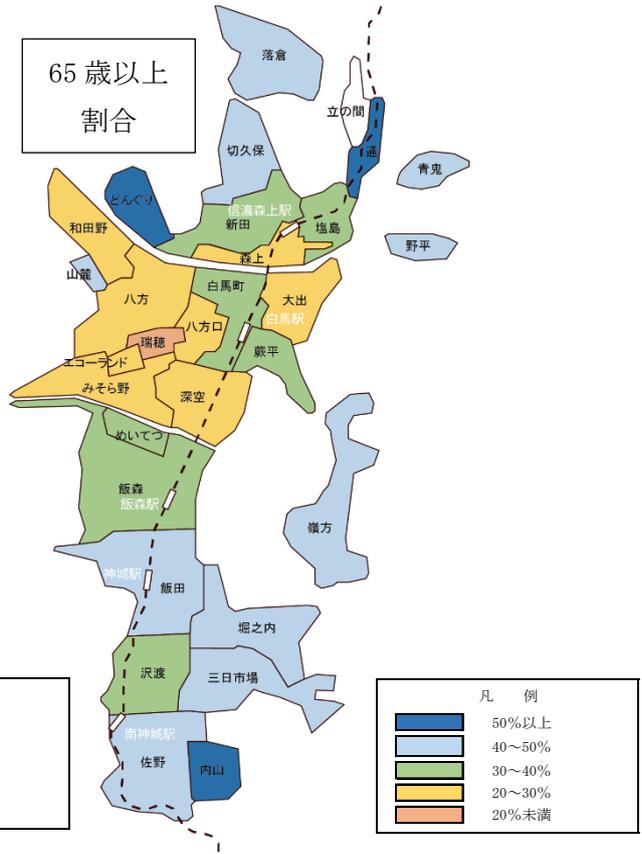
図 1.2.9 行政区別人口増加率

出典：令和2年国勢調査



図 1.2.10 行政区別 65 歳以上比率

出典：令和2年国勢調査



人口	平成27年	令和2年	増減率
内山	59	46	-22.0
佐野	381	294	-22.8
沢渡	307	241	-21.5
三日市場	61	93	52.5
堀之内	108	195	80.6
飯田	1,054	887	-15.8
飯森	814	786	-3.4
めいてつ	—	—	—
深空	555	548	-1.3
みそら野	904	973	7.6
エコーランド	367	330	-10.1
瑞穂	215	311	44.7
八方口	415	416	0.2
白馬町	888	851	-4.2
八方	481	466	-3.1
山麓	50	35	-30.0
和田野	189	195	3.2
大出	377	379	0.5
藤平	78	68	-12.8
嶺方	74	53	-28.4
どんぐり	113	102	-9.7
新田	391	358	-8.4
森上	311	286	-8.0
塩島	252	217	-13.9
切久保	149	133	-10.7
落倉	237	218	-8.0
通	27	16	-40.7
立の間	9	7	-22.2
野平	46	55	19.6
青鬼	26	16	-38.5
白馬村	8,938	8,575	-4.1
北城	6,154	6,033	-2.0
神城	2,784	2,542	-8.7

65歳以上比率	令和2年	65歳以上	比率
内山	46	24	52.2
佐野	294	141	48.0
沢渡	241	95	39.4
三日市場	93	38	40.9
堀之内	195	87	44.6
飯田	887	417	47.0
飯森	786	240	30.5
めいてつ	—	—	—
深空	548	144	26.3
みそら野	973	215	22.1
エコーランド	330	89	27.0
瑞穂	311	51	16.4
八方口	416	112	26.9
白馬町	851	266	31.3
八方	466	134	28.8
山麓	35	14	40.0
和田野	195	47	24.1
大出	379	105	27.7
藤平	68	27	39.7
嶺方	53	26	49.1
どんぐり	102	55	53.9
新田	358	111	31.0
森上	286	79	27.6
塩島	217	76	35.0
切久保	133	55	41.4
落倉	218	92	42.2
通	16	13	81.3
立の間	7	—	—
野平	55	26	47.3
青鬼	16	6	37.5
白馬村	8,575	2,785	32.5
北城	6,033	1,743	28.9
神城	2,542	1,042	41.0

(5) 産業別人口の推移

産業別人口の推移をみると、就業者人口は平成12年を境に減少傾向にあります。

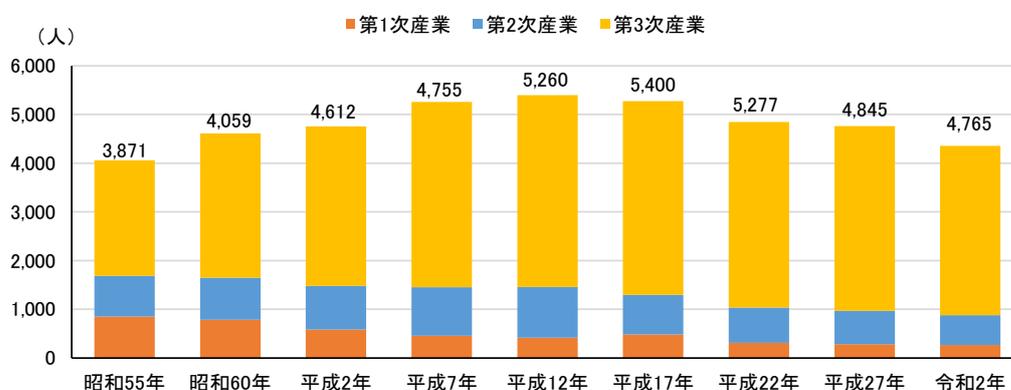
産業別にみると、第1次産業の割合は昭和55年以降減少が続き、平成7年以降は10%を下回っています。第2次産業についても昭和55年以降減少傾向にあります。平成17年以降15%前後で推移しています。

観光を中心とした第3次産業は、昭和55年から50%を超え、平成22年以降は約80%を占めています。

産業大分類別でみると最も多い業種は「宿泊業、飲食サービス業」になっています。

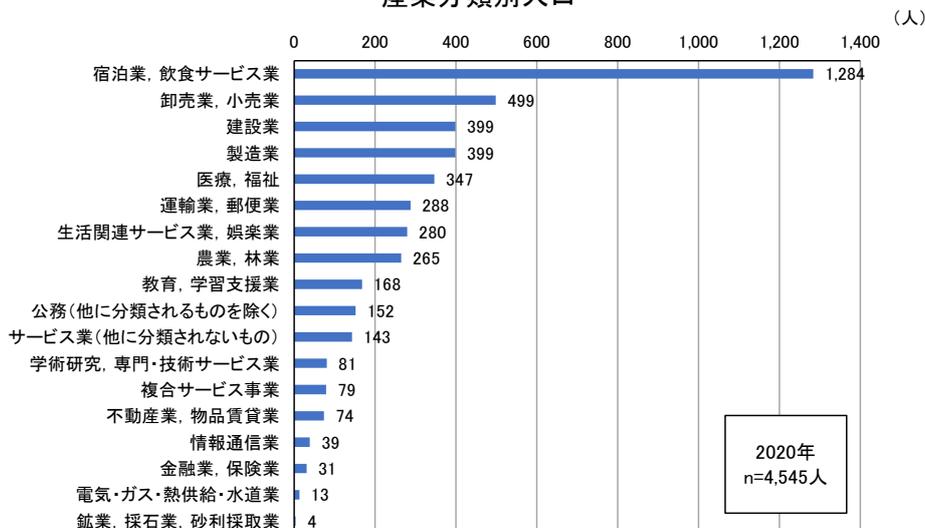
図 1.2.11 産業別人口の推移と最新の産業分類別人口

出典：国勢調査



	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
第1次産業	20.9	17.0	12.3	8.6	7.7	9.2	6.4	5.9	6.1
第2次産業	20.6	18.6	18.8	19.0	19.3	15.4	14.9	14.4	14.0
第3次産業	58.5	64.4	68.9	72.4	73.0	75.4	78.7	79.7	79.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9

産業分類別人口



(6) 人の動き

1) 通勤・通学

白馬村の通勤先は白馬村内が81.8%と大半を占め、村外では大町市、小谷村など南北方向の移動が多くなっています。

白馬村への就業者についても大町市や小谷村が多いですが、長野市やその他県内、県外からの流動もみられます。

白馬村居住者の通学先は白馬村内が50.3%であり、村外では大町市、長野市、松本市、などが多くなっています。

通学者は、大町市や長野市、松本市への流出が減っており、村内の割合が令和2年は平成22年に比べて41.5%から52.1%に増加しています。

図 1.2.12 通勤・通学流動

出典：国勢調査（令和2年）

※就学者、通学者ともに15歳以上

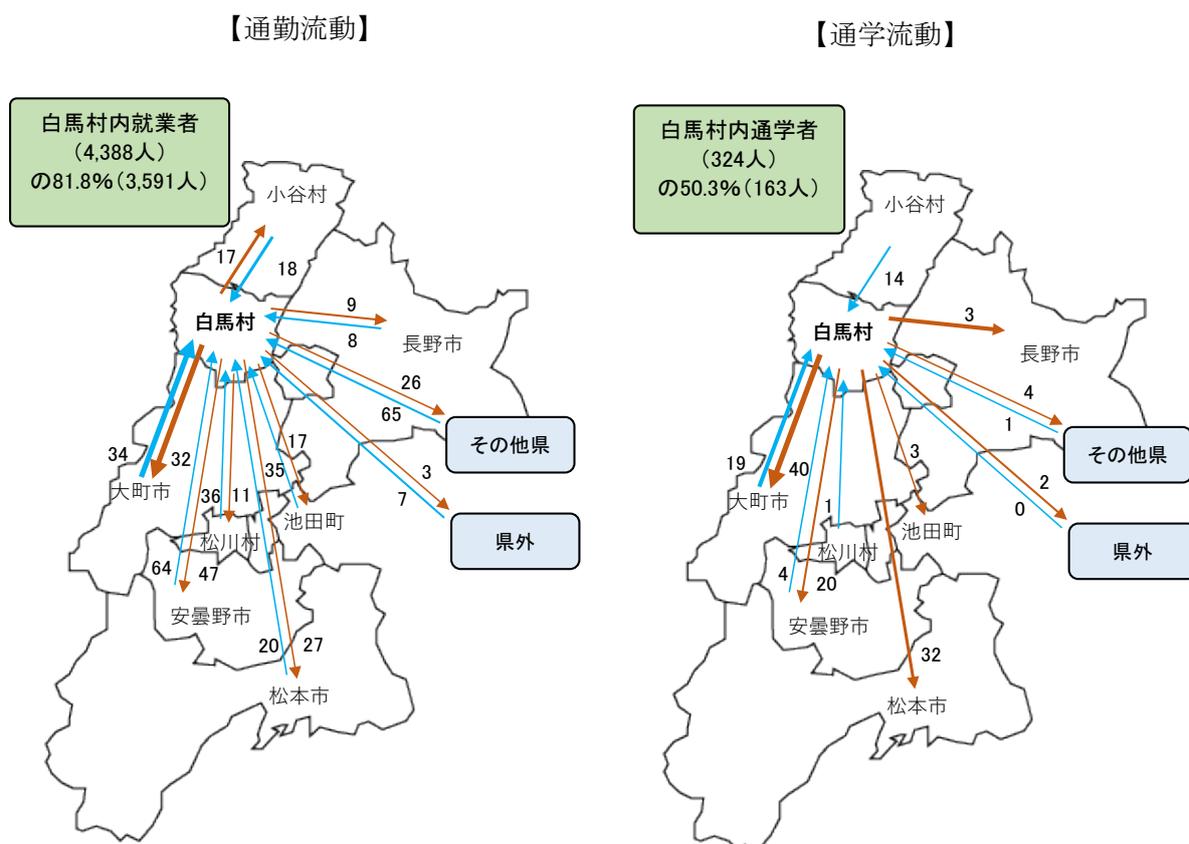


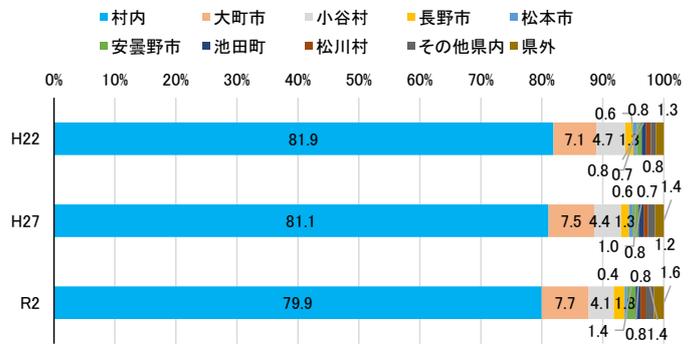
図 1.2.13 通勤・通学流動の推移

出典：国勢調査

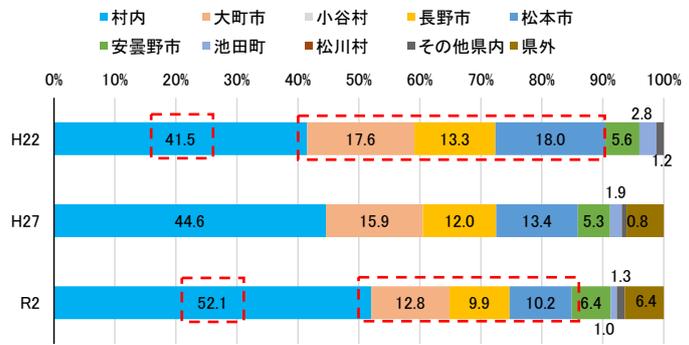
就業者数(流出)



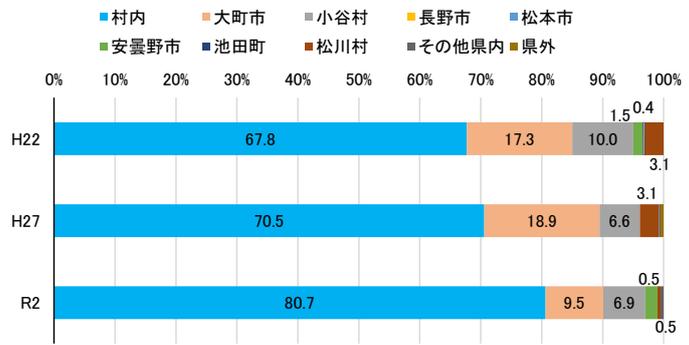
就業者数(流入)



通学数(流出)



通学数(流入)



2) 買物

長野県商圈調査によると、買い物場所は食料品・日用品は村内の割合が90%近いですが、文化品（家電、家具等）・贈答品・衣料品等は長野市の割合が高くなっています。

また、食料品や日用品以外では通販等の無店舗販売も目立っています。

買物する店の種類は、食料品では中小スーパーが過半を占めていますが、それ以外の多くの項目では専門スーパーが半分近くを占めています。

図 1.2.14 品目別の買物場所

出典：長野県商圈調査報告書（令和5年度）長野県産業労働部

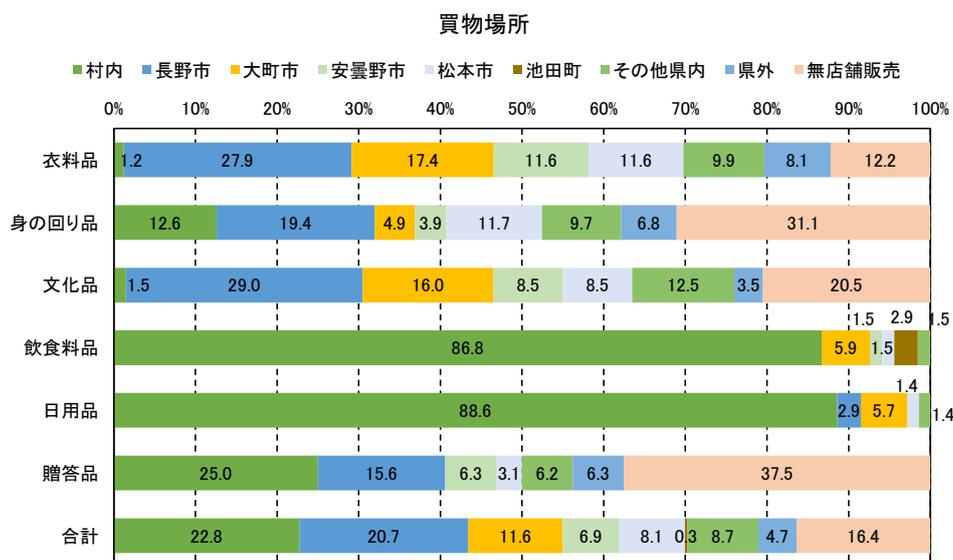
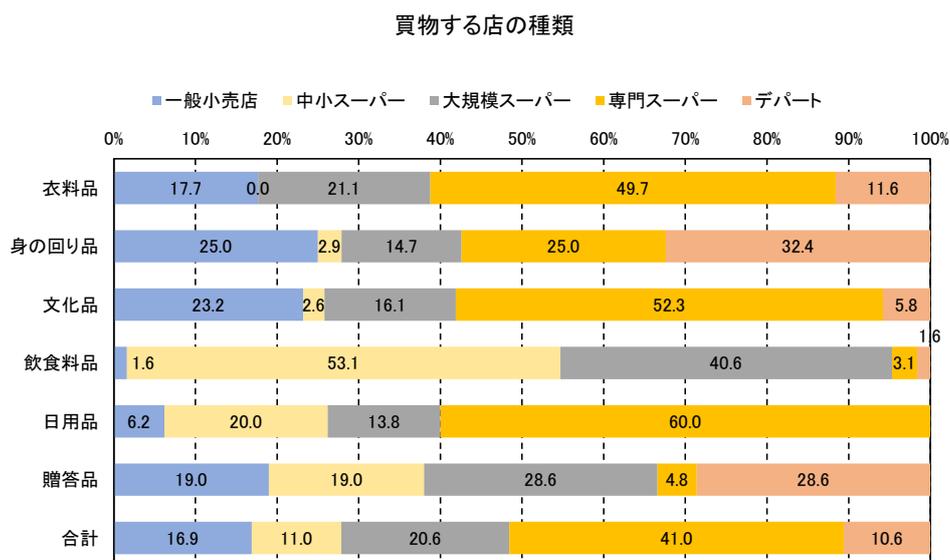


図 1.2.15 買物する店の種類

出典：長野県商圈調査報告書（令和5年度）長野県産業労働部



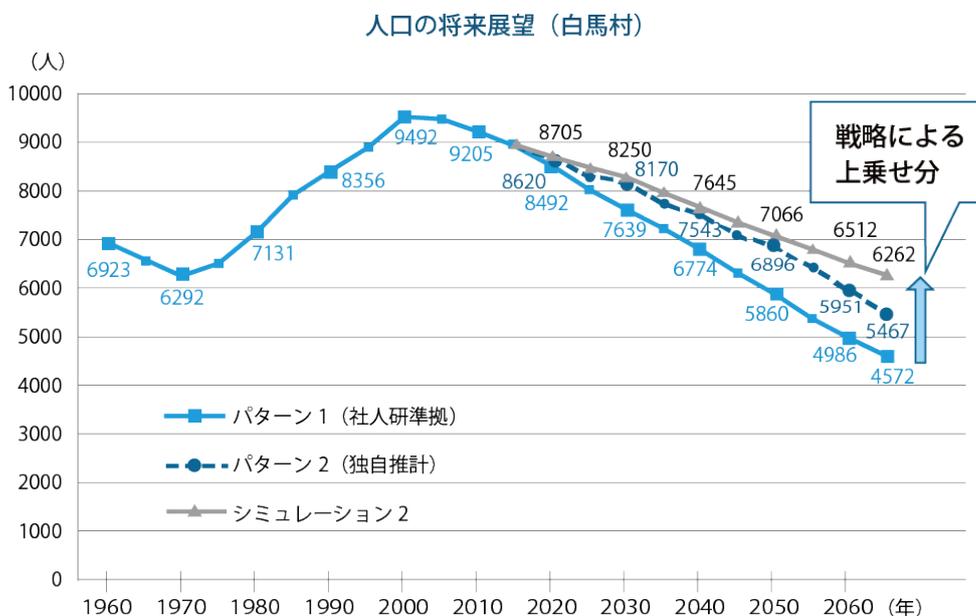
(7) 人口の将来展望

白馬村の人口は、昭和 35 年から昭和 45 年にかけて減少が見られましたが、昭和 45 年以降増加しています。その後、平成 17 年の 9,500 人をピークに減少が始まり、令和 32 年には昭和 45 年の水準まで落ち込むことが予想され、令和 42 年には現在より約 4 割減少し、4,986 人と推計されています。

将来にわたってコミュニティとしての白馬村を存続させていくためには、あらゆる施策を展開して人口の増加を目指す必要があります。特に社会に活力をもたらすための生産年齢人口層を厚くする施策として村では、若者にターゲットを絞った移住・定住につながる施策を積極的に展開することにより、将来的に生産年齢人口層を厚くすることを目指しています。

図 1.2.16 人口の将来展望

出典：白馬村第 5 次総合計画（令和 3 年 3 月）



◆独自推計
 ・合計特殊出生率 1.2 とした
 ・社会増（社会動態）
 64 歳以下の年齢階級ごとの社会増（移動）
 → 2030 年 10 人増、2040 年 10 人増、2050 年 10 人増とした

3. 主要施設の立地状況

各施設ともに、国道 148 号の沿線に立地しており、特に J R 大系線白馬駅、神城駅周辺と白馬駅～飯森駅間に集中しています。

【公共施設】

村役場や図書館、文化施設などは白馬駅周辺の徒歩圏に立地しています。

【教育施設等】

白馬南小学校を除き、高校、中学校、北小学校、幼稚園、保育園などすべてが白馬駅周辺に集中しています。

【医療機関】

村内には規模の大きな総合病院はなく、白馬駅、飯森駅、神城駅の周辺に病院や医院が点在しています。近隣の総合病院は、大町市の市立大町総合病院（白馬駅から 25 k m）、池田町の北アルプス医療センターあづみ病院（白馬駅から 35 k m）があります。

【金融機関等】

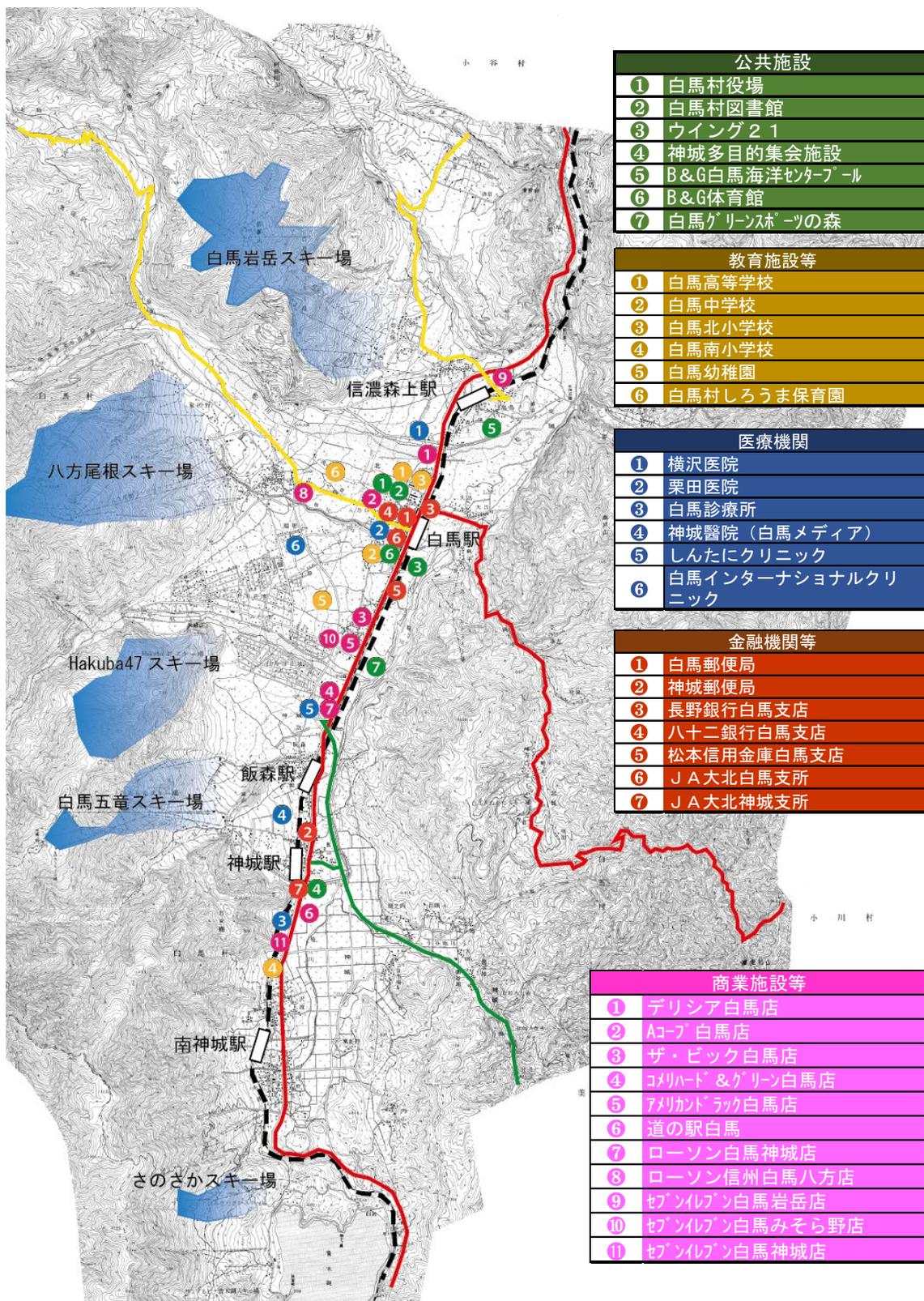
郵便局、銀行などは白馬駅と神城駅周辺に立地しています。

【商業施設等】

比較的規模の大きな商業施設（スーパーマーケット）は、自動車の利用の便が良い国道 148 号沿線に立地しています。また、コンビニエンスストアも国道 148 号と県道白馬岳線の沿線に立地しています。

なお、スキー場を中心とした観光地周辺には、観光客を対象とした宿泊施設や飲食店等が立地していますが、村民の生活関連用品を扱う店舗は、前述した比較的規模の大きな商業施設に限られています。

図 1.3.1 主要施設の位置



4. 道路基盤の状況

白馬村の道路網は、中央を国道 148 号が縦断し、白馬駅北側から東側に国道 406 号が、飯森駅北側から南東に主要地方道白馬美麻線が、白馬駅西口から西へ一般県道白馬岳線が、信濃森上駅東側から北に一般県道千国北城線が分岐しています。

【国道 148 号】

広域的な南北軸として機能し、国道 147 号と合わせて北の北陸自動車道糸魚川 I C と南の長野自動車道安曇野 I C を結んでいます。村内では J R 大系線に沿って並行しています。古くは塩を運んだ千国街道であったことから塩の道と呼ばれています。

交通量は、村内中央部で 9,800 台/日と多く混雑度は 0.68、北側は約 7,000/日、南側は 8,000 台/日に減少しています。北に行くほど大型車混入率が高くなっています。

【国道 406 号】

大町市から白馬駅北側まで国道 148 号と重複し、分岐して小川村を經由して長野市を結んでいます。未改良区間が多いため、交通量も 500 台未満と少なくなっています。

【(主) 白馬美麻線】

長野オリンピック開催時に長野駅と白馬会場を連絡する路線として整備されたため、国道 406 号よりも利用されており、オリンピック道路と呼ばれています。

交通量は 6,000 台/日を超え、大型車混入率も約 15%と高くなっています。

【(一) 白馬岳線】

白馬駅から猿倉荘までを結ぶ県道です。

沿線に白馬八方尾根スキー場もあり、交通量は約 5,000 台/日と多くなっています。

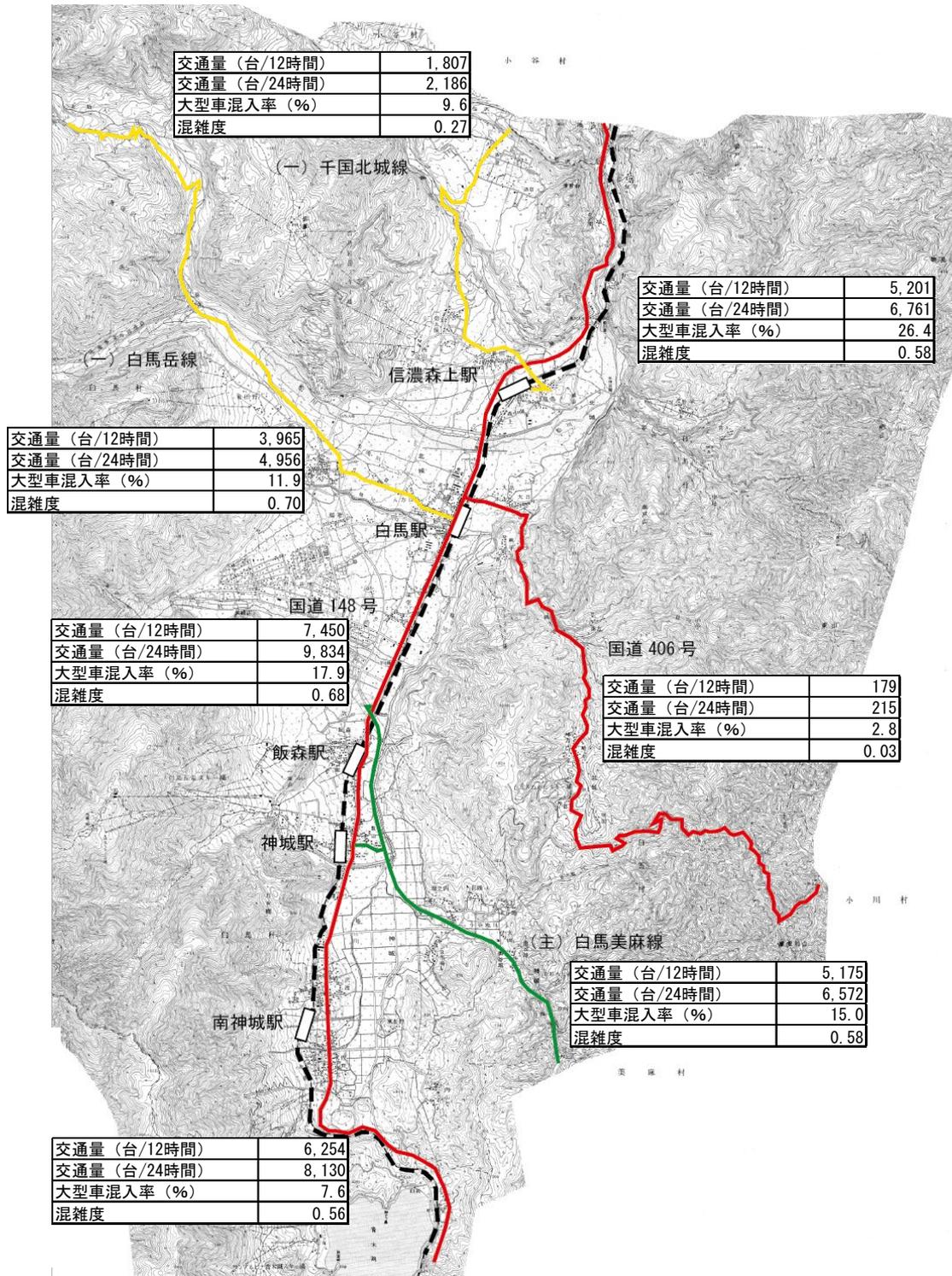
なお、当該路線は 12 月から 4 月まで一部冬期通行止め(冬季閉鎖)となっています。

【(一) 千国北城線】

白馬村と小谷村を結ぶ県道であり、沿線に白馬岩岳スキー場や梅池高原スキー場があり、観光客の利用が多くなっています。通常時の交通量は 2,000 台/日程度です。

図 1.4.1 村内の主要道路の交通状況

出典：令和3年度道路交通センサス



5. 観光動向

(1) 主要観光エリアと観光資源

白馬村は、山岳の地形やパウダースノーといった地域資源を生かし、登山やスキーを中心に発展してきました。

村内は概ね 8 つの観光エリアに分かれ、5 個所のスキー場や隣接する梅池高原も含めた高原に立地するアウトドア施設を中心に白馬山麓に広がる山岳リゾート地域となっています。

エリアごとに宿泊施設や飲食店が比較的多いのは、リゾートホテルが多く立地する八方尾根・和田野エリア、飲食店や商店・土産物店が多く立地する白馬町・八方口エリア、ペンションや飲食店が多く集まるエコランド・みそら野・瑞穂エリアなどです。

冬期はスキー場が中心となりますが、その他の季節は登山やハイキング、アクティビティを中心としたアウトドアスポーツが観光の中心となっており、汗をかいたあとの日帰り温泉も各エリアに点在しています。

白馬村観光局の加盟宿泊施設は、令和 4 年度時点で 327 軒、収容人数約 1.3 万人ですが令和 2 年以降減少傾向にあります。令和 4 年度現在の宿泊施設の種別ではペンションが 99 軒で最も多く、ホテルが約 60 軒、貸別荘が 54 軒営業しています。

図 1.5.1 白馬村観光局加盟宿泊施設の概要

出典：白馬村村勢要覧統計資料（令和 5 年）

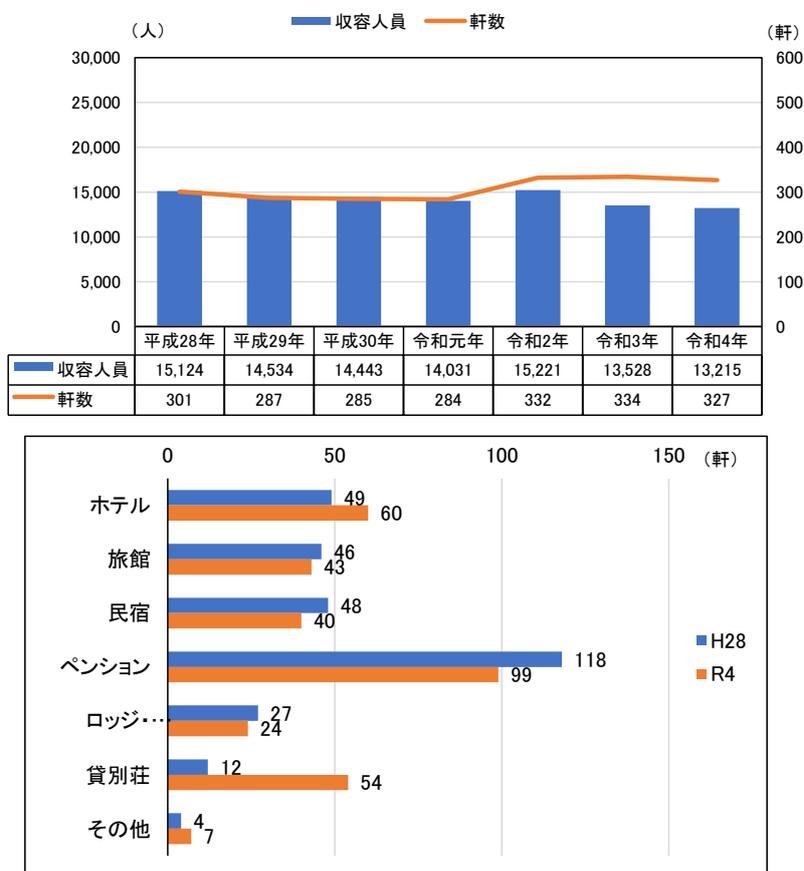


表 1.5.1 白馬村のエリア別観光概要

エリア名	宿泊施設				飲食店	主要観光資源
	ホテル	旅館	その他	合計		
落倉	4	1	13	18	0	・落倉自然園 ・古民家の湯
白馬岩岳	4	6	29	39	2	・白馬岩岳スキー場 ・白馬岩岳マウンテンリゾート ・白馬アルプスオートキャンプ場 ・岩岳の湯、倉下の湯
大出・蔵平・みねかた	1	0	4	5	1	・白馬フィールドスポーツジム ・天神の湯
白馬町・八方口	3	3	13	19	14	・白馬・山とスキーの総合資料館 ・白馬宮島工芸館 ・みみずくの湯
八方尾根・和田野	33	15	26	74	10	・八方池 ・八方尾根自然研究路 ・白馬八方尾根スキー場 ・八方うさぎ平 ・北尾根高原 ・白馬ジャンプ競技場 ・菊池哲男山岳フォトアートギャラリー ・おびなたの湯、郷の湯、八方の湯
エコーランド・みそら野・瑞穂	16	3	77	96	16	・白馬グリーンスポーツの森 ・白馬三枝美術館 ・白馬美術館 ・アートカフェ森と人と
白馬五竜・Hakuba47	6	3	42	51	8	・白馬五竜スキー場 ・Hakuba47マウンテンスポーツパーク ・白馬五竜高山植物園 ・十郎の湯、竜神の湯
さのさか	0	4	11	15	0	・さのさかスキー場 ・姫川源流自然探勝園

出典：白馬町観光局白馬MAPから集計
注) 施設数は白馬村観光局会員施設のみ



(2) 観光入込客数

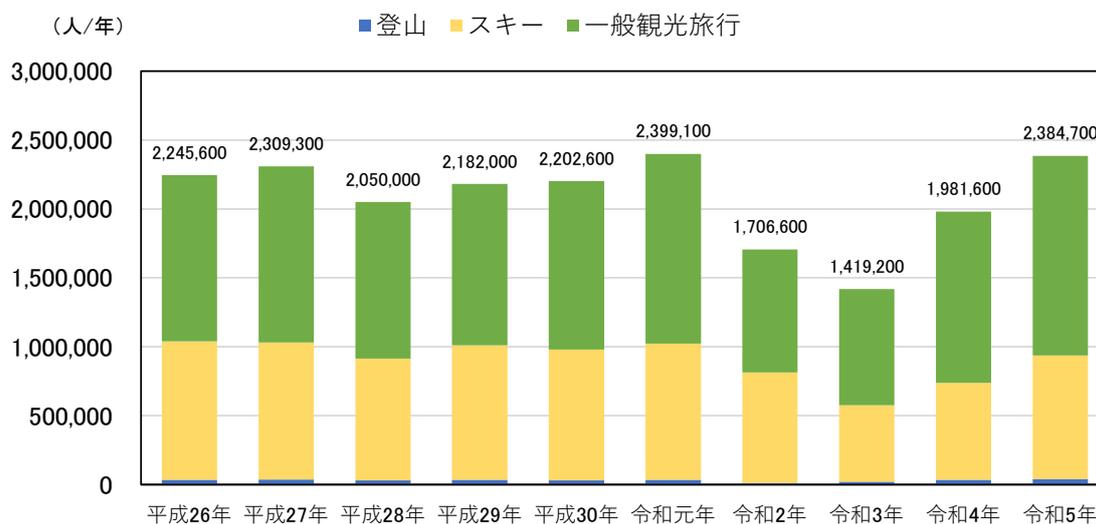
白馬村の観光入込客数は令和元年まで、年間 200～250 万人で推移してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、令和 2 年から 200 万人を下回り、令和 3 年には 150 万人を下回りました。令和 4 年からは回復し、5 類感染症に移行した令和 5 年には、令和元年以前の水準に戻っています。主な観光目的は、一般的な観光旅行とスキーに大別されていますが、一般的な観光旅行の方がやや多くなっています。

白馬村の過去 5 年間の観光客数の月変動をみると、8 月に大きなピークがみられるのが特徴的でその他の月では、12 月から 3 月にかけてのスキーシーズンが多くなっています。

観光客の 60.6%が県外からの観光客で、宿泊者の割合は 69.7%と高くなっています。

図 1.5.2 白馬村目的別観光客数の推移

出典：白馬村観光課



単位：人/年

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
登山	35,100	38,300	30,700	35,400	30,400	34,600	13,600	21,100	34,700	42,100
スキー	1,005,196	994,017	883,752	976,345	949,235	989,594	801,458	555,586	703,945	894,842
一般観光旅行	1,205,304	1,276,983	1,135,548	1,170,255	1,222,965	1,374,906	891,542	842,514	1,242,955	1,447,758
合計	2,245,600	2,309,300	2,050,000	2,182,000	2,202,600	2,399,100	1,706,600	1,419,200	1,981,600	2,384,700

図 1.5.3 過去5年間の白馬村観光入込数の月変動

出典：白馬村観光課

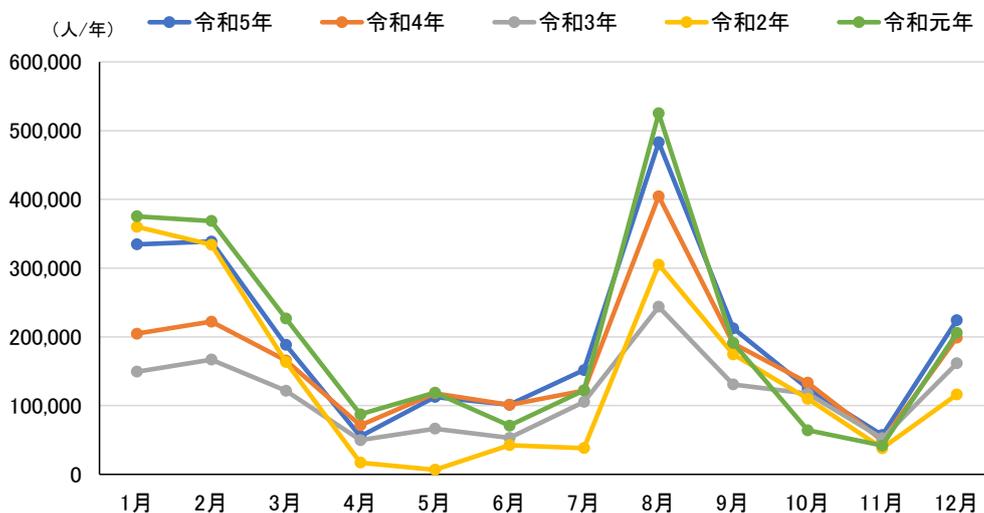


図 1.5.4 白馬村観光入込客の県内・県外割合

出典：令和4年長野県観光地利用者統計調査結果

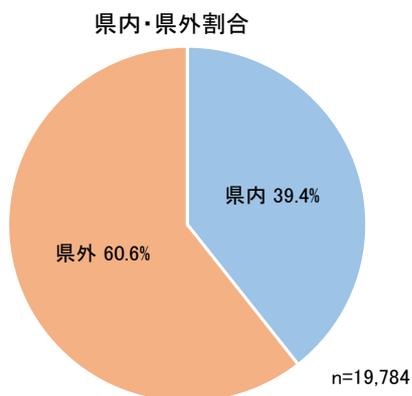
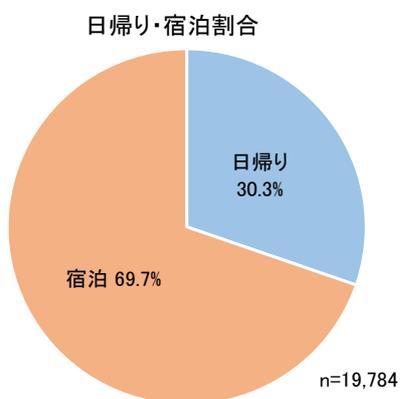


図 1.5.5 白馬村観光入込客の日帰り・宿泊割合

出典：令和4年長野県観光地利用者統計調査結果



(3) 外国人旅行者の実態

外国人旅行者は平成 25 年以降全国的なインバウンド旅行者の増加に合わせて増加し、令和元年には 25 万人を超えています。新型コロナウイルス感染症拡大により、令和 3 年と 4 年は急減しています。

白馬村の外国人旅行者の増加は、夏場に時差なくスキーが楽しめ、雪質が優れていることから、特にオセアニア地域からの旅行者が多く、令和 2 年には全外国人旅行者の 70% を超える割合になっています。

図 1.5.6 白馬村外国人観光宿泊者数の推移

出典：白馬村観光課

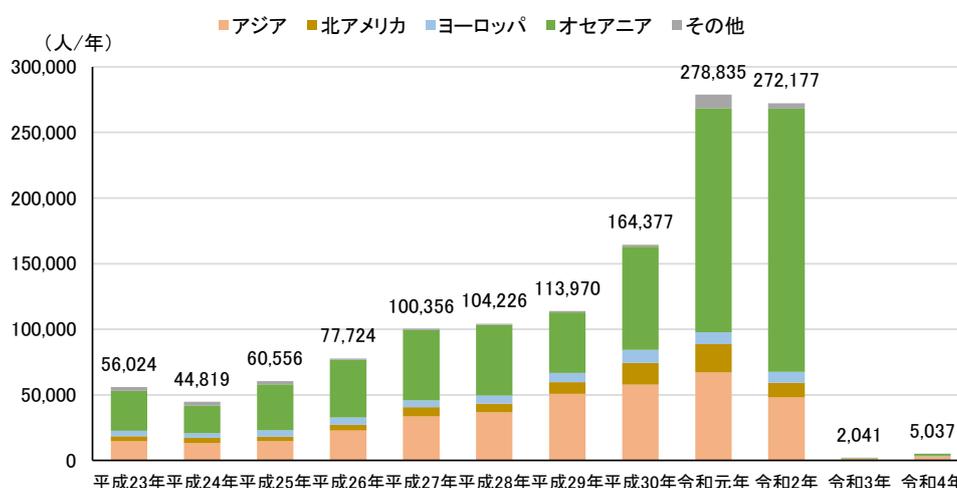
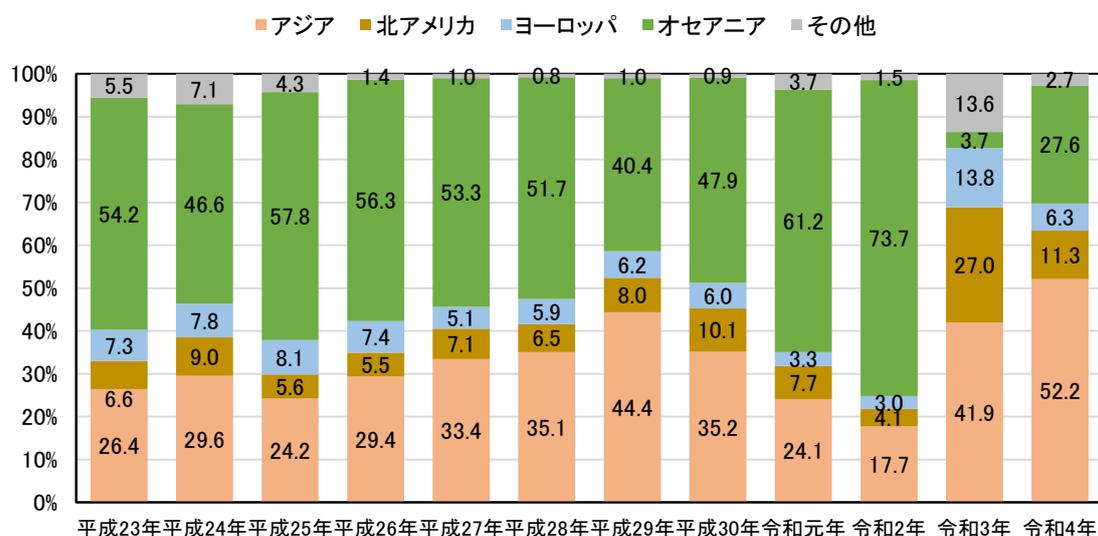


図 1.5.7 白馬村外国人観光客の地域別割合の推移

出典：白馬村観光課



長野県内で外国人宿泊者数が多い市町村と白馬村を比較すると、外国人に人気のあるスキー場を抱える白馬村と野沢温泉村では、オセアニア地域からの割合が高くなっています。

しかし、月別に変動をみると、野沢温泉村では外国人の多い冬期が多くなっていますが、白馬村では冬期の観光客数も多いものの、8月の方が多くなっており、通年を通して外国人旅行者が増加しているまでには至っていません。

なお、長野市では、4月から6月まで善光寺の御開帳があったため急増しています。

図 1.5.8 長野県内の外国人延宿泊者数上位 6 市町村の地域別内訳

出典：令和 4 年長野県外国人延宿泊者数調査

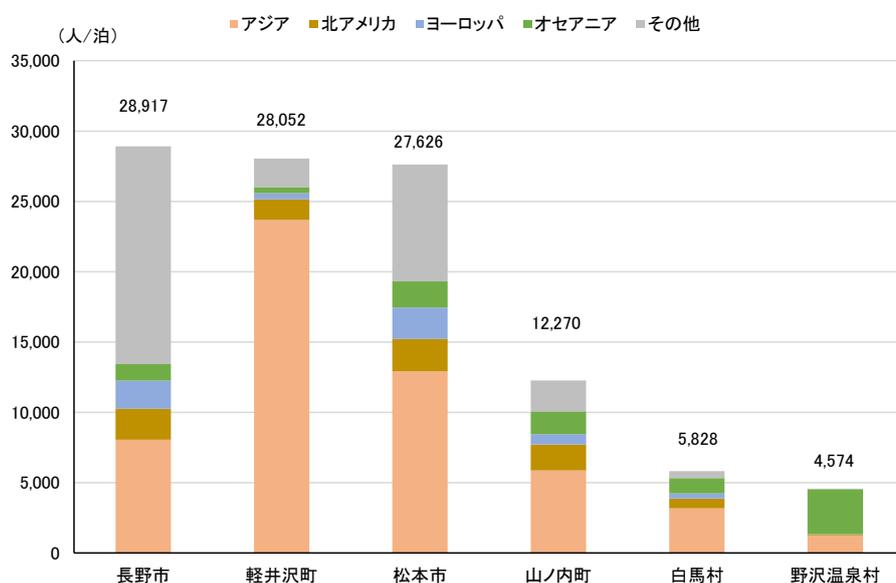
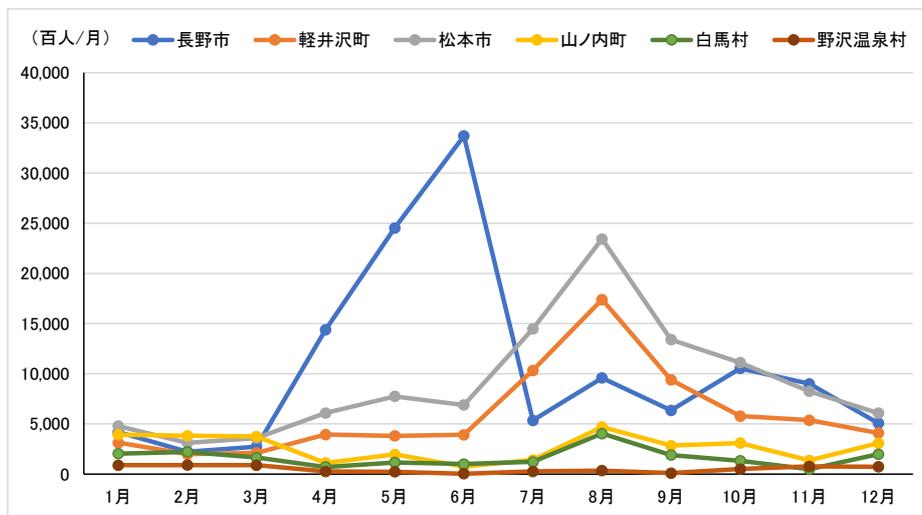


図 1.5.9 長野県内の外国人延宿泊者数上位 6 市町村の総観光客数の月変動

出典：令和 4 年長野県観光地利用者数調査





1. 上位関連計画

(1) 白馬村第5次総合計画-後期計画（令和3年3月）

【基本理念】

白馬の豊かさとは何か
 —多様であることから交流し学びあい成長する村—

【基本目標】

視点	4つの基本目標
●暮らし	『安心してみんなが暮らせる村』
●産業	『新しい仕事をつくりだす村』
●ひと	『一人ひとりが成長し活躍できる村』
●自然	『魅力ある自然を守る村』



視点	具体的な目標
暮らし	外国人を含めた移住者と在来の住民との共生や、介護の必要な方、障がいのある方も共に関わりをもって安心して暮らせる地域づくり
産業	基幹産業である観光業と農業を中心に地域産業の活性化と新しい就労環境の整備に努め、住民が永続的に定住し、安心して新たな創業、就業ができる環境づくり
ひと	少子化対策を推進し、村の伝統文化を継承し、地域全体で将来を担う若者を育成する地域づくり
自然	環境と調和した開発のルールづくりと、環境の整備によって、この恵まれた自然、景観、伝統文化を保全し、将来世代に引き継ぐ



《基本計画における公共交通の位置づけ》

□日常の住みよさの確保（村内の移動手段の確保）

- ・平成30年度に策定した、白馬村地域公共交通網形成計画の具体的施策について検討を進め、交通事業者や関係団体と協議・研究し、利便性向上を目指すとしています。また、運転免許自主返納を行った方にデマンド型乗合タクシーの利用券を交付し、高齢者が運転免許を返納した後の移動の支援を行うとしています。

□高齢者福祉（生活支援サービスの体制整備）

- ・乗合タクシーについて利用者アンケートを実施し、運行計画の見直し等利便性の向上に努めるとしています。

(2) 白馬村総合戦略（令和元年6月改訂）

今後の人口減少に対応するとともに、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある街を維持するため、平成27年度からの6年間を計画期間とした「白馬村総合戦略」を策定しています。

計画期間の目標人口：9,000人（目標H32）

【基本目標】

- ① 地域の資源と人を活かした「しごと」を創出する
- ② 白馬村への新しい「ひと」の流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての「きぼう」をかなえる
- ④ 将来にわたって住み続けたい魅力ある「まち」をつくる



基本目標	基本的方向
しごと	地域経済の活性化を図り、豊かな生活を実感できる活力ある村づくりのため、地域資源の特徴を生かし、年間を通じた安定的な雇用の場と雇用機会を創出します。
ひと	安定的な雇用の確保や子育て世代への支援など、社会増となる移住者の視点に立った各種施策の展開により、村外からの移住や定住を促進し新しい人の流れをつくります。
きぼう	結婚・妊娠・出産・育児をしやすい社会環境整備を推進し、若い世代が出産や子育てに希望を実感できる地域社会の実現を目指します。
まち	誰もが住みたい、住み続けたいと感じる、暮らしやすく住みやすい、選ばれるまちを目指した環境整備に取り組みます。



《総合戦略における公共交通の位置づけ》

- 地域の特徴を生かした観光振興の推進（グリーンシーズンの観光振興）
 - ・ 白馬大雪渓の観光への活用（白馬駅～大雪渓への道路拡幅と電気自動車乗り入れなど）
- 地域の特徴を生かした観光振興の推進（観光業の体力強化に向けた計画の推進）
 - ・ 白馬バレー（大町・白馬・小谷）として一体性強化のためのシャトルバスの整備
 - ・ 冬のタクシー不足解消のためのシェアライディングシステムの導入

(3) 白馬村都市計画マスタープラン（令和5年3月）

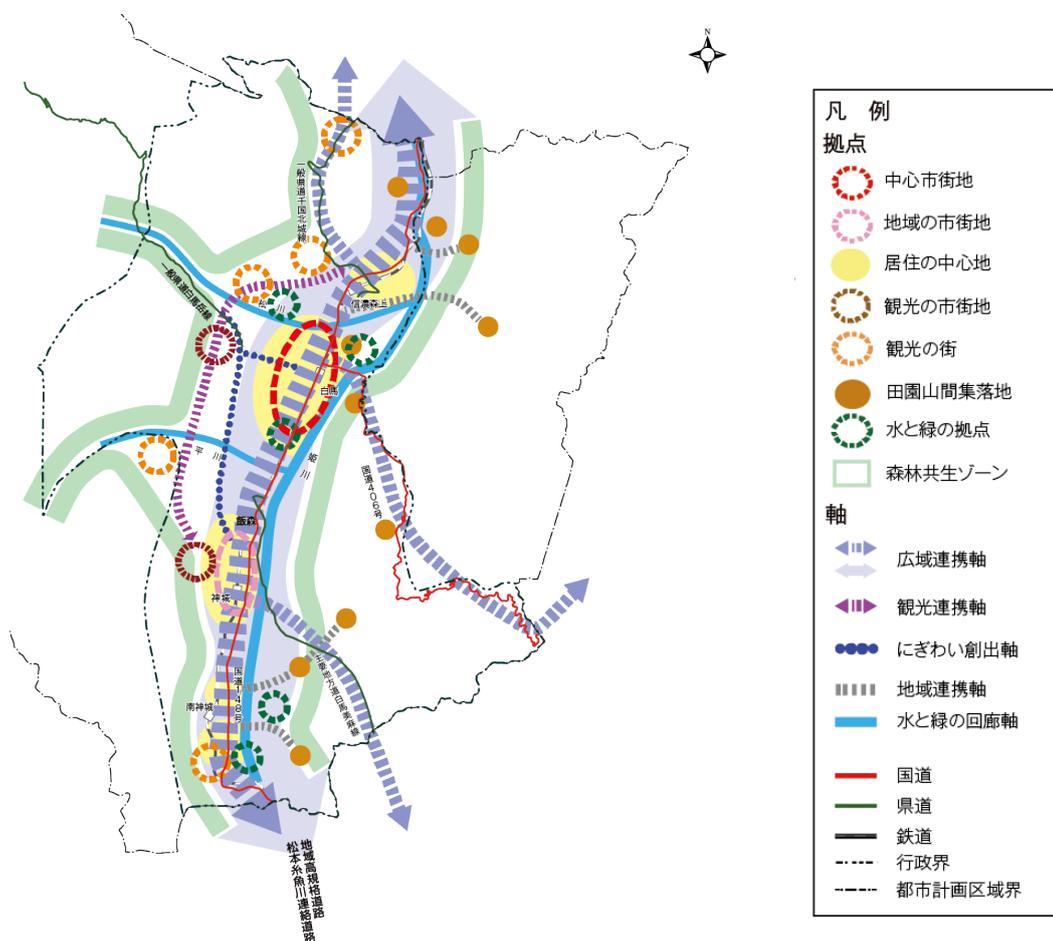
概ね 20 年後の白馬村のあるべき姿を展望し、その実現に向けて、村民や事業者・関係団体と行政等が関わり合いながら、協働して取り組むべき都市計画の方向性を明らかにしています。

【まちづくりの将来像】

人々が自然と共生しみんなで作る
 いつまでも住み続けられる
 ハートフル・エコシティ 白馬
 ~安全・安心で 誰もが心地よく暮らせる まちづくり~

【将来都市構造】

拠点、軸を配置し、目指すべき将来都市構造を次のように位置づけています。



【都市交通の基本方針】

鉄道、バス等の公共交通については、**交通結節点である白馬駅周辺の機能の強化に取り組む**とともに、観光等の交流の拡大や村民の生活、少子高齢化社会等への対応に配慮しながら、利便性の高い公共交通網の構築を目指します。**(誰もが使いやすい公共交通の利便性の向上)**

《公共交通の利便性向上》

- **誰もが自動車に頼らず安心して暮らせる**公共交通網の拡充、構築を目指す
- **子どもやその家族の、安心して負担のない暮らしを支える**公共交通の拡充を目指す
- **外国人を含めた観光客がいつでも快適に移動できる**公共交通網の構築を目指す
- **村民との協働**による柔軟で持続可能な公共交通を検討する

【地域づくり構想の方針】

地域の特性を活かしたまちづくりを行うことができる区域として3地域を設定し、地域別に都市交通（公共交通）の整備方針を示しています。

□共通事項

- 自動車に過度に依存した社会から公共交通への転換を促します。
- 高齢者の利用に配慮した公共交通のあり方を検討します。
- 観光地の連携を支援するため、神城山麓線及び松川を渡る南北交通の機能強化について検討します。

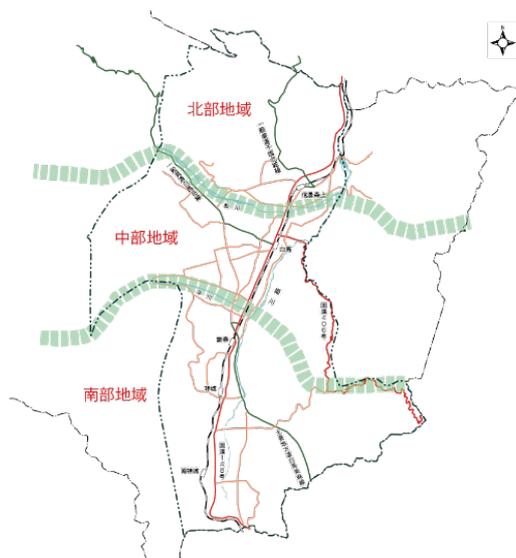
□北部地域

- 通学時間帯に利用可能な便は学校近くまで乗車できるようにするなど、利用しやすい通学用公共交通手段を確保します。

□中部地域

- 白馬駅周辺の交通結節機能等の利便性の向上に取り組みます。

【地域区分図】



(4) 大北圏域 白馬都市計画(白馬村) 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更(令和5年5月)長野県

白馬都市計画区域が含まれる大北圏域全体の将来を見据えた広域的な観点から都市づくりの方向性を示しています。

《白馬都市計画区域の都市計画の目標》

【都市づくりの目標像】

雄大な自然とのふれあいを導き、心の安らぎを生み出す美しいまち

①都市拠点

本圏域を南北に貫くJR大系線の駅周辺で、一般国道148号の沿道であり、登山やスキーで訪れる観光客の玄関口としての機能を有し、圏域内の複数市町村の都市活動を支える商業、業務、交通等の都市機能を維持・充実する都市拠点として、白馬駅周辺を位置づける。

②地域拠点

都市拠点ほどの都市機能の集積を有しないものの、鉄道駅や役場の周辺であり、都市拠点を補完し、主に村内の日常生活を支える生活サービス機能を維持・充実する地域拠点として、信濃森上駅周辺、神城駅周辺を位置づける。



《都市計画区域の整備、開発及び保全の方針における公共交通の位置づけ》

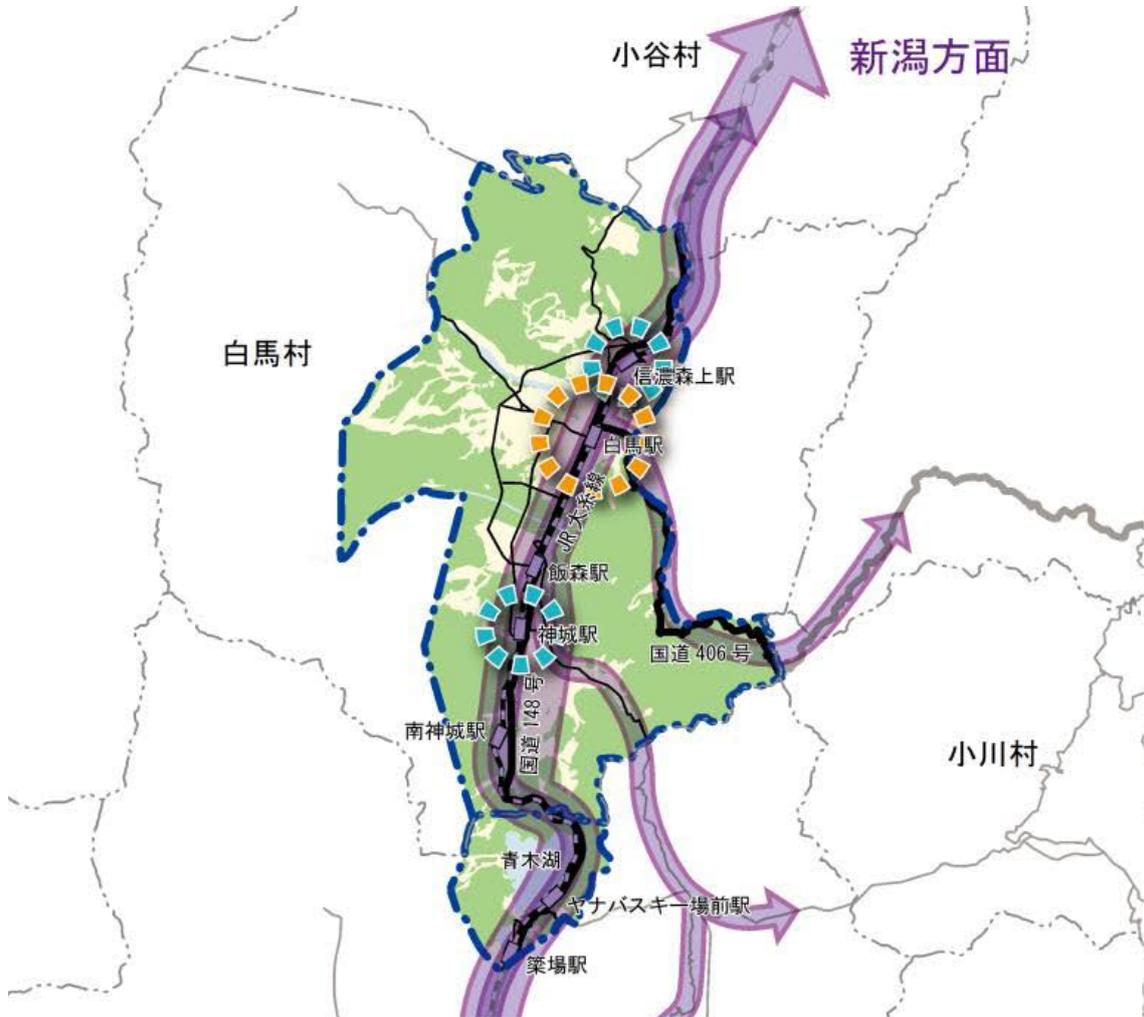
口交通体系の整備方針の中で、公共交通の整備方針を示している。

- ・鉄道やバス等の公共交通機関の維持・充実を図るとともに、徒歩・自転車の利用環境の整備や駐車場等の適正な配置を推進することにより、車への過度な依存からの脱却に取り組み、良好な都市環境の形成を図る。

これら交通体系の連携強化により、信濃大町駅や白馬駅など 鉄道駅周辺の都市拠点等を中心に、歩いて暮らせるまちづくりや観光 まちづくりの実現を目指す。

- ・JR大系線の利用促進を図るとともに、交通結節機能の維持、強化を図る。市町村を主体に関係機関との連携のもと、路線バスの維持やコミュニティバスの充実等による安全・安心な地域公共交通の確保を図る。

【圏域構造図】



-  都市計画区域
- 拠点
 -  都市拠点
 -  地域拠点
- 軸
 -  広域交流軸
 -  地域連携軸

- 土地利用構成
-  住宅地
 -  商業・業務地
 -  工業地
 -  農用地
 -  森林地域
 -  主要河川

- 交通施設
-  高速道路
 -  主要幹線道路
 - 国道／主要地方道（4車線以上）
 - 一般県道（4車線以上）
 - 都市計画道路（2.2m以上）（4車線相当）
 -  幹線道路
 - 主要地方道（2車線以上）
 - 一般県道（2車線以上）
 - 上記を除く都市計画道路
 -  鉄道（JR等）
 -  鉄道（私鉄）
 -  行政区界

(5) 白馬村立地適正化計画（令和3年3月）白馬村
長期的なまちづくりの視点から、おおむね20年程度を計画期間と定め、令和22年度を目標年度としています。

【基本理念】

「人々と自然が共生する

ハートフル・エコシティ 白馬」

～ もてなし・思いやり・安心して暮らせるまちづくり ～

【まちづくりの方針】

- ①白馬駅周辺を主要拠点とした医療・福祉・商業の連携による魅力的な都市機能の集積と、観光の主要基地とした都市内外交流の実現
- ②神城駅周辺を拠点とした都市機能の集積による生活利便性の確保
- ③居住・都市機能、生活サービス機能がバランスよく配置された子どもから高齢者までも誰もが暮らしやすい都市の形成
- ④一部自動車交通も容認しつつ公共交通ネットワークによる利便性の確保
- ⑤水と緑と雪が村民のこころのよりどころとなり、観光資源ともなるまちづくりの実現



【課題解決のための誘導方針の設定】

- 1) JR 白馬駅を中心とした中心市街地の都市機能の向上
- 2) それぞれの JR 駅周辺地域の役割の明確化
- 3) 誰もが安心して暮らし続けるために必要な機能の適正配置
- 4) 居住環境と観光産業の共存と調和

【都市の骨格構造】



【都市機能誘導区域】

2つの地区を都市の拠点となるべき地区と位置付け、都市機能誘導区域を設定します。

① 白馬駅周辺地区

- ・都市サービス機能の中核としての機能強化
- ・周辺集落を含む、白馬村北部・西部の生活拠点としての生活サービス機能の集積
- ・観光客の来訪を促す流の場としての機能強化

② 神城駅周辺地区

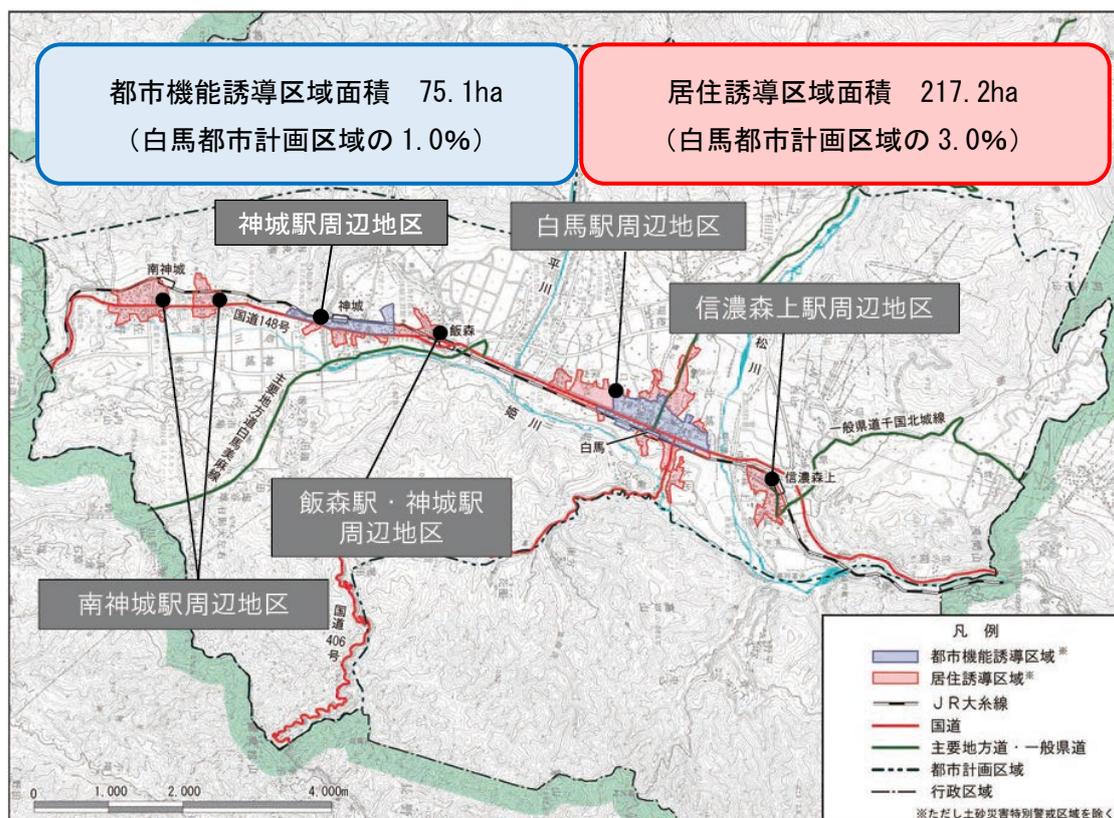
- ・周辺集落を含む、白馬村南部の生活拠点としての生活サービス機能の集積

【居住誘導区域】

居住誘導区域を定めることが考えられる区域は、次に示す区域です。

- ・都市機能や居住が集積している都市の中心拠点及び生活拠点並びにその周辺区域
- ・都市の中心拠点及び生活拠点に公共交通により比較的容易にアクセスすることができ、都市の中心拠点及び生活拠点に立地する都市機能の利用圏として一体的である区域
- ・合併前の旧市町村の中心部等、都市機能や居住が一定程度集積している区域

《都市機能誘導区域及び居住誘導区域》



※図上計測により算出した面積であり、区域内に含まれる土砂災害特別警戒区域の面積を含み、公共空地・公益施設用地の面積を除いた値

【誘導施策における公共交通に関する基本方針】

- ◆高齢化に伴う移動手段として、公共交通の利便の向上を図ります。
- ◆村民・観光客それぞれのニーズに合った公共交通網の構築を図ります。
- ◆JR 大系線を補完する公共交通網の構築を図ります。



《具体的誘導施策》公共交通ネットワークの利便向上

- 白馬駅周辺等における歩行空間の安全性を確保し、公共交通利用環境の改善を図ることで、公共交通の利用を促進します。
- 都市機能誘導区域及び居住誘導区域を優先エリアとして、公共交通網形成計画に基づき、公共交通による移動手段の確保・維持を図ります。
- JR 大系線及びデマンド型乗合タクシーのあり方の見直しによる利便性の向上や、その他の公共交通による交通手段の導入に向けた取り組みにより、居住誘導区域の円滑な移動手段を確保します。

2. 各種まちづくり戦略

(1) 白馬村観光地経営計画（平成 28 年 3 月）白馬村

この計画は、刻々と移り変わる社会環境の中で、地域経営的な視点を取り入れて、経営に資する資源を捉えその状況を把握した上で、白馬村が観光地として目指すべき姿や進むべき道、実施すべき施策・プロジェクトなどを示すとともに、これらを確実に実行し、必要な改善を施しながら継続していくための体制や方策も同時に提示したものです。

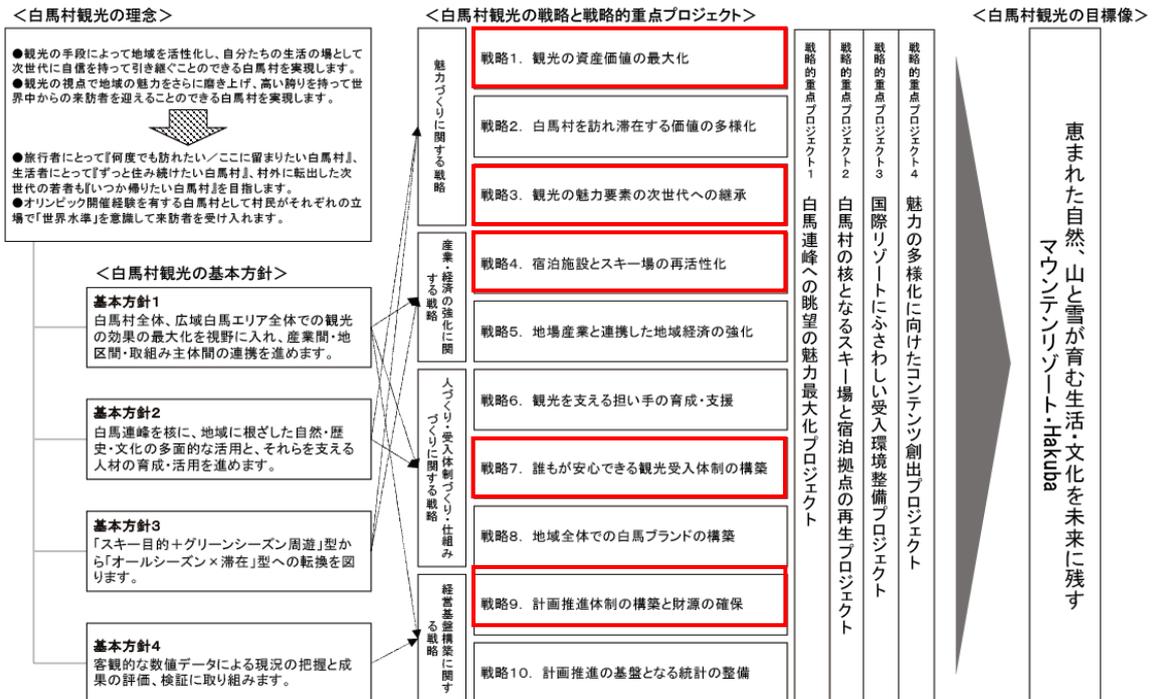
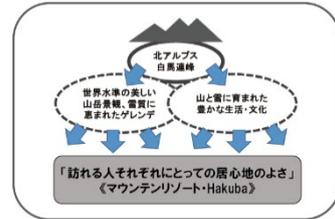
【計画の期間】

平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間

【観光地経営に向けた計画課題】

- ① 地域経済と観光の競争力強化・安定化に関する課題
 - ・外国人の滞在スタイルの変化に合わせた村内移動交通手段の充実
- ② 観光地としての文化的・社会的な発展・向上に関する課題
 - ・リゾート地に相応しい楽しさや心地よさ、環境へ配慮した移動手段、二次交通の充実
- ③ 観光地としての持続可能性を高める基盤に関する課題
 - ・広域的な視点や多様な関係者の連携による取り組み

【理念、戦略重点プロジェクト、目標像】

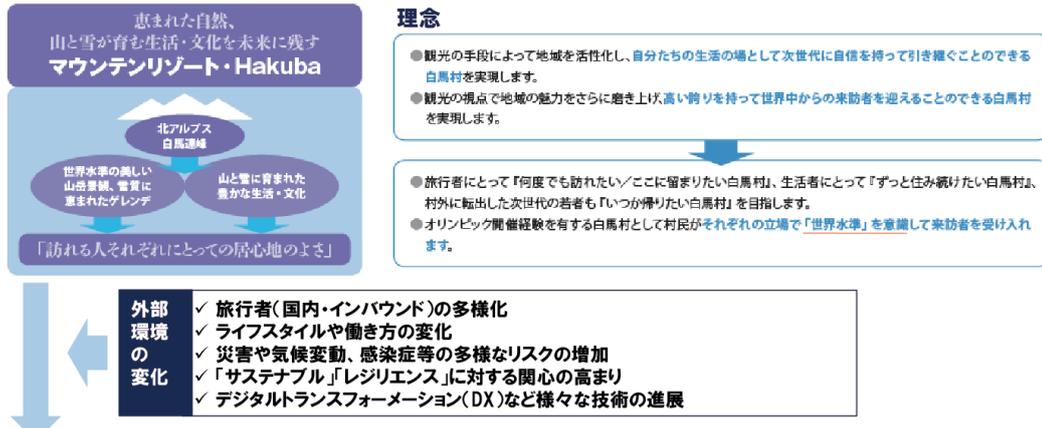


【後期の取り組み方針】

計画策定時の目標像を基本としつつ、後期は「世界水準」「オールシーズン」をより意識し、具体化していく。

白馬村観光地経営計画(後期)の取り組み方針

✓ 計画策定時の目標像を基本としつつ、後期は「世界水準」「オールシーズン」をより意識し、具体化していく。



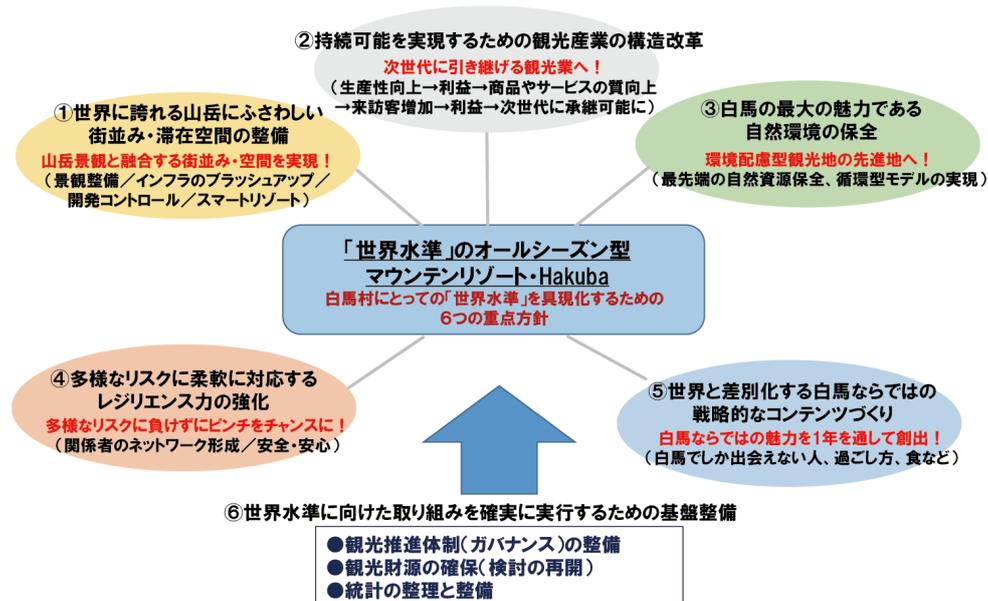
「世界水準」のオールシーズン型マウンテンリゾート・Hakubaの具現化

後期の目標像

- ①「世界水準」を具体化する**
→白馬の個性・特徴・強み等を常に模索し、世界水準の白馬とは何かを議論し続ける
→オリンピックからのブラッシュアップ(世界のお客様を迎えた経験とインフラをブラッシュアップ)
- ②世界の真似ではなく、世界を意識した上で白馬にしかできないマウンテンリゾートを形にする**
→山岳観光地としての発祥である白馬から日本初のマウンテンリゾートを実現(白馬にしかない個性を紡ぐ)
→山から生み出されるもの(景観、雪、水…)を活かし、これらの環境を楽しめるアクティビティ、開発されすぎでない良さ等々
- ③オールシーズン型の観光を実現する**
→春・夏・秋の魅力をより高めて来訪を平準化。観光産業の収入を安定化。

白馬村にとっての「世界水準」を具現化するための重点方針

✓ 計画の内容は大きく変えずに、後期に重点的に取り組むべき6つの重点方針を元に戦略を整理



(2) 白馬村高齢者福祉計画（令和6年3月）白馬村

この計画は、地域包括ケアシステムの考え方に立脚しつつ、高齢者一人ひとりの安心、健康、生きがい、誇りを確保・向上するという観点から、策定しています。

【計画の期間】

令和6年度から令和8年度までの3年間

【基本理念と目標】

基本理念 つながり 支え合う 豊かなむらづくり

【目指すべき姿（目標）】

- 目標1 健康寿命延伸
- 目標2 在宅生活への支援強化
- 目標3 地域包括ケアシステムの深化
- 目標4 安全・安心な暮らしの推進

目標を実現するための施策展開の中で、公共交通に関連して次のような施策の展開を示しています。

《在宅生活への支援強化》

①公共交通（乗合タクシー運行事業）

デマンド型乗合タクシーは、令和6年度以降、観光AIデマンドや下校時のスクールバスとの統合により、従来と形は異なりますが、利用に対するサポート体制の充実を図ります。

②福祉輸送サービス事業

心身の状態により公共交通機関の利用が困難な高齢者に対し、[医療機関への移送](#)を支援します。

③配食サービス事業

買い物や調理が困難な高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、配達時には利用者の安否確認を行います。

④ファミリー・サポート・センター事業

地域の子育て支援のほか、高齢者や障がい者の生活支援を受けたい人と行いたい人が会員となり、支え合う会員組織です。留守番、買い物代行、病院への付き添いなど、専門性を必要としない軽度な支援を行います。

(3) 白馬村障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画（令和6年3月）白馬村誰もが地域でいきいきとし安心して暮らせるまちづくりの実現に向けた障がい福祉サービスや相談支援、地域生活支援等を提供する体制を構築していくことを目指しています。

【計画の期間】

第4期白馬村障害者計画：令和6年度から令和11年度までの6年間

第7期白馬村障害福祉計画：令和6年度から令和8年度までの3年間

第3期白馬村障害児福祉計画：令和6年度から令和8年度までの3年間

【計画の基本理念】

『お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生するまちづくり』

- ・障がいの有無にかかわらず、社会のあらゆる活動に参加する主体として、自らの能力を最大限発揮することができる。
- ・自分らしく生きていくために必要な支援を、地域全体の理解・協力のもと受けることができる。

「みんなでつくる、みんなで輝くまちづくり」を目指します。

【基本計画】

- ①地域における自立生活の支援
- ②社会参加の促進と就労支援
- ③人にやさしいまちづくり

施策の展開の中で、公共交通に関連して次のような施策の展開を示しています。

《人にやさしいまちづくり》

- ・スポーツ施設や公民館等、各種公共施設のバリアフリー化と、**移動手段の充実**による、障がいのある人が利用しやすい環境の整備に努めます。
- ・信州パーキング・パーミット制度の普及を進めていきながら、公共施設における**車イス使用車両等の駐車場**の確保に努めます。

(4) 白馬村ゼロカーボンロードマップ（令和6年5月）白馬村

地球環境が変化する中で、白馬村の類いまれな自然環境を残し続けたいという願いを現実にするには、村や人が変わっていく必要がある。そんな思いから、白馬村のゼロカーボンへの歩みはつながってきています。

本ロードマップは、令和2年2月に宣言された「白馬村ゼロカーボンビジョン」の実現に向け、具体的な取組の組み立て及び推進を促すことを目的に策定しています。

《白馬村の目指す未来》

「いのち」として守り続けてきた白馬村の自然風土を残し続けるために、
ゼロカーボンとネイチャーポジティブを両輪で目指します。

白馬村 村民憲章

わたくしたちは、北アルプスの山なみにいだから生きる、白馬村民です。白馬岳・姫川に象徴される豊かな自然風土は、わたくしたち白馬村民のいのちです。

わたくしたちは、村の歴史をとうとび、未来を語り、さらにすばらしい村にする願いをこめて、ここに村民憲章を制定します。

- 自然に学び風雪に耐えて力強く生きましょう
- 先祖の遺産を受け継ぎ 地域に根ざした文化を築きましょう
- あたたかい心を育て 明日をつくる喜びをわかちましょう
- 美しい山河を守り 住みよい村をつくりましょう
- 白馬の土と人を愛し 来訪者をあたたかく迎えますよう

1979年11月1日制定

※ゼロカーボン：CO2排出量が実質ゼロの状態
※ネイチャーポジティブ：生物多様性が回復軌道に乗っている状態

気候変動を食い止め、
生き物が持続可能に生きていける環境をつくる

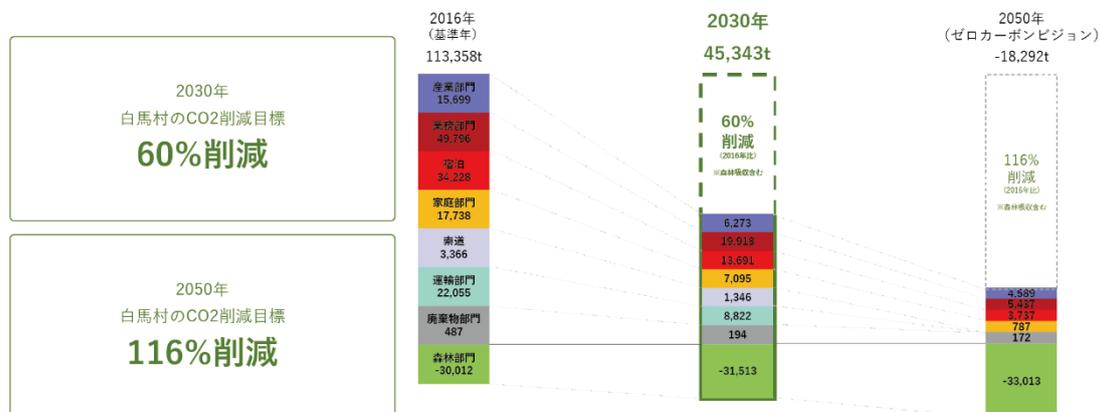
「いのち」である
自然風土を残し続ける

ゼロカーボン (ZC) ネイチャーポジティブ (NP)

生物多様性を回復し、
自然と共生しながら物質循環を最適化する

《白馬村のCO₂排出削減目標》

世界や国では2050年にCO₂排出量を実質ゼロにすることを目標に掲げていますが、CO₂排出量実質ゼロに至るまでに、どれだけ早い段階でCO₂排出量を削減できるかが重視されています。白馬村ではゼロカーボンビジョンにて2050年のCO₂削減目標を定めていますが、本ロードマップにて2030年のCO₂排出量を60%削減することを決めました。



《4つの重点領域》



《移動、運輸、交通のスケジュール》

温室効果ガスを排出しない移動・運輸・交通

▶ : 検討段階
 ▶ : 判断段階
 ▶ : 実証・実装段階
 ▶ : 国・県施策

	2020-2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2050
特徴	①観光地であり、特に冬シーズンは観光客、地域住民双方の交通手段が不足しがちで交通インフラ整備のニーズが強い。 ②村内に主要エリアが点在する地形で自家用車需要が高く、一人当たりの保有台数が多い中で、環境負荷の低い自家用車の割合を増やすことが求められる。 ③寒冷地かつ雪国であり、EVでの電力消費効率の低下や、低価格で選べるEV四駆の車種不足などいくつかのEV導入の障壁を乗り越える工夫が求められる。								
	①観光地であり、特に冬シーズンは観光客、地域住民双方の交通手段が不足しがちで交通インフラ整備のニーズが強い。 ②村内に主要エリアが点在する地形で自家用車需要が高く、一人当たりの保有台数が多い中で、環境負荷の低い自家用車の割合を増やすことが求められる。 ③寒冷地かつ雪国であり、EVでの電力消費効率の低下や、低価格で選べるEV四駆の車種不足などいくつかのEV導入の障壁を乗り越える工夫が求められる。								
	①観光地であり、特に冬シーズンは観光客、地域住民双方の交通手段が不足しがちで交通インフラ整備のニーズが強い。 ②村内に主要エリアが点在する地形で自家用車需要が高く、一人当たりの保有台数が多い中で、環境負荷の低い自家用車の割合を増やすことが求められる。 ③寒冷地かつ雪国であり、EVでの電力消費効率の低下や、低価格で選べるEV四駆の車種不足などいくつかのEV導入の障壁を乗り越える工夫が求められる。								
自家用車・商用車の電氣化推進		公用車の一部EV・FCV化検討	公用車の一部EV・FCVの導入 (車検タイミングに合わせて)	自治体EVシェアリング事業検討	実証判断 村内シャトルバス・タクシーのEV・FCV化促進施策検討 民間事業者連携によるEV活用検討 (EV電池の電源利用・V2H促進)	実証実験	実証判断	自治体EVシェアリング事業実装 村内シャトルバス・タクシーのEV・FCVの導入 (村内交通事業者連携)	
充電インフラ整備		公共施設のソーラーカーポート設置検討	設置判断	公共施設のソーラーカーポート設置	水素ステーション設置検討	設置判断	水素ステーション設置推進		
移動の選択肢の拡充		次世代交通サービスの導入検討	次世代交通サービスの実証実験誘致 (マイクロモビリティやシェアリング事業等)		次世代交通サービスの実装判断		次世代交通サービスの実装 (民間事業者連携)		
持続可能な暮らしの構築発信		国・県含む各種施策の情報発信							
関連する国及び県の施策 (一部)	【県条例】 宿泊施設、集合住宅、商業施設等の充電器設置の努力義務、自動車環境情報提供義務								

第3章 公共交通の現状分析



1. 交通機関別の運行状況、利用状況

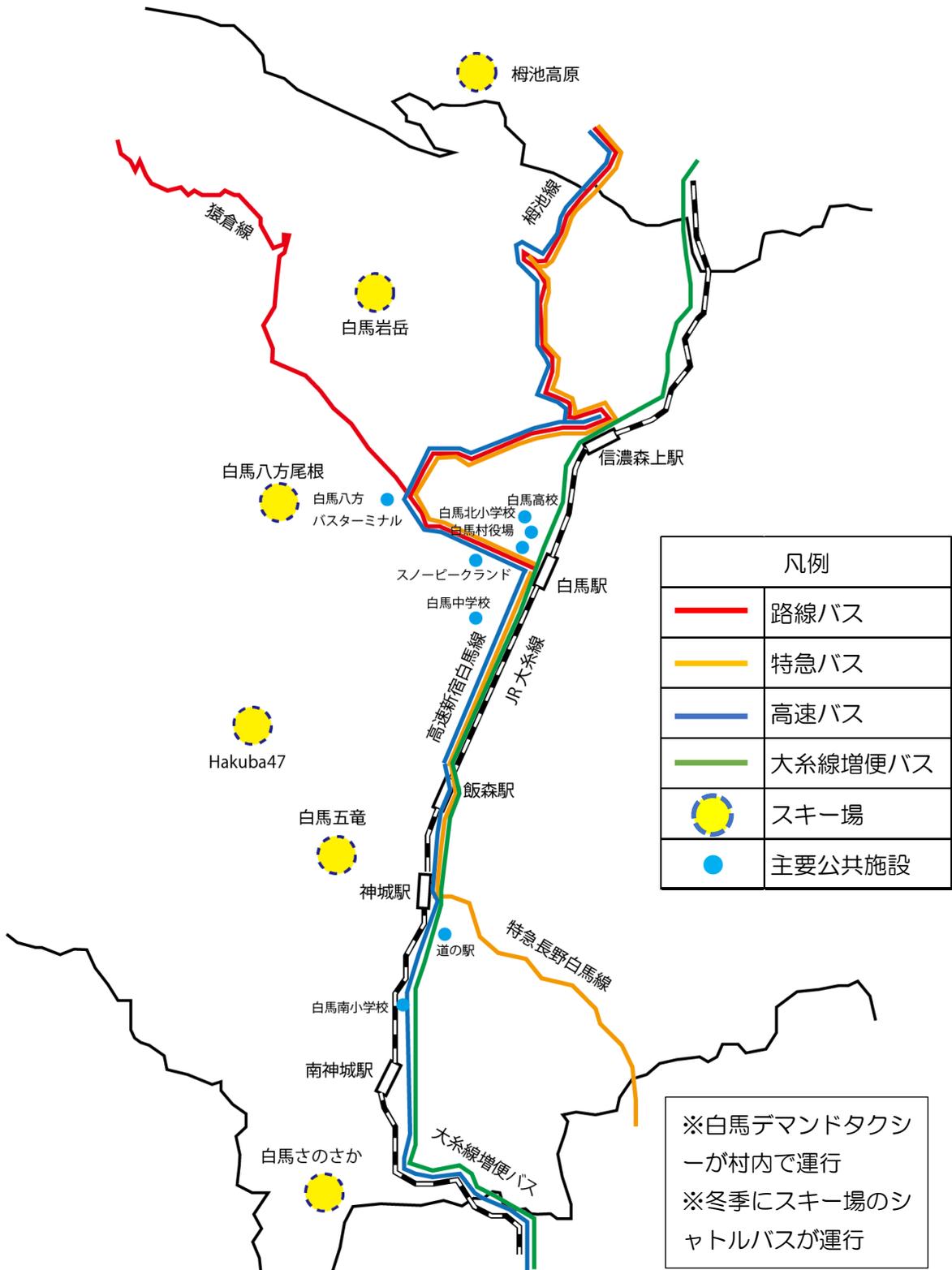
(1) 現況の公共交通網

白馬村の公共交通は以下に示すとおりであり、JR大糸線を軸として、路線バス等の各種バス、地域内移動を支援する白馬デマンドタクシーが運行しています。

表 3.1.1 白馬村の公共交通一覧

	交通機関	運行概要 等	事業者
①	鉄道 (JR大糸線)	南神城駅、 <u>神城駅</u> 、飯森駅、 <u>白馬駅</u> ※、信濃森上駅※ 下線は特急停車駅 ※は、大糸線臨時増便バスの停車駅	東日本旅客鉄道(株)
②	路線バス (季節運行)	・ 梅池線 (白馬駅～八方～落倉～梅池～白馬乗鞍) ※村内は白馬駅～落倉まで	アルピコ交通(株)
		・ 猿倉線 (白馬駅～八方～猿倉)	アルピコ交通(株)
③	高速バス	・ 新宿白馬線 (バスタ新宿～白馬八方、梅池高原)	アルピコ交通(株) (京王バス)
④	特急バス	・ 長野白馬線 (長野駅東口～白馬八方、白馬乗鞍) ・ 白馬扇沢線 ※令和6年度運行なし	アルピコ交通(株)
⑤	白馬デマンドタクシー	・ ふれAI号 ・ 白馬ナイトデマンドタクシー (冬期運行)	白馬村
⑥	その他バス	・ HAKUBAVALLEY シャトルバス ・ 白馬八方尾根・白馬岩岳・梅池高原シャトルバス ・ Hakuba47 無料シャトルバス	アルピコ交通(株) 白馬観光開発(株) (株) 白馬フォーティセブン
		スクールバス	白馬村
⑦	タクシー	配車：大町市、白馬村、小谷村 池田町、松川村、松本空港	アルプス第一交通
		配車：大町市、白馬村、小谷村	アルピコタクシー
		配車：白馬村内	白馬観光タクシー
⑧	福祉輸送サービス	利用要件をすべて満たす方を対象 予約が必要	白馬村社会福祉協議会

図 3.1.1 村内の公共交通図



(2) 鉄道

JR大系線は、松本市の松本駅から新潟県糸魚川駅を結ぶ鉄道であり、南小谷駅以南はJR東日本、以北はJR西日本の管轄です。全線単線ですが、中央本線を経由して新宿、名古屋から特急が白馬駅又は南小谷駅まで直通運転されています。

なお、名古屋からの特急運行は、運転日指定の運行です。

白馬駅、神城駅以外は無人駅であり、乗車人数は20~30人程度と考えられます。

白馬駅の1日平均乗車人数の推移をみると、令和元年には300人程度まで減少し、さらに新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年に173人まで減少しましたが、その後回復傾向にあり、令和5年には271人まで回復しています。

白馬駅の運行本数は、上下合わせると30本であり、信濃森上駅同様、大系線臨時増便バスの運行分を含んでいます。

白馬駅の降車人数は、12月~2月の冬のスキーシーズンと7月~8月の夏の観光シーズンがピークとなっています。新型コロナウイルス感染症拡大により冬の降車人数が令和4年には2,000人/月まで減っていましたが、令和4年には1万人/月まで増加しています。

図 3.1.1 白馬駅、神城駅の 1 日平均乗車人数の推移

出典：JR東日本資料

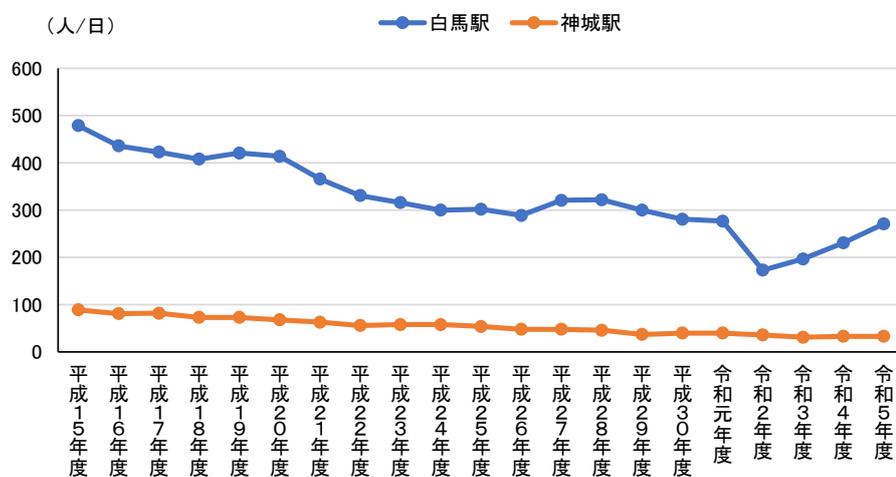


図 3.1.2 白馬駅の月別降車人数の推移

出典：JR東日本白馬駅資料

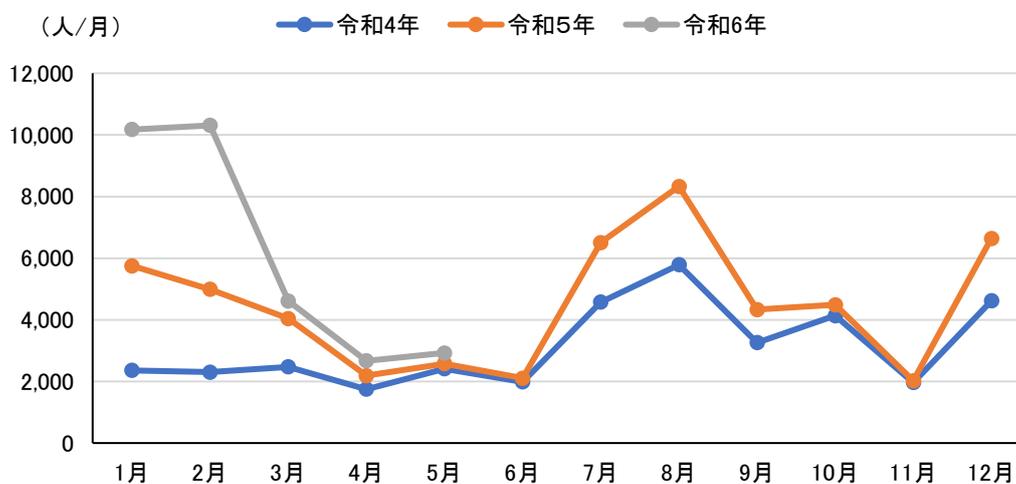


表 3.1.2(1) 各駅の状況

信濃森上駅	
<p>《1日乗車人数》25人（平成23年） 《運行本数》上り15本、下り14本</p> <p>《特徴》・トイレと簡易な待合室が設置され、隣接地に簡易郵便局がある無人駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間上り信濃大町駅行き快速が停車、上り松本駅行き直通が昼間1本停車 <p>《課題》・北側国道沿いに岩岳新田バス停があり、路線バス梅池線、特急長野白馬線が利用できるが駅から500m離れ、案内も無い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬岩岳方面の玄関口に立地するが、駅がその機能を果たしていない。 	
■ 駅舎と駅前広場	■ 待合室
	
白馬駅	
<p>《1日乗車人数》271人（令和5年） 《運行本数》上り14本、下り16本</p> <p>《特徴》・白馬村の玄関口となる駅で、東京や名古屋方面の特急電車が停車する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内の主要バス路線の結節点ともなっており、タクシーも常駐している。 ・構内に足湯があり、広場に隣接して観光案内所や飲食店、土産物店もある。 <p>《課題》・外国人利用者も多く見込まれるが、乗換えや利用方法に対する具体的な案内標示や外国語による標示が少なくわかりにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特急電車の本数が少なく、待合スペースも不足している。冬期の特急あずさ到着時には、送迎用車両によりバスが駅前広場に入れなかったことがある。 ・駅と二次交通、周辺観光施設の関連性が整理されていないのでわかりにくい。 	
■ 駅舎と駅前広場	■ 構内の足湯
	

※信濃森上駅は無人駅のため、乗車人数はデータのある最新のものを記載

表 3.1.2(2) 各駅の状況

飯森駅	
<p>《1日乗車人数》20人（平成23年） 《運行本数》上り10本、下り10本</p> <p>《特徴》・トイレと簡易な待合室が設置された無人駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上り松本駅行き直通が昼間1本停車 <p>《課題》・白馬五竜スキー場、HAKUBA47の案内板があるが、そこまでの二次交通がない。アクセス道路もわかりにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の広場が未舗装であり、近隣住民の利用が主と考えられる。 	
<p>■ 駅舎</p> 	<p>■ 待合室</p> 
神城駅	
<p>《1日乗車人数》33人（令和5年） 《運行本数》上り12本、下り11本</p> <p>《特徴》・白馬五竜観光協会やミニギャラリーが併設されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬五竜方面への玄関口であり、臨時便であるが、名古屋方面の上下特急、新宿方面からの夜行快速が停車する。 ・エスカルプラザへの無料シャトルバスが運行している。 <p>《課題》・案内板やガイドマップはあるが、ばらばらに配置されており、初めて訪れた観光客にはわかりにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅と二次交通、周辺観光施設の関連性が整理されていないのでわかりにくい。 	
<p>■ 駅舎</p> 	<p>■ 待合室のミニギャラリー</p> 

※飯森駅は無人駅のため、乗車人数はデータのある最新のものを記載

表 3.1.2(3) 各駅の状況

南神城駅	
<p>《1日乗車人数》21人（平成23年） 《運行本数》上り10本、下り10本</p> <p>《特徴》・トイレと簡易な待合室が設置された無人駅でJR東日本最西端の駅である。</p> <ul style="list-style-type: none">・上り松本駅行き直通が昼間1本停車 <p>《課題》・国道148号に案内標識が無く、駅が存在がわからない。</p> <ul style="list-style-type: none">・ふれAI号の乗降ポイントになっているが、村のホームページで確認しないと具体的な利用方法がわからない。	
■ 駅舎	■ 待合室
	

※南神城駅は無人駅のため、乗車人数はデータのある最新のものを記載

(3) 路線バス

路線バスは、白馬大雪渓・白馬岳方面への登山口である猿倉荘を連絡する猿倉線、小谷村の柵池高原、白馬乗鞍方面を連絡する柵池線の2路線があります。

【柵池線】

利用者数は、令和元年に新型コロナウイルス感染症拡大により200人程度となりましたが、令和5年には白馬駅行きが6,400人、柵池行きが4,500人まで回復しています。

令和5年8月の乗降者数の多いバス停は、柵池行きが白馬駅、八方、岩岳マウンテンリゾート、乗鞍高原の4箇所です。白馬駅行きは、柵池高原、岩岳マウンテンリゾート、八方、白馬駅などが多くなっています。

図 3.1.3 路線バス網図

出典：アルピコ交通株式会社資料（令和6年4月現在）

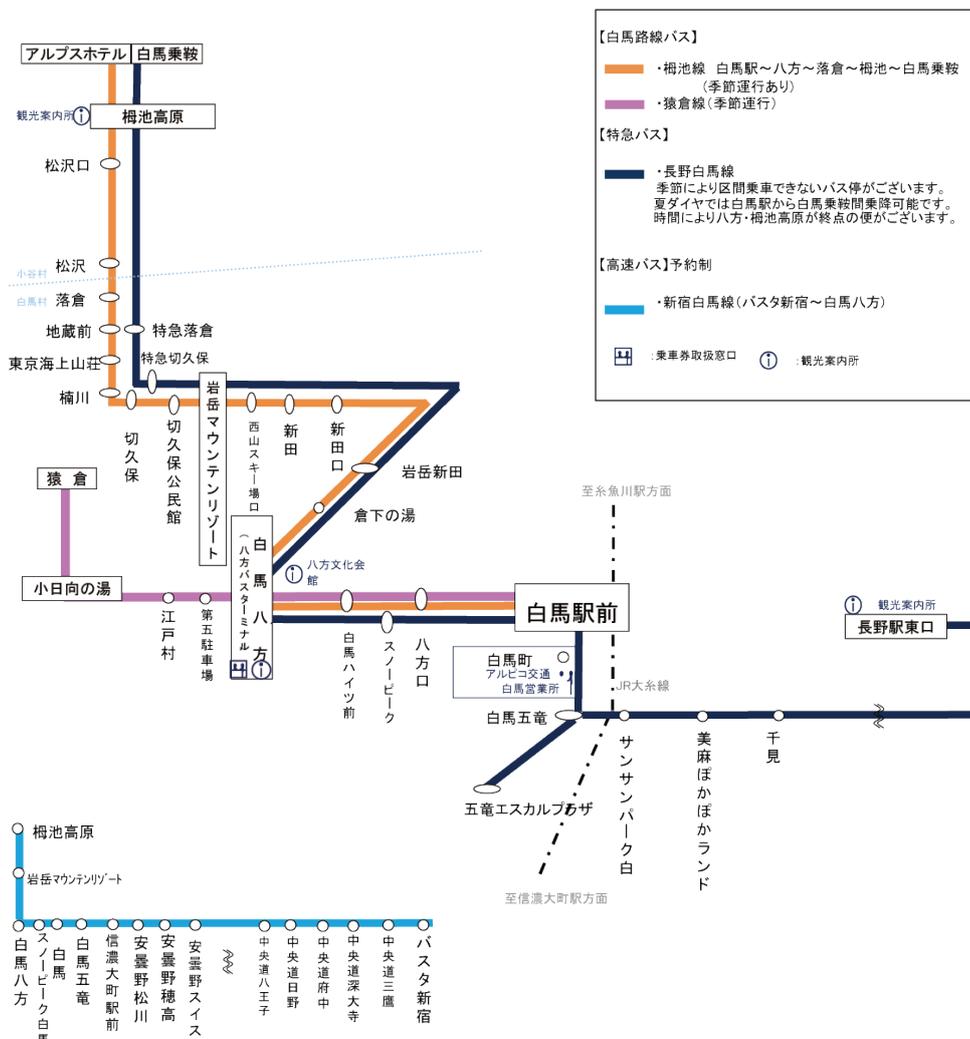


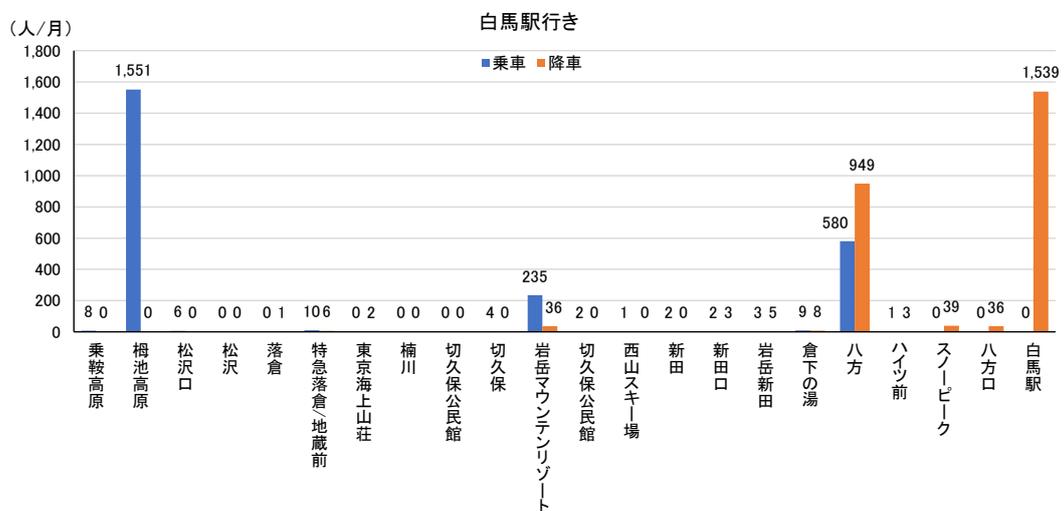
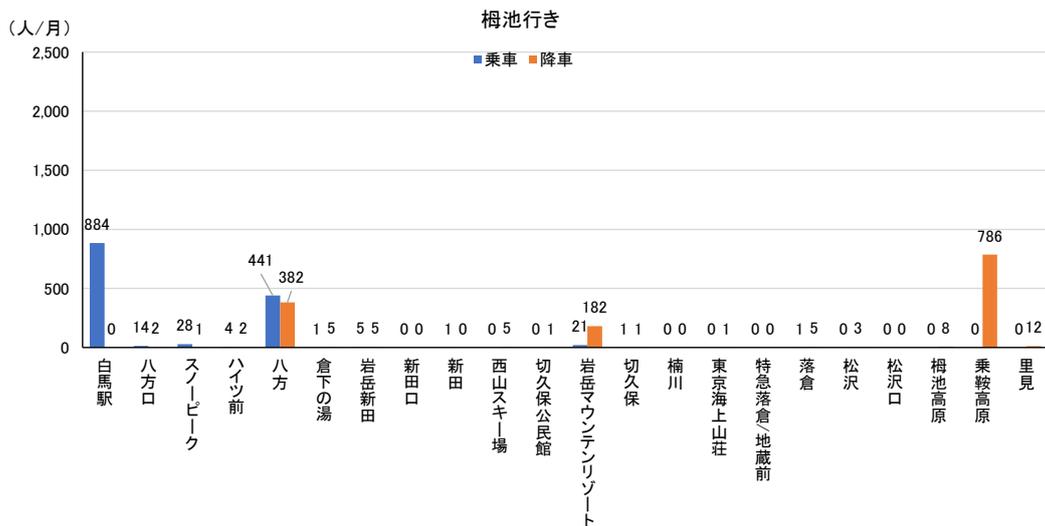
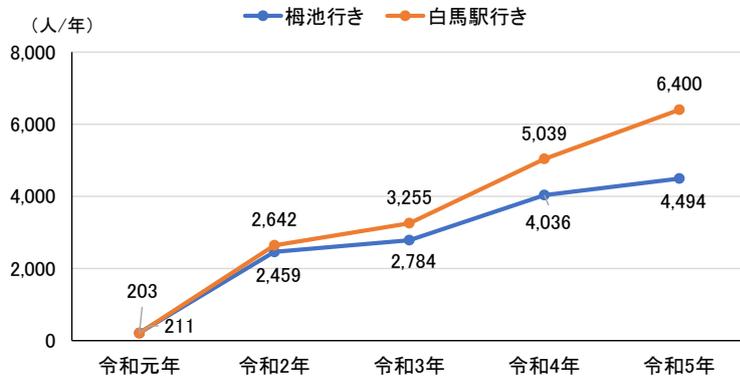
図 3.1.4 柵池線の乗車人数の推移とバス停別の乗降者数

出典：アルピコ交通株式会社資料

バス停別の乗降者数は R5 年 8 月の資料

乗車人数

各年 4 月～11 月のデータ



【猿倉線時刻表】

▲
▽
猿倉線

2024年7月13日～8月25日の毎日、8月31日～9月23日の土日祝						
白馬駅 → 白馬八方 → 猿倉				平日・土日共通		
Hakuba → Hakuba Happo → Sarukura						
						Operastion day
	白馬駅発	555	720	1200	1400	Hakuba Sta.
	八方口	556	721	1201	1401	Happoguchi
	白馬ハイツ	557	722	1202	1402	Hakuba Heights
	白馬八方バスターミナル	600	725	1205	1405	Hakuba Happo Bus Terminal
	江戸村	601	726	1206	1406	Edomura
	小日向の湯	605	730	1210	1410	Obinatanoyu
	猿倉着	622	747	1227	1427	Sarukura
運転日： 7/13～8/25の毎日、8/31～9/23の土日祝の運行 記載した時刻は通過予定時刻です。道路事情等により遅れる場合があります。 この時刻表には、すべての停留所を記載しています。						

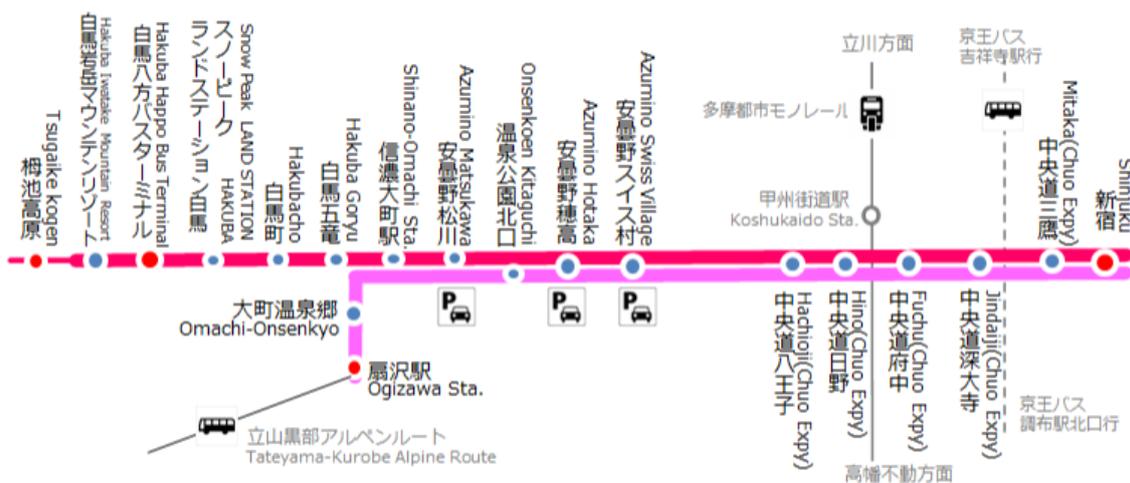
(白馬駅
～
白馬八方
～
猿倉)

2024年7月13日～8月25日の毎日、8月31日～9月23日の土日祝						
猿倉 → 白馬八方 → 白馬駅				平日・土日共通		
Sarukura → Hakuba Happo → Hakuba						
						Operastion day
	猿倉発	750	1237	1435		Sarukura
	小日向の湯	807	1254	1452		Obinatanoyu
	江戸村	811	1258	1456		Edomura
	白馬八方バスターミナル	812	1259	1457		Hakuba Happo Bus Terminal
	白馬ハイツ	813	1300	1458		Hakuba Heights
	八方口	814	1301	1459		Happoguchi
	白馬駅着	817	1304	1502		Hakuba Sta.
運転日： 7/13～8/25の毎日、8/31～9/23の土日祝の運行 記載した時刻は通過予定時刻です。道路事情等により遅れる場合があります。 この時刻表には、すべての停留所を記載しています。						

(4) 高速バス

定期的に新宿と白馬村を結ぶ高速バスが、上下 6 便ずつ運行しています。新宿～白馬間の運賃は、固定運賃と変動型運賃の 2 種類があり、固定運賃も曜日によって異なります。新宿～白馬間で、変動型運賃が 4,300 円から、固定運賃が 5,800 円から 7,000 円までとなっています。夜行便は 1,400 円の割り増しになっています。

高速バス路線図（白馬～新宿）



(5) 特急バス

1) 白馬～扇沢（アルペンライナー）

白馬コルチナと立山黒部アルペンルートの長野県側の起点扇沢駅を連絡するバスで、6 月から 10 月まで運行していましたが、令和 6 年度は運行していません。

特急バス路線図（白馬コルチナ～扇沢）



2) 長野～白馬

定期的に長野駅と白馬村を結ぶ特急バスで、白馬行きは毎日7便、長野行きは毎日5便、平日1便、土日祝1便の運行となっています。

長野駅～白馬間は、片道大人1名2,500円で運行しています。

特急バス路線図（長野駅東口～白馬乗鞍）



【特急バス（長野～白馬線）時刻表】

▲
▽
長野
（
白馬線

2024年4月1日～11月30日（予定）								
特急 長野 → 白馬								
Nagano → Hakuba								
運転日	毎日	Operations day						
行き先	白馬乗鞍	榑池高原	白馬乗鞍	白馬乗鞍	白馬八方	白馬八方	白馬八方	Bus number
乗善光寺大門発	750
乗ホテル国際21	755
乗ホテルメトロポリタン長野	805
乗長野駅東口発	820	950	1100	1400	1710	1820	2000	Nagano Sta.
千見発	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
美麻ぼかぼかランド前	903	1033	1143	1443	1753	1903	2043	Senmi
降サンサンパーク白馬着	906	1036	1146	1446	1756	1906	2046	Miasa Pokapokaland
降五竜エスカルプラザ	916	1046	1156	1456	1806	1916	2056	Sansanpark Hakuba
降白馬五竜		1100						Goryu Escalplaza
白馬駅前	925	1105	1205	1505	1815	1925	2105	Hakuba Goryu
スノーピークランドステーション白馬	930	1110	1210	1510	1820	1930	2110	Hakuba Sta.
白馬八方バスターミナル	931	1111	1211	1511	1821	1931	2111	Snow Peak LAND STATION HAKUBA
岩岳新田	935	1115	1215	1515	1825	1935	2115	Hakuba Happo Bus Terminal
白馬岩岳マウンテンリゾート	940	1120	1220	1520	Iwatake Shinden
特急切久保	946	1126	1226	1526	Hakuba Iwatake Mountain Resort
特急落倉	947	1127	1227	1527	Kirikubo (Ltd. Exp. Bus Stop)
降榑池高原	952	1132	1232	1532	Ochikura (Ltd. Exp. Bus Stop)
降白馬乗鞍	957	1137	1237	1537	Tsugaikoe Kogen (Highlands)
降白馬乗鞍	1007	...	1247	1547	Hakuba Norikura

乗印＝乗車専用の停留所
降印＝降車専用の停留所

白馬五竜 / サンサンパーク白馬 / 五竜エスカルプラザ 停留所は 降車専用です。ご注意ください。

記載した時刻は通過予定時刻です。道路事情等により遅れる場合があります。
この時刻表には、すべての停留所を記載しています。

（
長野
|

白馬
（

春
秋

2024年4月1日～11月30日（予定）								
特急 白馬 → 長野								
Hakuba → Nagano								
運転日	平日	土日祝	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	Operations day
始発地	白馬八方	白馬八方	白馬八方	白馬乗鞍	白馬乗鞍	榑池高原	榑池高原	Bus number
乗白馬乗鞍発	1038	1413	Hakuba Norikura
乗榑池高原	1046	1421	1526	1721	Tsugaikoe Kogen (Highlands)
乗特急落倉	1050	1425	1530	1725	Ochikura (Ltd. Exp. Bus Stop)
乗特急切久保	1054	1429	1534	1729	Kirikubo (Ltd. Exp. Bus Stop)
乗白馬岩岳マウンテンリゾート	1055	1430	1535	1730	Hakuba Iwatake Mountain Resort
乗岩岳新田	1100	1435	1540	1735	Iwatake Shinden
乗白馬八方バスターミナル	630	630	820	1110	1445	1550	1745	Hakuba Happo Bus Terminal
スノーピークランドステーション白馬	632	632	822	1112	1447	1552	1747	Snow Peak LAND STATION HAKUBA
乗白馬駅前	635	635	825	1115	1450	1555	1750	Hakuba Sta.
乗白馬五竜	640	640	830	1120	1455	1600	1755	Hakuba Goryu
乗五竜エスカルプラザ					1500			Goryu Escalplaza
乗サンサンパーク白馬	643	643	833	1123	1508	1603	1758	Sansanpark Hakuba
乗美麻ぼかぼかランド前	650	650	840	1130	1515	1610	1805	Miasa Pokapokaland
千見	653	653	843	1133	1518	1613	1808	Senmi
降長野駅東口着	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
降昭和通り	750	750	935	1225	1610	1705	1900	Nagano Sta.
降長野県庁	754	Showadori
降長野バスターミナル	755	Nagano Kencho (Pref. Office)
降長野バスターミナル	800	Nagano Bus Terminal

乗印＝乗車専用の停留所
降印＝降車専用の停留所

白馬五竜 / サンサンパーク白馬 / 五竜エスカルプラザ 停留所は 乗車専用です。ご注意ください。
白馬八方バスターミナル6:30発は、平日のみ長野駅東口到着後、昭和通り・県庁前・長野バスターミナルに停車します。

記載した時刻は通過予定時刻です。道路事情等により遅れる場合があります。
この時刻表には、すべての停留所を記載しています。

(6) 白馬村 AI オンデマンド乗合交通（白馬デマンドタクシー）

1) 運行目的

AI オンデマンド乗合交通を運行することにより、白馬村内における生活交通手段及び観光交通手段を確保し、公共の福祉の増進及び地域経済の活性化に寄与することを目的としています。

2) 運行方法

実施主体：白馬村 運行主体：一般乗合旅客自動車運送事業者

3) 運行内容

	ふれ AI 号	白馬ナイトデマンドタクシー
運行期間	365 日（毎日運行）	令和 6 年 12 月 16 日～令和 7 年 3 月 16 日
運行時間	8 時から 17 時まで	17 時から 23 時まで
利用対象者	村民、観光客（誰でも利用可能）	
乗降場所	93 箇所	34 箇所

※令和 7 年 2 月現在

4) 予約方法

ふれ AI 号	白馬ナイトデマンドタクシー
<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ：すべての方(24 時間、365 日予約可能) ・電話：村民のみ(平日 8 時 30 分～17 時) ・乗車の 3 日前から当日まで予約可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ予約のみ ・乗車日当日の午前 9 時から予約可能

5) 利用料金

料金体系	ふれ AI 号	白馬ナイトデマンドタクシー
1 乗車	300 円	500 円
65 歳以上の方、身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳を所持する方、アプリ内クレジット決済の方	270 円	450 円
65 歳以上の方、身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳を所持する方でアプリ内クレジット決済の方	243 円	405 円
デジタル定期パス	1,000 円/日 5,000 円/月	運行期間中（5,000 円）

■ふれ AI 号の利用案内

白馬デマンドタクシー「ふれ AI 号」

走る道や時刻が決まっていない
予約型のバスです。



運行日 毎日運行
(※土日祝日・年末年始も運行します)

運行時間 午前 8 時～午後 5 時
(※乗車は午後 4 時 30 分頃に発車するタクシーまでです)

運賃

区分	支払方法ほか	通常	割引対象者
1 乗車	現金払い	300円	270円
	アプリ決済	270円	243円
定期券	アプリ決済	1日券	1,000円
		1か月券	5,000円

※「割引対象者」とは、65歳以上高齢者、または障害者手帳の交付を受けている方

のりば 乗降場所は村内に 93 箇所
乗降場所のほか、下記の条件に該当する方は登録によりご自宅前からの乗降が可能です。

自宅前乗降利用要件
白馬村に住居票を有する方で、下記に該当する方は自宅前停留所の利用が可能です。役場健康福祉課にて「利用登録票」を提出ください。利用には最長で一か月半程度のお時間をいただきます。あらかじめご了承ください。

① 65 歳以上の高齢者 ② 妊娠中の方 ③ 障害者手帳をお持ちの方
④ 生活保護世帯 ⑤ 母子及び父子並びに寡婦福祉法に規定する家庭
⑥ 介護保険法に規定する要介護・要支援認定者
⑦ 障害基礎年金を受給されている方

アプリの方がお得です！



- ふれ AI 号 乗降場所**
- 1 白馬マール七前
 - 2 南村道祖神交差点
 - 3 白馬クロスカントリー競技場
 - 4 佐野区 生活改善センター
 - 5 倉科鍼灸整骨院
 - 6 JR南神城駅
 - 7 沢渡 公民館
 - 8 黒土
 - 9 白馬南小学校
 - 10 三日市場 農産物処理加工施設
 - 11 堀之内 高齢者支え合いセンター
 - 12 飯田 交流センター (北口)
 - 13 道の駅白馬
 - 14 JR神城駅
 - 15 白馬診療所
 - 16 神城醫院
 - 17 十郎の湯
 - 18 現奈商店前
 - 19 JR飯盛駅
 - 20 しんたにクリニック
 - 21 名鉄交差点 西側 2 条
 - 22 名鉄 5 条通り 南側
 - 23 ザベッジ白馬店 (国道側入口)
 - 24 白馬村グリーンスポーツ施設駐車場
 - 25 武田歯科
 - 26 岳の湯前 (ゲートボールアリーナ)
 - 27 ハクバリゾートホームズ
 - 28 ホテル カルチャード
 - 29 白馬町 交流センター
 - 30 ウイング 21
 - 31 白馬村役場 正面玄関
 - 32 JR白馬駅
 - 33 柏原歯科
 - 34 栗田医院
 - 35 ホテル キング
 - 36 しろうま保育園
 - 37 瑞穂 農業生活改善センター
 - 38 白馬高校寮
 - 39 シェイクスピアホテル
 - 40 八方第 2 駐車場足湯前
 - 41 白馬ジャンプ競技場
 - 42 プチホテル志鷹
 - 43 大出 (消防ポンプ小屋)
 - 44 大出 (友部アパート)
 - 45 藤平集落センター
 - 46 藤平橋西
 - 47 藤方 公民館
 - 48 森上 基幹センター
 - 49 北部農業者トレーニングセンター
 - 50 JR 信濃森上駅
 - 51 横沢医院
 - 52 野平 基幹センター
 - 53 堀島 基幹センター
 - 54 立の間
 - 55 湯
 - 56 青鬼 駐車場
 - 57 新田 公民館
 - 58 大谷山荘前
 - 59 ビーターラビット
 - 60 切久保 公民館
 - 61 風切り地蔵前
 - 62 ささか観光協会
 - 63 エイブル白馬五電エスカルプラザ
 - 64 白馬の森
 - 65 飯森ゲレンデ下
 - 66 センイレブのみそら野
 - 67 チェリーパブ
 - 68 Aコープ白馬店 (道の駅側入口)
 - 69 デリシア白馬店 (国道側入口)
 - 70 スノーピークランドステーション白馬
 - 71 瑞穂交差点
 - 72 エコーランドロータリー
 - 73 八方アルプス広場
 - 74 八方コンドラ
 - 75 白馬東急ホテル
 - 76 咲花ゲレンデ入口
 - 77 ホテルアベスト八方
 - 78 センイレブ白馬岩岳
 - 79 岩岳コンドラ前
 - 80 ホテルセラリゾート白馬
 - 81 太田薬局
 - 82 フジノヤ薬局
 - 83 松本信用金庫
 - 84 堀之内東住宅
 - 85 水車の小屋 (新田)
 - 86 カットハウスぐるーびー
 - 87 アルバインシャレール白馬
 - 88 倉下の湯
 - 89 きつちゅんちゅん
 - 90 竜倉公民館
 - 91 コメリハード&グリーン白馬店
 - 92 アメリカンドラッグ白馬店
 - 93 御幸堂

■白馬ナイトデマンドタクシーの利用案内



Feature 1 No fixed schedule, but reservations are required. Reservations are possible from 9:00 a.m. on the day. 決まった時刻の無い予約制です。当日9時から予約可能。

Feature 2 Passengers can board and get off at designated stops. 所定の停留所で乗り降りできます。

The AI (Artificial Intelligence) chooses the best route between designated stops in Hakuba Village according to the reservations. Very convenient for nighttime transportation for dining and shopping! 白馬村内の所定停留所間を、AI (人工知能) が予約に応じて最適なルートを選んで運行します。夜間の飲食や買い物の移動に大変便利です!

Period 2024年12月16日(月)~2025年3月16日(日) 午後5:00~午後11:00
Operating every day during the period 期間中毎日運行

450yen: 1 ride (Credit card payment/pre-register in the app)
450円: 1乗車 (クレジットカード決済/アプリ事前登録)
Cash payment is 500 yen: 1 ride 現金支払いの場合500円: 1乗車

5,000 yen : unlimited rides during this period (Credit card payment/pre-register in the app)
5,000円: 期間中乗り放題 (クレジットカード決済/アプリ事前登録)

●Please refrain from bringing skis and snowboards on the HND.
●You can continue using the HND app you used last season by updating it.
●スマホ・PC・メール・アプリを持っての乗車はご遠慮ください。
●昨シーズンご利用いただいたHNDアプリはアップデートする事で引き続きご利用いただけます。
●白馬村在住の方は、年齢等により運賃が変わります。

Get the mobile app first!
まずはスマホアプリをGET
available in mid-December アプリは12月中旬リリース予定

SWAT HAKUBA

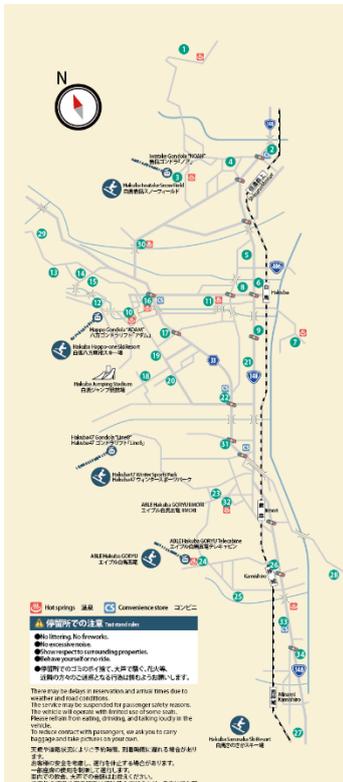
Reservations for restaurants in Hakuba
白馬村内の飲食店予約はこちら

With TableCheck, you can make reservations at approximately 50 restaurants in Hakuba Village, including Japanese, Western, and Chinese restaurants, as well as hotel dining options. (TableCheck) を使えば、白馬村内約50店舗の和・洋・中・多国籍飲食店・ホテルレストランの予約ができます。

QR Code for TableCheck

Uber is available now in HAKUBA
Uberが白馬村でサービス開始

Easy to e-hail Uber App
アプリで簡単タクシー乗車
Get 2,500yen OFF on your first ride
初回限定 2,500円OFF
Promotion Code : H2M80x33
01 Dec. 2024-31 Mar. 2025



- Designated stops 停留所名**
- There are no landmarks at the stop. It is a virtual stop. Virtual stops can be found on the map displayed in the app when you request a reservation. 停留所には目印がなく、仮想停留所です。仮想停留所は、予約リストアップ時に表示されるマップで確認いただけます。
1. Hotel Sierra resort Hakuba
 2. Eleven Hakuba iwatake
 3. Iwatake Gondola
 4. Shoya Maruhachi
 5. DELICIA Hakuba
 6. Hakuba Station
 7. Hakuba Highland Hotel
 8. Acoop Hakuba
 9. Kikyo Restaurant
 10. Happo Alps Open Space
 11. Snow Peak Land Station Hakuba
 12. Happo Gondola
 13. Happo Sakka Base Area
 14. Haba Homeli Hotel/Vistor Center
 15. Hakuba Tokyu Hotel
 16. Haba Village Inn
 17. Mizuho-Crossroad
 18. Echo-Land roundabout
 19. Hinabe Restaurant
 20. Cherry Pub
 21. The BIG (Supermarket)
 22. Eleven Misorano
 23. Goryu Iimori Base Area
 24. H&E Hakuba GORYU Escal Plaza
 25. Kamishiro Station
 26. Kamishiro Kankou Kyuukai
 27. Sansan Park Hakuba
 28. Hotel Abest Happo
 29. Kusuhiko no Yu
 30. Metta kosaten enisawa 2you
 31. Jyuroonyu
 32. Eleven Hakuba Kamishiro
 33. Hokudo

HAKUBA Night Demand Taxi App

When using for the first time
Create an account and enter your email address, password, name, and cell phone number. (Please enter the country code before the mobilephone number. Japan 81 is entered by default.) Registration is complete by entering the six-digit one-time password you will receive after entering the information.
※Please use your real name, and your nickname.

How to make a reservation
Reservation possible from 9:00 a.m. on the day. Details on how to use will be posted on the website. (available in early December)

【はじめて利用するとき】
「アカウント作成」からメールアドレス・パスワード・氏名・携帯電話の番号を入力してください。(携帯電話番号の国は日本を選択を入力してください。デフォルトは日本が入力されています。)入力後に届く6桁のワンタイムパスワードを入力して登録完了です。※コックネームではなく、お名前を登録してください。

【予約する方法】
当日9時から予約できます。利用方法の詳細はWebサイトでご案内致します。(12月上旬公開予定)

Inquiries regarding this project (except for operational status)
HAKUBA VILLAGE Tourism Division
本事業に関してのお問い合わせ (運行状況を除く)
白馬村 (観光課)
TEL.0261-85-0722 (8:30~17:00)
Excluding weekends and holidays 土日祝日を除く

2024-25 Shuttle Bus

Hakuba Valley Pass holders can ride the Shuttle Bus for free! (Valid only on days when you use ski/snowboard.)
Hakuba Valley Pass 持主の方は無料で乗車いただけます。(スキー/スノーボードの日限定)

QR Code for Shuttle Bus

実施主体: チャレンジ白馬 白馬村 アルビコタクシー株式会社 アルプス第一交通株式会社 白馬観光タクシー株式会社 有限会社 白馬交通

【Notes for using the service】

- About the operation: We may change routes when reservations are made as we are sharing the site with other customers. Therefore, there may be a delay in arrival from the original estimated time. Please understand this in advance.
- About the service: The service may be temporarily suspended without notice due to equipment malfunctions or other reasons. The personal information and other data received this time will be used only for charging the driver but it is not a future program.

【ご利用時の注意】

- 運行について: 予約状況に応じてルート変更や他のお客様との共用のため、到着に遅延が生じる場合があります。予めご了承ください。
- サービスについて: 設備の不具合やその他の理由により、サービスが一時中断される場合があります。この時点で収集された個人情報は、ドライバーへの料金徴収のみならず、今後のサービスにも活用される可能性があります。

8) 運行実績

令和5年度までのAI オンデマンド乗合交通の運行実績は次のとおりです。

表 3.1.3 AI オンデマンド乗合交通の運行実績

実施時期	令和4年度冬	令和5年度夏	令和5年度冬
実証期間	令和4年12月19日（月） ～令和5年2月28日（火） （72日間）	令和5年7月1日（土） ～令和5年9月30日（土） （33日間）	令和5年12月18日（月） ～令和6年2月29日（木） （74日間）
運行時間	17時～22時	8時～17時	17時～23時
予約方法	当日予約（9時～） 最終予約（22時運行終了 できるように）	前日15時から予約開始 最終予約（17時運行終了 できるように）	当日予約（9時～） 最終予約（23時運行終了 できるように）
車両台数	3台（8人乗り）	3台（8人乗り）	4台（8人乗り3台、 通勤用1台）
運賃	無料	無料	500円/回 住民向け乗り放題プラン （3000円/人）
乗降拠点 設置箇所 数	22箇所 （仮想バス停）	26箇所 （仮想バス停）	29箇所 （仮想バス停）
アプリ 登録者数	3,939	1,083	4,620
外国人 アプリ 登録者数	2,875 （73.0%）	71 （6.6%）	3,206 （69.0%）
予約件数	4,826	1,161	3,768
乗車人数	12,000	2,079	8,926
サービス 満足度	91%	91%	94%
相乗り率	73.2%	49.0%	47.0%

注) 運行結果の数値は、SWAT MOBILITY資料より

9) 運転免許証自主返納支援事業

白馬村では、高齢者等の交通事故を防止するための対策として、運転免許証を自主返納した方に、白馬村乗合タクシー（白馬ふれ愛号）の無料利用券を交付していましたが、令和6年4月からのAI オンデマンド乗合交通への移行により、次のように変更されました。

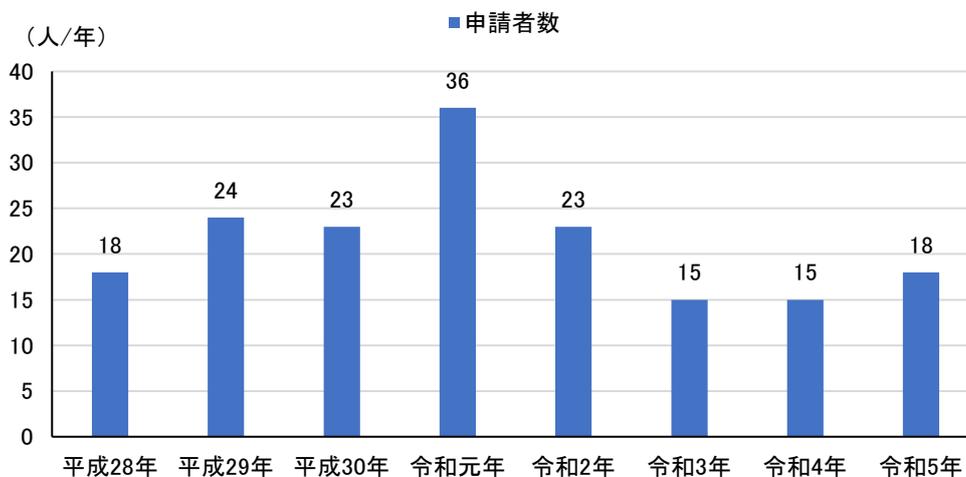
令和6年4月以降に警察署などで運転免許証の取消手続きを行った後、公安委員会が発行した「申請による運転免許の取消通知書」と印鑑を持参し、白馬村総務課の窓口で申請書を記入すると、これまでと同様に1回に限って白馬デマンドタクシーの無料利用券33枚（11枚綴りの回数券3冊）を交付しています。

過去の利用者数は年間20人前後で、令和元年は36人利用していますが、その後減少しています。

図 3.1.5 運転免許証自主返納支援事業利用者数の推移

出典：令和4年度デマンド型乗合タクシー運行事業運行状況報告書（白馬村健康福祉課）

運転免許証自主返納支援事業利用者

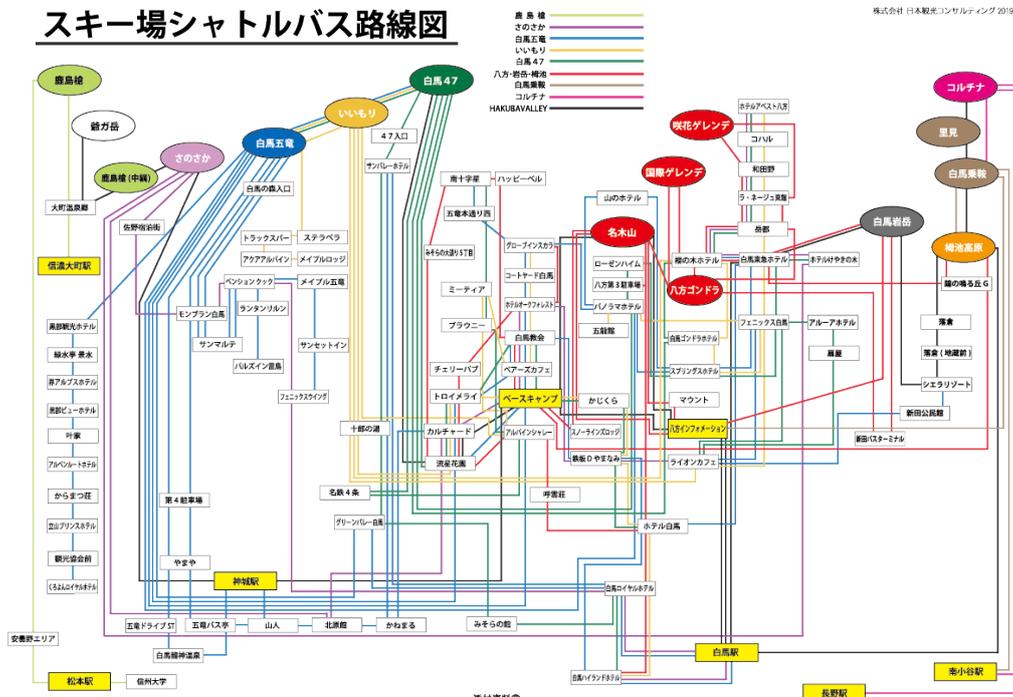


(7) その他バス

1) 観光シャトルバス

その他観光事業者等が運行しているシャトルバスがありますが路線は複雑です。

スキー場シャトルバス路線図



名称	HAKUBAVALLEY シャトルバス	白馬八方尾根・白馬岩岳 梅池高原シャトルバス	Hakuba47 無料シャトルバス
路線	HV-A おおまち号 HV-B はくば・おたり号	グリーンライン ブルーライン レッドライン	エイブル白馬五竜 ESCALPLAZA行き エイブル白馬五竜 IIMORI行き Hakuba47 WinterSportsPark行き トライアングル シャトルバス HAKUBAVALLEYHV-B
運行時期	2023年の場合 HV-A おおまち号 12/16～翌3/24 HV-B はくば・おたり号 12/16～翌3/31	2019年の場合 4/27～5/6 (毎日) 7/13～8/25 (毎日) 9/14～11/4 (土日祝)	2023年の場合 12/16～翌3/31
運行本数	HV-A おおまち号 3便 HV-B はくば・おたり号 42便	グリーンライン8便 ブルーライン8便 レッドライン9便	エイブル白馬五竜 ESCALPLAZA行き 7ルート2～8便 エイブル白馬五竜 IIMORI行き 4ルート各4便 Hakuba47 WinterSportsPark行き 6ルート2～5便 トライアングル シャトルバス16便 HAKUBAVALLEYHV-B 6便
料金	大人600円 小人300円 (6歳～11歳) 5歳以下 無料	1日フリーチケット 大人500円、小人250円 1回乗車チケット 大人300円、小人150円	大人600円、小人300円 5歳以下無料

①HAKUBAVALLEY シャトルバス

2023-24 Shuttle Bus

Hakuba Valley Pass holders can ride the Shuttle Bus for free!
(Valid only on days when you ski or snowboard)

Hakuba Valley 共通リフト券のご提示で無料でご利用いただけます。(当日有効券のみ)

Period of Operation (営業)

HV-A 18 Dec. 2023 - 24 Mar. 2024
15 Dec. 2023 (15日) - 15 Dec. 2023 (15日)

HV-B 18 Dec. 2023 - 31 Mar. 2024
15 Dec. 2023 (15日) - 15 Dec. 2023 (15日)

料金 (料金)

Adult ¥600 / Child ¥300 (For 1st)
12:00 - Ages 6-11 / Under age 6 Free
A.L. 500円 / A.L. 300円 / 1歳以下無料
※大人1歳以上は全額お支払いください

HV-A OMACHI LINE (乗車券)

HV-B HAKUBA-OTARI LINE (乗車券)

Shuttle Bus Schedule Valid only on days when you ski or snowboard

12/15 HAKUBA - OTARI LINE (乗車時刻表)

12/15 HAKUBA - OTARI LINE (乗車時刻表)

For Hakuba Cortina Snow Pass (乗車時刻表)

For Hakuba Snow Resort (乗車時刻表)

For Hakuba Hoppo Bus Terminal (乗車時刻表)

For Hakuba Hoppo Bus Terminal (乗車時刻表)

For Hakuba Hoppo Bus Terminal (乗車時刻表)

②白馬八方尾根・白馬岩岳・柺池高原シャトルバス

2024 Green Season

白馬八方尾根・白馬岩岳・柺池高原 シャトルバス時刻表

HAKUBA HAPPO-ONE・HAKUBA IWATAKE・TSUGAIKE KOGEN SHUTTLE BUS TIME TABLE

※各施設の営業期間にご注意ください **運行期間 2024年6月1日(土)～11月17日(日)**

【白馬八方尾根(八方ゴンドラ)営業期間】6月1日(土)～11月4日(日) ※6月9日(月)～6月7日(金)は運休
【白馬岩岳マウンテンリゾート(岩岳ゴンドラ)営業期間】4月19日(金)～11月17日(日)
【柺池マウンテンリゾート(柺池ゴンドラ)営業期間】6月1日(土)～11月4日(月) ※10月28日(月)～11月1日(金)は運休

乗車条件

- 白馬八方尾根・白馬岩岳マウンテンリゾート・つがいマウンテンリゾートのコンチアリフト・リフト・ロープウェイをご乗車当日に往復乗車されるお客様のみご利用いただけます。
- 他のバス停留間の移動にはご利用できません。

時刻表の見方

- 乗車のみ
- 降車のみ
- 乗降可能
- 柺池行き乗り換え

バス停	バスルート	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	バス停	バスルート	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯			
白馬ハイランドホテル		8:25	—	—	—	—	9:55	—	—	柺池ゴンドラ		12:45	—	—	—	14:05	—	15:30	—			
JR白馬駅		8:30	—	9:15	—	—	10:00	—	—	岩岳ゴンドラ		12:53	—	13:16	—	14:15	—	15:38	16:00			
ホテルオークフォレスト	↓	8:20	↓	—	—	9:50	↓	—	↓	白馬東急ホテル	↓	—	↓	—	—	14:22	—	15:44	↓			
コートヤード・バイ・マリオット白馬	↓	8:22	↓	—	—	9:52	↓	—	↓	白馬桜の木ホテル	↓	—	↓	—	—	—	—	15:45	↓			
ホテル白馬	↓	8:27	↓	—	—	9:57	↓	—	↓	八方ゴンドラ	13:03	13:03	↓	13:35	14:25	15:10	15:47	↓	↓			
八方第3駐車場/五龍館入口	↓	8:30	↓	—	—	10:00	↓	—	↓	白馬桜の木ホテル	—	13:05	↓	—	—	—	—	—	↓	↓		
スノーピークランドステーション白馬	↓	—	↓	9:20	—	—	—	—	—	白馬東急ホテル	—	13:06	↓	—	—	—	—	—	↓	↓		
八方ゴンドラ	8:37	8:35	↓	—	—	10:05	10:07	—	12:02	八方第3駐車場/五龍館入口	—	—	↓	—	—	—	—	—	↓	↓		
白馬桜の木ホテル	8:39	↓	—	—	—	10:07	↓	—	12:04	八方バスターミナル	—	13:10	13:22	↓	14:32	↓	15:54	16:08	—	—		
白馬東急ホテル	8:40	↓	—	—	—	10:08	↓	—	12:05	ホテル白馬	—	—	↓	—	—	—	—	—	15:59	16:13		
八方バスターミナル	↓	8:40	9:25	—	—	—	—	—	12:09	スノーピークランドステーション白馬	—	—	↓	—	—	—	—	—	16:03	16:18		
岩岳ゴンドラ	8:46	8:46	9:30	—	—	10:18	10:18	—	12:14	JR白馬駅	—	—	↓	13:27	↓	14:45	↓	16:08	16:23			
柺池ゴンドラ	8:58	柺池行き乗り換え	—	—	9:15	10:30	柺池行き乗り換え	—	10:40	白馬ハイランドホテル	—	—	—	—	—	—	—	—	14:55	↓	16:16	
岩岳ゴンドラ	—	—	—	—	9:23	—	—	—	10:48	ホテルオークフォレスト	—	—	—	—	—	—	—	—	15:15	↓	16:31	
八方ゴンドラ	—	—	—	—	—	9:31	—	—	10:56	コートヤード・バイ・マリオット白馬	—	—	—	—	—	—	—	—	15:17	↓	16:33	
八方バスターミナル	—	—	—	—	—	—	—	—	11:03	岩岳ゴンドラ	—	—	13:16	—	13:45	—	—	—	15:18	—	—	
										柺池ゴンドラ	—	—	—	—	—	—	—	—	14:05	—	15:26	—

【お問い合わせ】 白馬観光開発株式会社 0261-72-3280

Hakuba Mominoki Hotel
白馬桜の木ホテル
0261-72-5001 www.mominokihotel.com

ホテル白馬
0261-72-4444 www.hotel-hakuba.com

COURTYARD
コートヤード・バイ・マリオット白馬
0261-72-3511 www.cyhakuba.com

HOTEL OAK FOREST
0261-85-2135 www.oak-forest.jp

Hakuba Highland Hotel
0261-72-3450 www.hakuba-highland.net

白馬 東急ホテル
0261-72-3001 www.tokyuhotels.co.jp/hakuba-h/

白馬八方温泉
ホテル五龍館
0261-72-3939 https://www.goryukan.jp/

③Hakuba47 無料シャトルバス

エイブル白馬五竜 & Hakuba47 Winter Sports Park
2023年~2024年 無料シャトルバス時刻表

エイブル白馬五竜 ESCAL PLAZA 行き ☎0261-75-2101					運行期間 2023 12/16~2024 3/31	ナイター便 (ナイター営業開始~) ナイター営業がない日は運行しません ※12月29日までの運行
ルート1 行き 白馬ハイランドホテル発 出発時間 8:00 9:00 10:00 11:50 13:30 JR白馬駅 かなまる 北原館 山人 JR神城駅 白馬五竜バス停 道の駅白馬 やまや 第4駐車場 白馬の森入口 乗り エスカルプラザ 出発時間 13:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30 17:00 17:30 ※1:白馬ハイランドホテル11:40発 ※2:白馬ハイランドホテル11:50発 行き JR神城駅発 出発時間 11:00 11:30 12:30 白馬五竜バス停 やまや 第4駐車場 白馬の森入口 乗り エスカルプラザ 出発時間 13:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30 17:00 17:30	ルート2 行き パルズイン富島発 フェニチエ発 出発時間 8:00 8:30 9:00 9:30 10:00 10:30 13:15 18:00 ランタンリリン クック サンマルテ 乗り モンブラン白馬 白馬の森入口 乗り ノンネル エスカルプラザ 出発時間 13:00 15:00 15:30 16:00 16:30 17:00 ※1:フェニチエ→オースコーセンター ※2:高尾山15:00はナイター営業開始 始発は運行しません、ナイター営業 がない日は運行しません。	ルート3 行き 南十字星発 出発時間 8:00 9:00 10:00 13:30 五竜本通り西 オークフォレスト グロープインスカラ 横 コートヤード白馬 エコーランドロータリー ライオンエコーランド中央 アルバインシャレー グリーンパレール白馬 乗り エスカルプラザ 出発時間 13:00 15:00 16:00 17:00	ルート4 行き 白馬桜ノ木ホテル発 出発時間 8:00 9:00 10:00 13:30 白馬東急ホテル ホテル白馬 みなみ家 シェイクスピアホテル トロイメライ カルチャード Seventh Heaven 乗り エスカルプラザ 出発時間 13:00 15:00 16:00 17:00	ルート5 行き 岳水発 出発時間 8:00 9:00 10:00 13:30 けやきの樹 Wadano Gateway ライオンカフェ 大洋ハイツ The Happo 八方第3駐車場B ハノラマホテル 乗り エスカルプラザ 出発時間 13:00 15:00 16:00 17:00	大町温泉郵便 行き ANAホテル発 出発時間 8:25 9:55 観光協会前 立山プリンスホテル アルペンルートホテル/計家 黒部ビューホテル 界アルプスホテル 黒部観光ホテル 乗り エスカルプラザ 出発時間 15:00 16:30	行き 白馬桜ノ木ホテル発 出発時間 18:15 19:15 白馬東急ホテル ライオンカフェ ホテル白馬 みなみ家 エコーランドロータリー ライオンエコーランド中央 シェイクスピアホテル カルチャード Seventh Heaven 乗り エスカルプラザ 出発時間 19:30 20:00 21:00 21:30 行き 白馬ハイランドホテル発 出発時間 18:15 JR白馬駅 白馬サンパレールホテル 十部の湯 かなまる 北原館 山人 白馬五竜バス停 やまや 第4駐車場 白馬の森入口 乗り エスカルプラザ 出発時間 19:30 20:00 21:00 21:30

エイブル白馬五竜 IIMORI 行き ☎0261-75-2636				運行期間 2023 12/16~2024 3/31
ルート11 行き 白馬ハイランドホテル発 出発時間 8:00 9:00 10:00 12:30 JR白馬駅 ホテル白馬 みなみ家 カルチャード Seventh Heaven 十部の湯 乗り IIMORI 出発時間 12:00 15:00 16:00 17:00	ルート12 行き オークフォレスト発 出発時間 8:00 9:00 10:00 12:30 グロープインスカラ横 コートヤード白馬 エコーランドロータリー ライオンエコーランド中央 シェイクスピアホテル Hakuba Gondola Hotel ミーティア Hakuba Inn Bloom アルバインシャレー 乗り IIMORI 出発時間 12:00 15:00 16:00 17:00	ルート13 行き 五竜温泉発 出発時間 8:00 9:00 10:00 12:30 ハノラマホテル The Happo Hakuba Gondola Hotel 桜の木ホテル ルボゼ 十部の湯 乗り IIMORI 出発時間 12:00 15:00 16:00 17:00	ルート14 行き Hotel Abent Happo 発 出発時間 8:00 9:00 10:00 12:30 KOHARU Resort ラ・ネージュ 岳人 白馬東急ホテル Double Black Hotel Wadano Gateway ライオンカフェ 乗り IIMORI 出発時間 12:00 15:00 16:00 17:00	

Hakuba47 Winter Sports Park 行き ☎0261-75-3533						運行期間 2023 12/16~2024 3/31
ルート21 行き 白馬ハイランドホテル発 出発時間 8:00 9:00 10:30 11:50 13:30 JR白馬駅 大町自動車部前 グリーンパレール白馬 十部の湯 白馬サンパレールホテル Hakuba47入り口 乗り Hakuba47 出発時間 13:00 15:00 16:00 17:00	ルート22 行き 南十字星発 出発時間 8:00 9:00 10:30 13:30 五竜本通り西 オークフォレスト グロープインスカラ横 コートヤード白馬 ミーティア Hakuba Inn Bloom アルバインシャレー 乗り Hakuba47 出発時間 13:00 15:00 16:00 17:00	ルート23 行き けやきの樹発 出発時間 8:00 9:00 10:30 13:30 白馬 みなみ家 エコーランドロータリー ライオンエコーランド中央 シェイクスピアホテル トロイメライ カルチャード Seventh Heaven 乗り Hakuba47 出発時間 13:00 15:00 16:00 17:00	ルート24 行き 山のホテル発 出発時間 8:15 9:15 10:45 13:30 Hakuba Gondola Hotel KOHARU Resort 桜ノ木ホテル Wadano Gateway ホテル黒部 ライオンカフェ The Happo ローゼンハイム 白馬 八方第3駐車場B ハノラマホテル 乗り Hakuba47 出発時間 13:00 15:00 16:00 17:00	ルート25 行き Hotel Abent Happo 発 出発時間 8:15 9:15 10:45 13:30 KOHARU Resort ラ・ネージュ 岳人 白馬東急ホテル Double Black Hotel けやきの樹 乗り Hakuba47 出発時間 13:00 15:00 16:00 17:00	ルート26 行き フェルモイン岳家発 出発時間 8:20 9:20 乗り Hakuba47 出発時間 15:00 16:00	

トライアングルシャトルバス		運行期間 2023 12/16~2024 3/31																											
いいもり	エスカルプラザ	Hakuba47																											
5分	5分																												
[エスカルプラザ→いいもり→Hakuba47] <table border="1"> <tr> <td>エスカルプラザ発</td> <td>- 8:30</td> <td>9:15</td> <td>10:00</td> <td>- 12:10</td> <td>- 14:40</td> <td>15:15</td> <td>- 16:40</td> <td>- 17:15</td> </tr> <tr> <td>いいもり発</td> <td>- 8:35</td> <td>9:20</td> <td>10:05</td> <td>- 12:15</td> <td>- 14:45</td> <td>15:20</td> <td>- 16:45</td> <td>- 17:20</td> </tr> <tr> <td>Hakuba47着</td> <td>- 8:40</td> <td>9:25</td> <td>10:10</td> <td>- 12:20</td> <td>- 14:50</td> <td>15:25</td> <td>- 16:50</td> <td>- 17:25</td> </tr> </table>			エスカルプラザ発	- 8:30	9:15	10:00	- 12:10	- 14:40	15:15	- 16:40	- 17:15	いいもり発	- 8:35	9:20	10:05	- 12:15	- 14:45	15:20	- 16:45	- 17:20	Hakuba47着	- 8:40	9:25	10:10	- 12:20	- 14:50	15:25	- 16:50	- 17:25
エスカルプラザ発	- 8:30	9:15	10:00	- 12:10	- 14:40	15:15	- 16:40	- 17:15																					
いいもり発	- 8:35	9:20	10:05	- 12:15	- 14:45	15:20	- 16:45	- 17:20																					
Hakuba47着	- 8:40	9:25	10:10	- 12:20	- 14:50	15:25	- 16:50	- 17:25																					
[Hakuba47→いいもり→エスカルプラザ] <table border="1"> <tr> <td>Hakuba47発</td> <td>8:20</td> <td>- 9:25</td> <td>10:10</td> <td>12:00</td> <td>- 14:30</td> <td>- 15:25</td> <td>16:30</td> <td>- 17:05</td> </tr> <tr> <td>いいもり発</td> <td>8:25</td> <td>- 9:30</td> <td>10:15</td> <td>12:05</td> <td>- 14:35</td> <td>- 15:30</td> <td>16:35</td> <td>- 17:10</td> </tr> <tr> <td>エスカルプラザ着</td> <td>8:30</td> <td>- 9:35</td> <td>10:20</td> <td>12:10</td> <td>- 14:40</td> <td>- 15:35</td> <td>16:40</td> <td>- 17:15</td> </tr> </table>			Hakuba47発	8:20	- 9:25	10:10	12:00	- 14:30	- 15:25	16:30	- 17:05	いいもり発	8:25	- 9:30	10:15	12:05	- 14:35	- 15:30	16:35	- 17:10	エスカルプラザ着	8:30	- 9:35	10:20	12:10	- 14:40	- 15:35	16:40	- 17:15
Hakuba47発	8:20	- 9:25	10:10	12:00	- 14:30	- 15:25	16:30	- 17:05																					
いいもり発	8:25	- 9:30	10:15	12:05	- 14:35	- 15:30	16:35	- 17:10																					
エスカルプラザ着	8:30	- 9:35	10:20	12:10	- 14:40	- 15:35	16:40	- 17:15																					

HAKUBA VALLEY HV-B ☎0261-72-3155				運行期間 2023 12/16~2024 3/31
運賃	大人 600円/小人(6歳~11歳) 300円/5歳以下無料(1名/1回乗車)			
【五電、いいもり行】※は3/3にて運行終了		【八方、みそら野、エコーランド行】※は3/3にて運行終了		
Hakuba47発	いいもり発	五電着	いいもり発	Hakuba47着
7:49	★ 7:56	8:00	7:49	7:56
8:29	★ 8:36	8:40	8:20	8:31
9:00	★ 9:07	9:11	8:55	9:06
9:51	★ 9:58	10:02	9:30	9:41
10:11	★ 10:18	10:22	10:16	10:20
★ 10:50	★ 10:57	11:01	11:10	11:21
11:20	★ 11:27	11:31	★ 11:20	11:29
12:19	★ 12:26	12:30	11:45	11:49
13:00	★ 13:07	13:11	12:40	12:44
14:11	★ 14:18	14:22	14:20	14:24
15:29	★ 15:36	15:40	14:55	14:59
★ 16:00	★ 16:07	16:11	15:35	15:39
16:26	★ 16:33	16:37	16:00	16:04
17:25	★ 17:32	17:36	17:00	17:04

共通 団体でご利用の場合は別途送迎致します。1週間前までに各スキー場にご連絡下さい。 | ESCAL PLAZA ☎0261-75-2101 | IIMORI ☎0261-75-2636 | Hakuba47 ☎0261-75-3533

2) スクールバス

白馬村では、令和2年度から2つの小学校の児童を対象にスクールバス事業を行ってきました。その経緯については次のとおりです。令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、冬期のみ運行となっています。

表 3.1.4 スクールバス事業の経緯

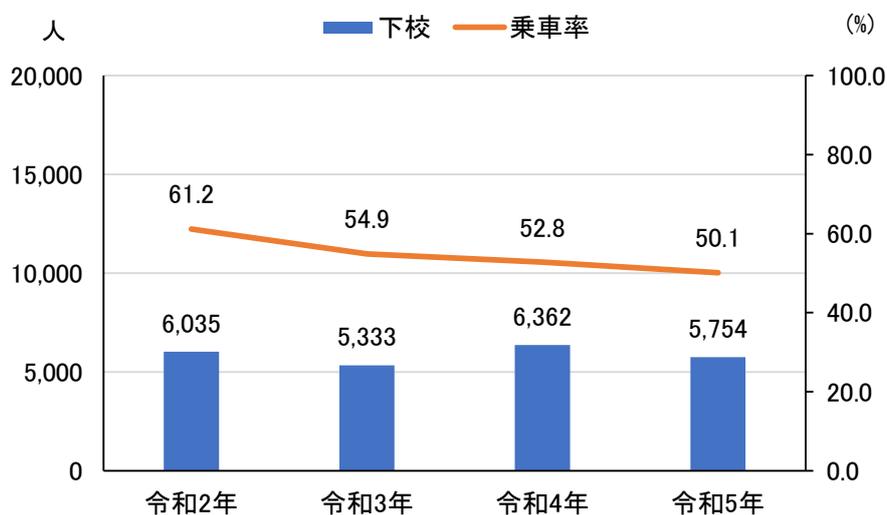
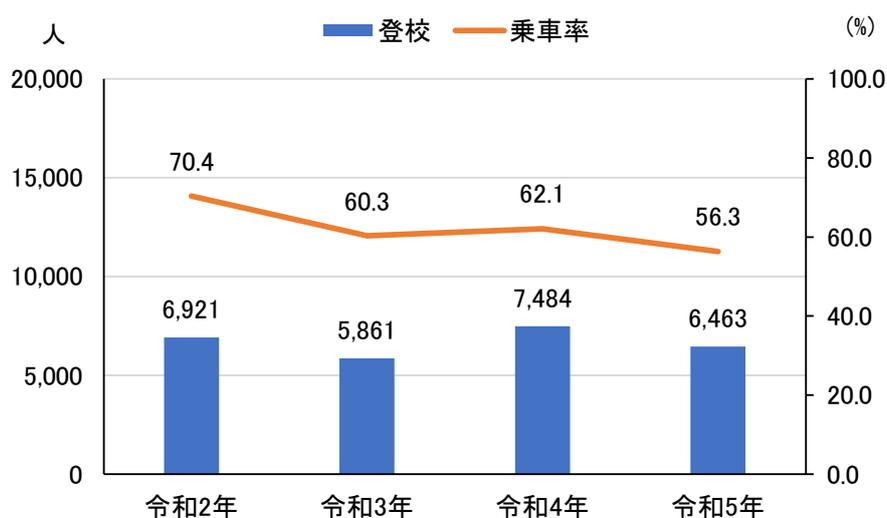
年度	項目	内容
2	運行期間 運行車両 運行委託料 対象児童	11月2日～翌年2月26日 大型バス3台、マイクロバス1台、タクシー1台 14,098,400円 ・白馬北小学校：落倉、切久保、どんぐり、山麓、和田野、みそら野、エコーランド、野平、嶺方 ・白馬南小学校：めいてつ、飯森の一部、(堀之内、三日市場)
3	運行期間 運行車両 対象児童	10月4日～11月5日、翌年1月7日～3月16日 大型バス3台、マイクロバス1台、タクシー3台、ジャンボタクシー1台 ・白馬北小学校：落倉、切久保、山麓、和田野、みそら野、エコーランド、野平、嶺方 ・白馬南小学校：めいてつ、飯森の一部、内山、【堀之内、三日市場：冬季のみ】 ・白馬中学校：落倉
4	運行期間 運行車両 対象児童	7月4日～7月22日、11月29日～翌年3月15日 大型バス3台、マイクロバス1台、タクシー4台 ・白馬北小学校：落倉、切久保、どんぐり、和田野、みそら野、エコーランド、野平、嶺方、通 ・白馬南小学校：めいてつ、飯森の一部、内山、【堀之内、三日市場：冬季のみ】 ・白馬中学校：落倉
5	運行期間 運行委託料 対象児童	小学校：7月3日～7月21日、11月29日～翌年3月15日 中学校：11月29日～翌年3月18日 18,609,340円 ・白馬北小学校：落倉、切久保、どんぐり、和田野、みそら野、エコーランド、野平、嶺方、通 ・白馬南小学校：めいてつ、飯森の一部、内山、【堀之内、三日市場：冬季のみ】 ・白馬中学校：落倉
6	運行期間 対象児童	7月1日～7月24日、11月25日～翌年3月13日 ・白馬北小学校、白馬南小学校 通学距離が3.5km以上の児童

注) 白馬村教育委員会事務局教育課資料より各年度把握できる内容を抽出

スクールバスの利用者数は、登校が 7,000 人、下校が 6,000 人前後で推移していますが、乗車率は減少傾向にあります。下校時は、放課後の習い事があるなどの理由で、利用者が少なくなっています。

また、乗車率が減少傾向にある理由としては、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの陽性児童が複数報告されたことなどが要因となっていると考えられます。

図 3.1.6 スクールバスの利用者数と乗車率の推移
出典：各年度白馬村スクールバス試験運行に係る報告書



令和3年度と令和5年度に実施されたアンケート結果によると

- スクールバスの満足度は、85%が満足
- 改善点は、運行対象者
- 夏期の運行期間は、もう少し長くしてほしいが54%

令和3年度アンケート結果

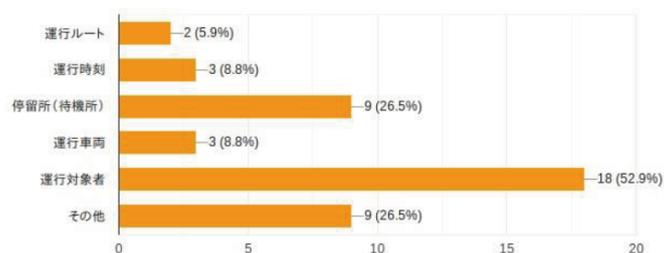
質問8. 【対象者回答】令和3年度スクールバスの満足度をお答えください。

	回答数	回答割合
大変満足	20	42.6%
概ね満足	20	42.6%
どちらでもない	4	8.5%
やや不満	1	2.1%
不満	2	4.2%
計	47	100.00%

質問9. より良い運行にするために改善点があればお答えください。(複数回答可)

より良い運行にするために改善点があればお答えください。(複数回答可)

34件の回答



令和5年度アンケート結果

質問8. 夏期の運行期間について該当するものを選択してください。

	回答数	回答割合
適切であった	12	25.0%
もう少し短くてよい	1	2.1%
夏期の運行は不要	2	4.2%
もう少し長くて良い	26	54.1%
その他	7	14.6%
計	48	100.00%

(8) タクシー

村内で営業活動を行っているタクシー会社は3社あります。

3社ともAI オンデマンド乗合交通の運行主体になっています。

資料の提供を受けた1社の輸送実績を整理すると、輸送のピークは12月～3月の冬期であり、スキー客の輸送が影響しています。

外国人のスキー客が増加しているため、外国語の同時通訳サービスも実施しています。

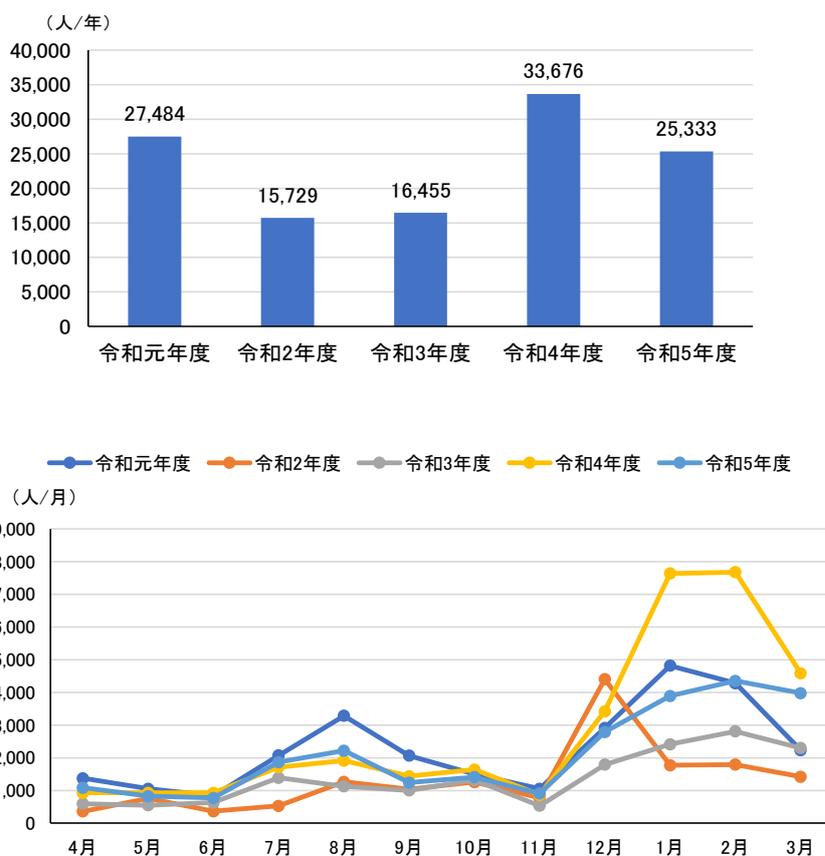
表 3.1.5 白馬村のタクシー会社

会社名	配車可能地域	特色
アルピコタクシー株式会社	白馬村、小谷村	車両数7台
アルプス第一交通株式会社 白馬営業所	白馬村、大町市、池田町 松川村、小谷村他	車両数39台
白馬観光タクシー株式会社	白馬村	車両数12台

出典：長野県版タクシーサイト

図 3.1.7 過年度の年別・月別輸送実績

出典：アルピコタクシー株式会社資料



(9) 福祉輸送サービス

白馬村社会福祉協議会では、公共交通を利用することが困難な高齢者や障がい者ために、通院や福祉施設通所のために福祉輸送サービスを行っています。

平成22年4月よりサービスを開始し、毎年13人くらいが登録して利用しています。

総利用回数は、令和2年の528回から年々減少傾向にあります。

図 3.3.1 福祉輸送サービスの概要

出典：白馬村社会福祉協議会

福祉輸送サービス事業

バス、タクシー等の公共交通機関を利用することが困難な高齢者や障がい者の方の医療機関への通院・入退院、福祉施設への通所・入退所にご利用いただけます。

◎利用できる方(以下の要件をすべて満たす方)

1. 白馬村内に住所を有する方
2. 白馬村社会福祉協議会に本事業の登録をした会員及び付添人
3. 公共交通機関の利用が困難な方で、次の要件のいずれかに該当する方
 - ①介護保険法の要介護度4以上の方
 - ②介護保険法の要介護度3の方で、要介護度4と同程度で、障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準ランクB以上の方
 - ③介護保険法の要介護度2,1の方で、明らかに介助者が車いすを使用して移動介助しなければ移動が困難な方(審査会で決定します)
 - ④身体障害者手帳の交付を受けている方で、次のいずれかに該当する方
 - ・車いすの給付判定を受けている方
 - ・1種1級及び1種2級の下肢機能障害の方で、車いすでなければ移動できない方
 - ・体幹機能障害の方で、車いすでなければ移動できない方
 - ⑤1種1級及び1種2級の下肢機能障害者又は体幹機能障害者ではないが、明らかに介助者が車いすを使用して移動介助しなければ移動が困難な、肢体不自由若しくは内部障害(人工血液透析を受けている場合を含む)又は精神障害者もしくは知的障害者等の方



車いすのまま乗車できる福祉車両を使って、
通院などのお手伝いをいたします

◎運行日：月曜日～金曜日(祝日、年末年始はお休み)

◎運行時間：8:30～17:00

※ご予約は、希望する日の3営業日前の17:00までをお願いします。
白馬村社会福祉協議会事務局の窓口、又はお電話により行っております。



◎利用料金

走行範囲	利用料(1回分)
白馬村内	500円
白馬村外	上記料金に1km30円を加算

《運行範囲は、白馬村内を発着地とし、大町市及び北安曇郡内です》

【申込み・問合せ先】

白馬村社会福祉協議会事務局

TEL:0261-72-7230 FAX:0261-72-7003

〒399-9301 白馬村大字北城 7025(白馬村保健福祉ふれあいセンター内)

福祉用具の貸出しも
行っております!

2. 公共交通施策の取組状況

白馬村でこれまで取り組んできた公共交通施策を経年的に整理すると次のとおりです。
着色部分は、前計画から新たに取組んだものです。

表 3.2.1 白馬村の公共交通施策の経緯

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
白馬村乗合タクシー 白馬ふれ愛号 (利用対象者：令和元年度～令和4年度(50歳以上、妊婦、障がい者等)令和5年度以降(制限なし))	【通常運行】 月曜～金曜 南北各8便 1乗車300円 無料6歳未満 50歳以上 8,305人利用 運行は3社 【実証運行】 5月～10月 17時便運行 土日祝日運行	【通常運行】 月曜～金曜 南北各8便 1乗車300円 無料6歳未満 50歳以上 運行は3社	【通常運行】 月曜～金曜 南北各8便 1乗車300円 無料6歳未満 50歳以上 6,662人利用 運行は3社	【通常運行】 月曜～金曜 南北各8便 1乗車300円 無料6歳未満 50歳以上 7,447人利用 運行は2社	【通常運行】 月曜～金曜 南北各8便 1乗車300円 無料6歳未満 年齢制限なし 運行は2社	【通常運行】 ふれAI号 毎日運行 8時～17時 1乗車300円 割引き有 無料未就学児 年齢制限なし 車両3台 運行は4社
ナイトシャトルバス 元気号 (利用対象者：村民、観光客)	12月～翌1月 4系統全16便 5,698人利用 内、外国人 96.3%	12月～翌3月 3系統全10便 966人利用 内、外国人 36.4%	休止	【実証運行】 12月～翌2月 白馬ナイトデマ トタクシー 無料 1.2万人利用	【本格運行】 夏・冬2回 白馬ナイトデマ トタクシー 夏は無料 冬は500円/回 夏2,079人 冬8,926人 利用	【本格運行】 12月～翌3月 白馬ナイトデマ トタクシー 1乗車500円 割引き有 車両4台
スクールバス (利用対象者：白馬北小、南小、白馬中の児童生徒)		11月～翌2月 白馬北小 白馬南小 大型バス3台 マイクロバス1台 タクシー1台 対象児童は地区で選定	10月～11月 翌1月～3月 白馬北小 白馬南小 白馬中 大型バス3台 マイクロバス1台 タクシー3台 ジャンボタクシー1台 対象児童は地区で選定	7月 翌1月～3月 白馬北小 白馬南小 白馬中 大型バス3台 マイクロバス1台 タクシー4台 対象児童は地区で選定	7月 11月～翌3月 白馬北小 白馬南小 11月～翌3月 白馬中 大型バス3台 マイクロバス1台 タクシー4台 対象児童は通学距離で選定	7月 11月～翌3月 白馬北小 白馬南小 白馬中 大型バス マイクロバス 通学距離が3.5km以上の児童
備考		新型コロナ感染症拡大により利用者減少				

3. 近隣自治体の公共交通サービス状況

近隣自治体の公共交通サービスについて、大町市と小谷村の状況を整理しました。

(1) 大町市

大町市では、大町市民バスふれあい号を月曜日から金曜日まで運行しています。

現金乗車が1人1乗車につき大人200円、小人100円で、障がい者等には50%の割引運賃が適用されています。

市内に11コースが設定されており、一部区間に駐車場以外でも自由に乗降できる「フリー乗降区間」が設けられています。

常盤東コースは、事前に電話で予約した人の家を順次まわりながら、目的の停留所で降ろす「電話予約制・乗合タクシー方式」で運行されています。運賃は大人300円、高校生以下200円です。

令和6年度の予算資料によると、市民バスの運行費用として約1億円が計上されています。

図 3.4.1 大町市民バスふれあい号予約制・乗り合いタクシー方式の概要

出典：大町市ホームページ

大町市民バス「ふれあい号」予約制・乗り合いタクシー方式 常盤東コース 利用案内

自宅⇄停留所を乗り合いで運行します！

「常盤東コース」は、事前に電話で予約した人の家を順次まわりながら、目的の停留所で降ろす「乗り合いタクシー」方式です。利用できる停留所や運行する便の時間はあらかじめ決まっています。帰りは停留所から自宅まで運行します。

■運行日/月曜日から金曜日
※土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)は運休

時刻表

往 路	1便	2便	3便	4便
自宅⇄停留所	9:00	10:00	13:30	14:30

復 路	1便	2便	3便	4便
停留所⇄自宅	11:00	12:00	15:00	16:00

利用できる停留所

- 信濃大町駅 ○信濃常盤駅 ○大町病院
- フレスポ大町 ○ザ・ビッグ ○地場の郷
- 大町図書館 ○市役所 ○総合福祉センター
- 常盤公民館 ○最上整形外科
- いしぞねクリニック ○菊池クリニック
- 柿下クリニック ○野村クリニック前
- カインズホーム ○ふれあいプラザ

運賃

区 分	大 人	高校生以下
現金乗車 (1人1乗車)	300円	200円
回数券 (12枚つづり)	3,000円	2,000円

※障がい者手帳(1種・2種) 療育手帳(A・B)及び
精神障がい者療育手帳(1種・2種・3種)をお持ちの方は料金半額。

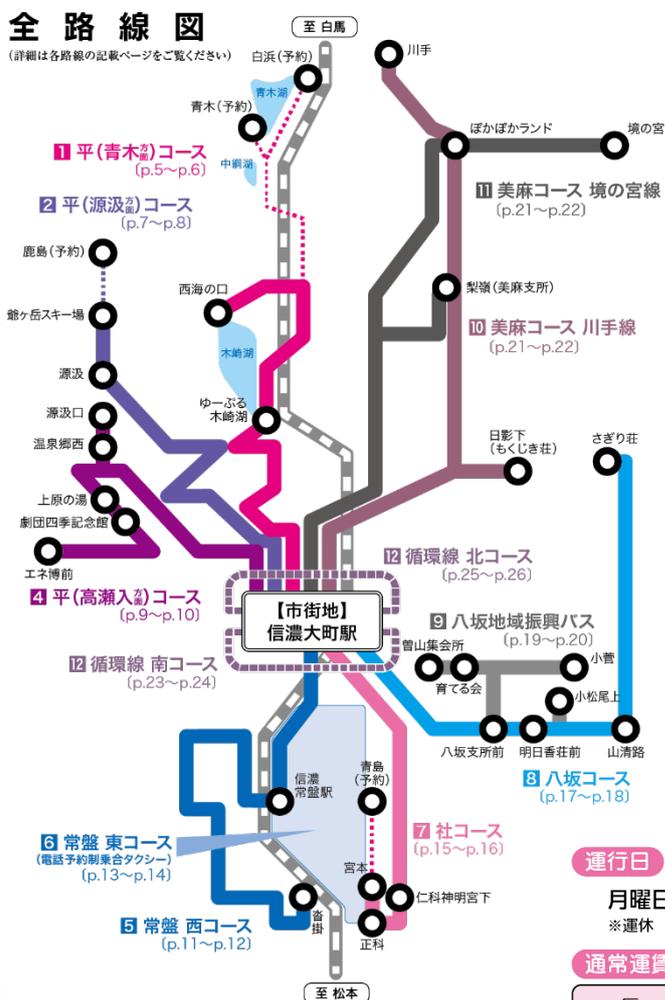
利用可能地域
下記の地域にお住まいの方

図 3.4.2 大町市民バスふれあい号路線図と概要

出典：大町市ホームページ

全路線図

(詳細は各路線の記載ページをご覧ください)



運行日

月曜日から金曜日まで

※運休 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日から1月3日まで)

通常運賃

区分	大人	小人 (幼児~高校生)
現金乗車 (1人1乗車につき)	200円 (常盤東コースのみ 300円)	100円 (常盤東コースのみ 200円)
回数券(12枚綴り)	2,000円 (常盤東コースのみ 3,000円)	1,000円 (常盤東コースのみ 2,000円)

* 1歳未満の乳児は無料

* 小学生以上1名につき2名以上の幼児(1歳~6歳未満)を同伴の場合、1名は無料、2人目以降の幼児は小人料金

(注) 中学生・高校生は学生証を提示してください。

回数券の払戻しはできません。

割引運賃

割引の認定基準区分	割引率
(1) 身体障害者手帳(第1種)のとき	5割 (本人および介護者を含む)
(2) 療育手帳Aのとき	
(3) 精神障害者保健福祉手帳(1級)のとき	
(1) 身体障害者手帳(第2種)のとき	5割 (本人のみ)
(2) 療育手帳Bのとき	
(3) 精神障害者保健福祉手帳(2級または3級)のとき	

(注) 割引運賃で利用される場合は、上記認定基準区分の確認をさせていただきますので各種手帳をお持ちください。

(2) 小谷村

小谷村では、村営バスが4路線運行されています。

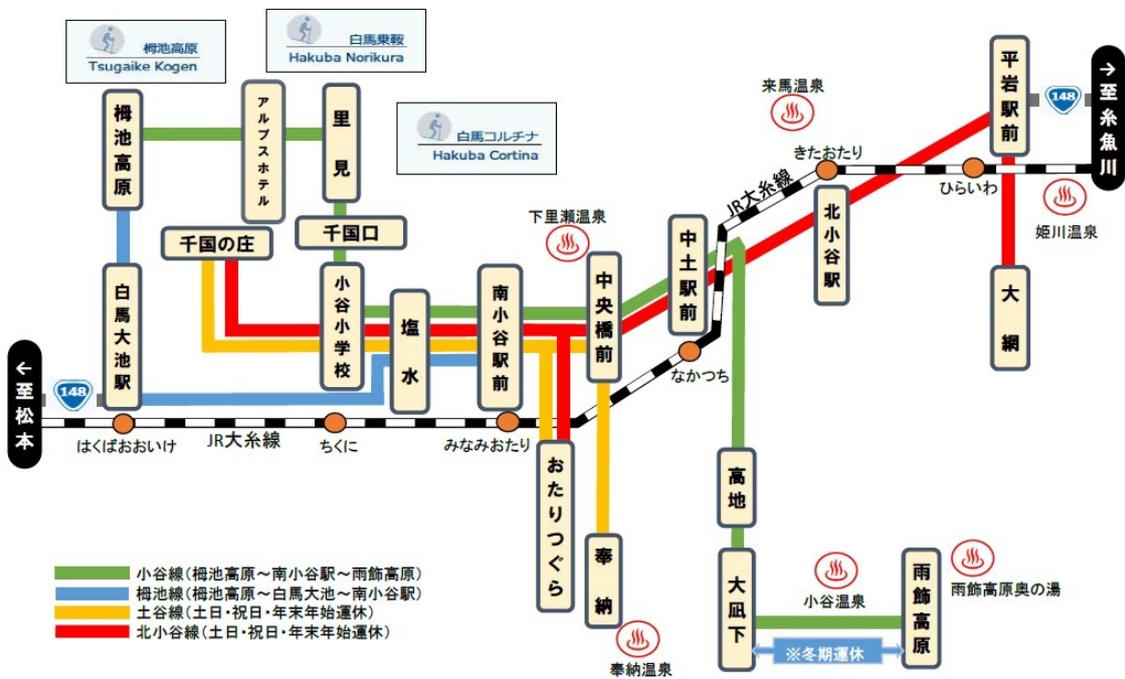
小谷線と柵池線は、区間運賃制ですが、土谷線と北小谷線は一律200円です。

小谷線と柵池線は、平日・土・日・祝日とも同じダイヤで運行されていますが、土谷線と北小谷線は平日のみの運行です。

図 3.4.3 小谷村営バス路線図

出典：小谷村ホームページ

小谷村営バス 路線図





1. 白馬村が運行する公共交通の利用実態によるニーズの把握

(1) 利用状況と運行経費の状況

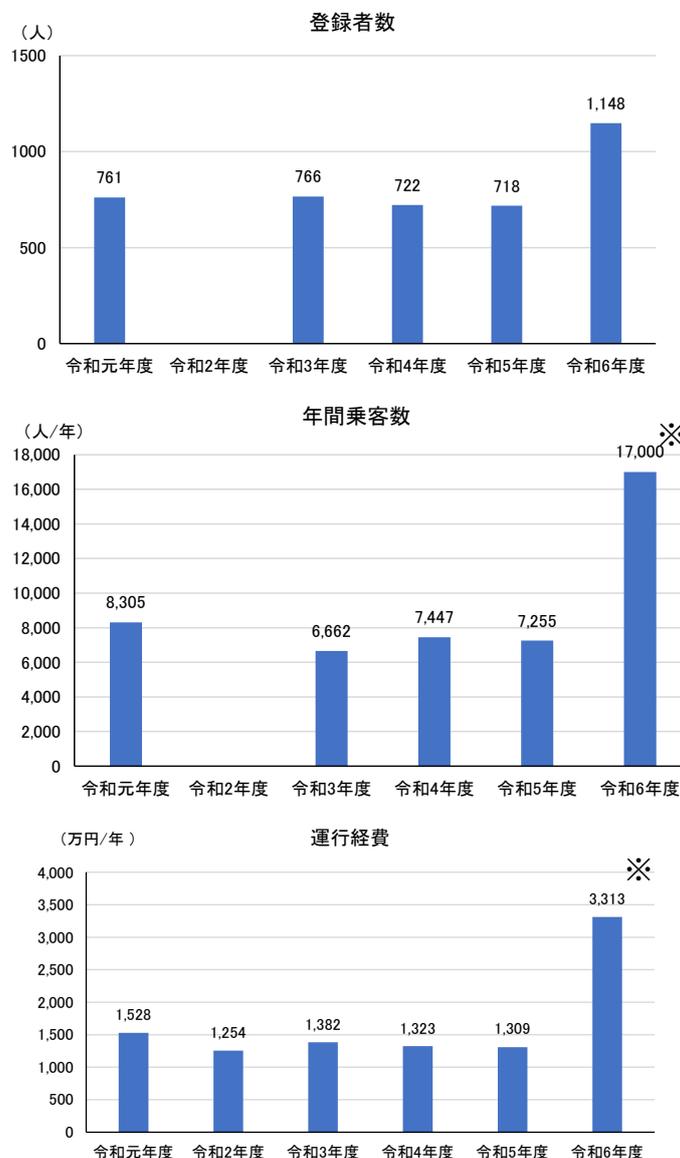
1) ふれ愛号（令和6年度からふれAI号）

ふれ愛号の登録者数は、700人程度で推移しましたが、ふれAI号運行開始後に1,000人を超え、令和5年度から1.6倍に増加しました。また、ふれ愛号の年間乗客数は、7,000人前後で推移しましたが、ふれAI号運行開始後は、1.7万人程度の想定であり、大幅に増える見込みです。登録者や乗客数が増加した要因としては、毎日の運行や誰でも利用できる点、アプリによる使いやすさの向上などが考えられます。

なお、運行経費は、ふれAI号運行開始により、約2,000万円増加しています。

図 4.1.1 ふれ愛号（令和6年度からふれAI号）の利用状況等の推移

資料：白馬村資料（令和2年度の登録者数、年間乗客数は、新型コロナウイルス感染症の影響で統計無）



※ 令和6年度は、年度想定値

2) ナイトシャトルバス（令和4年度から白馬ナイトデマンドタクシー）

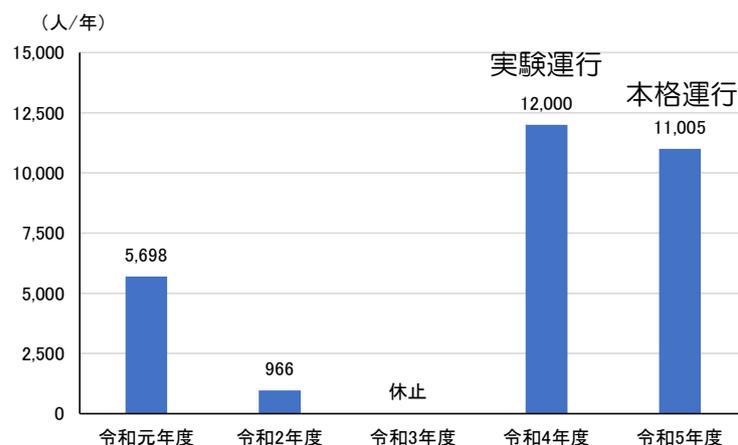
ナイトシャトルバスは、令和3年度に休止し令和4年度から白馬ナイトデマンドタクシーの運行を開始しました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、利用者が減少しました。令和4年度の白馬ナイトデマンドタクシーは、料金が無料であったこともあり、大幅に増加し、1万人を超える利用者がいました。

なお、令和6年度の運行経費（見込み）は、約1,720万円/年です。

図 4.1.2 年間乗客数の推移

資料：白馬村資料



3) スクールバス

スクールバスは、令和2年度から運行を開始し、令和4年度以降は夏1箇月運行が増えたので、利用者数も増加しています。

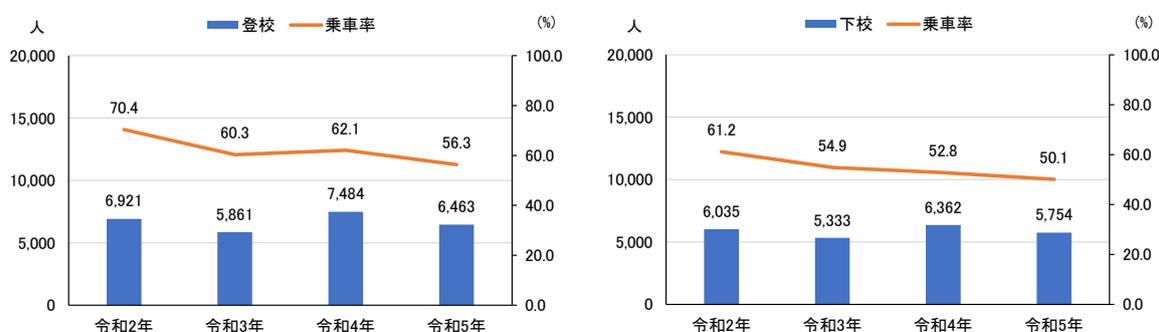
しかし、乗車率は年々減少しており、特に下校時の方が低くなっています。

なお、令和5年度の運行経費は、約1,860万円/年です。

図 4.1.3 スクールバスの利用状況の推移

資料：白馬村資料

※令和2～3年度は4箇月、令和4～5年度は5箇月運行



(2) 75歳以上高齢者の利用実態

白馬村の75歳以上高齢者数は、令和6年9月現在、1,521人(全体の18.1%)であり、JR大系線沿線に居住しています。そのうち、1人世帯は、411世帯です。

令和5年度ふれ愛号登録者718人のうち、75歳以上の方は120人(16.7%)です。村民の75歳以上ふれ愛号^{*}登録者資料(令和5年度)と地区別高齢者人口集計表(令和6年4月1日)を使用して、75歳以上の一人暮らし世帯の状況を整理すると、次のとおりです。

75歳以上の一人暮らし世帯が多い地区は、白馬駅周辺と神城駅周辺の地区であり、75歳以上一人暮らしのふれ愛号の登録割合は、信濃森上駅周辺と神城駅と南神城駅の間地区が多くなっています。

図 4.1.4 75歳以上で一人暮らしの方の居住地区及びふれ愛号登録状況資料

：地区別高齢者人口集計表(令和6年9月1日現在)

※：令和5年度の資料は、ふれAI号運行開始前のため、ふれ愛号と表示(以下、同様)

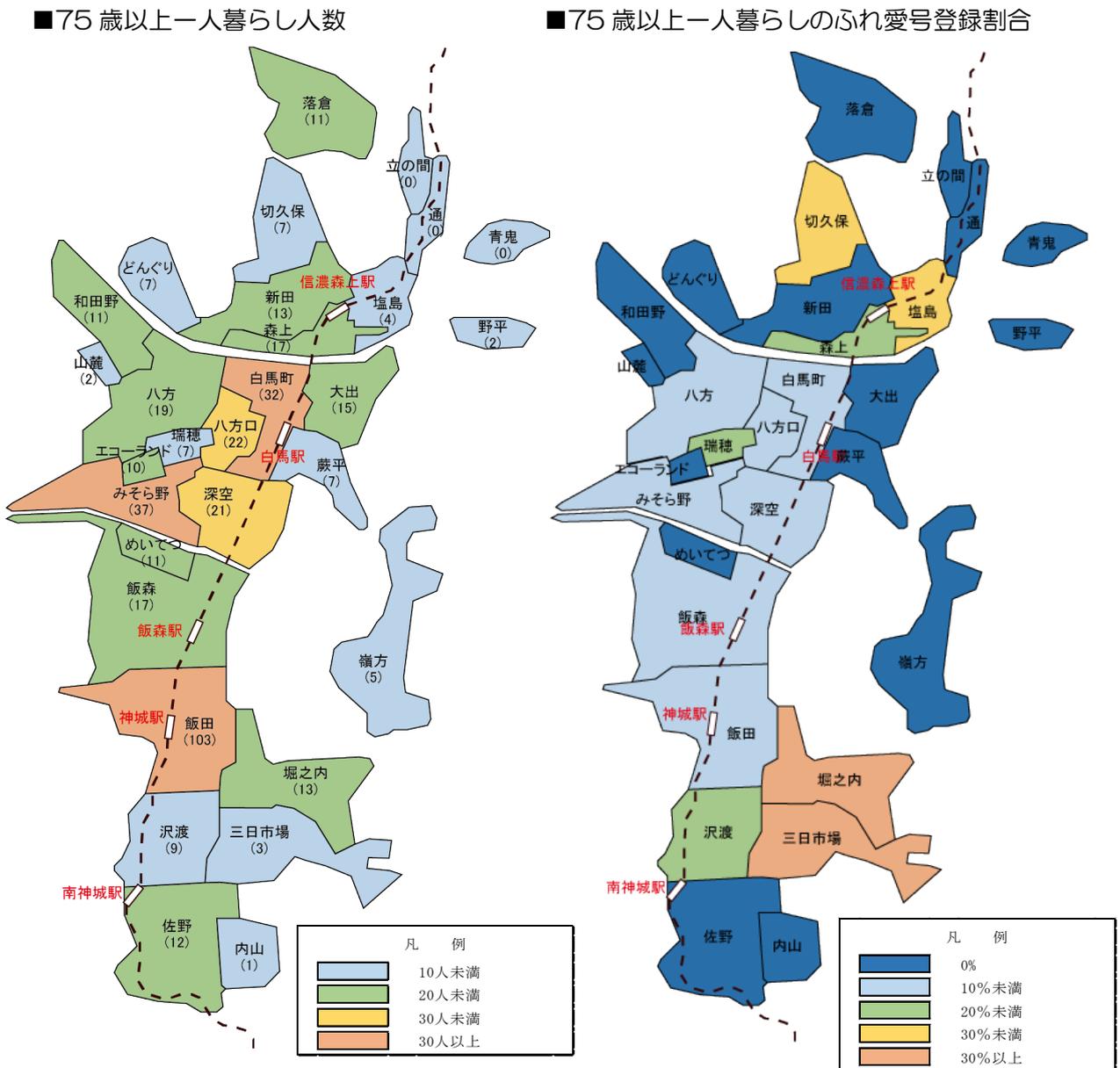
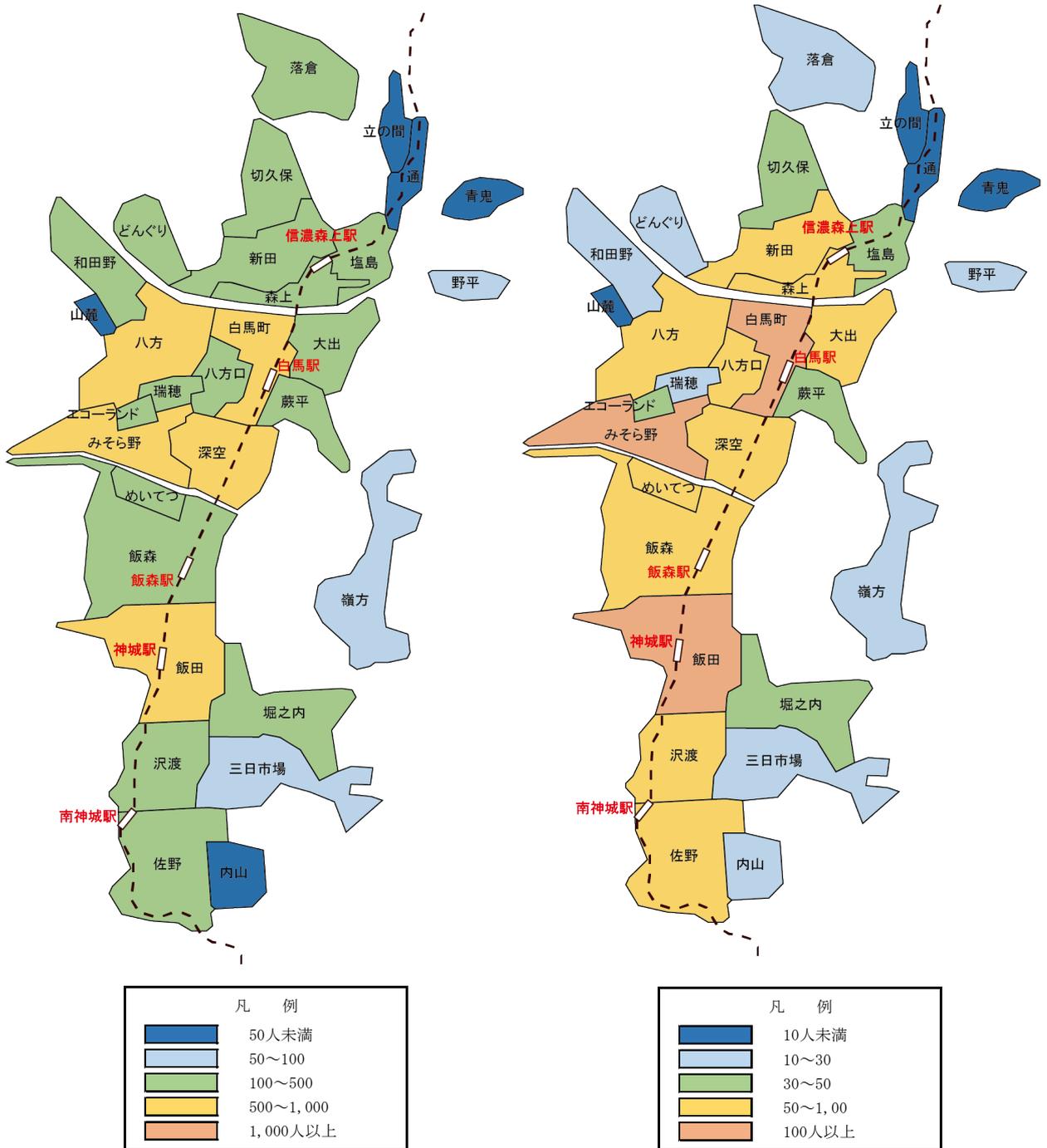


図 4.1.5 全人口及び75歳以上人口の地区別分布
 資料：地区別年齢別人口集計表（令和6年9月1日現在）

■全年齢の人口分布

■75歳以上人口の分布



(3) 75歳以上のふれ愛号利用回数

75歳以上のふれ愛号利用回数は、令和5年度の資料によると、10回未満が約半数を占め、0回も26.0%で、逆に100回を超える利用者も10%近くになっています。

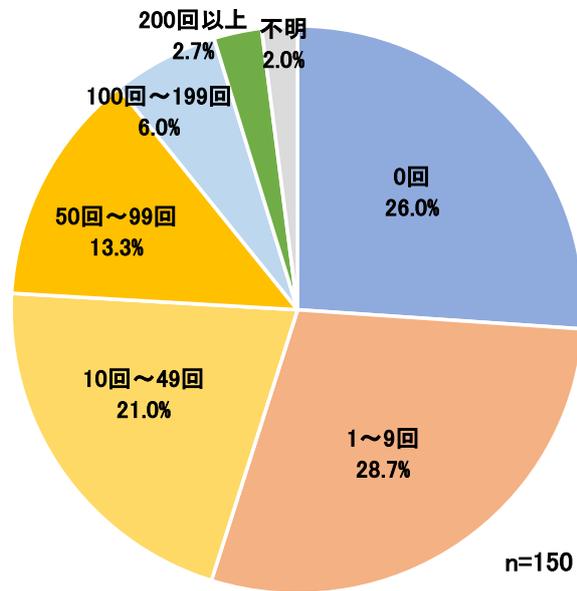
75歳以上の一人暮らしの人も同様の傾向にあります。

図 4.1.6 75歳以上の方のふれ愛号利用回数
資料：村民の75歳以上ふれ愛号登録者資料（令和5年度）

■ 75歳以上のふれ愛号利用回数（令和5年度）

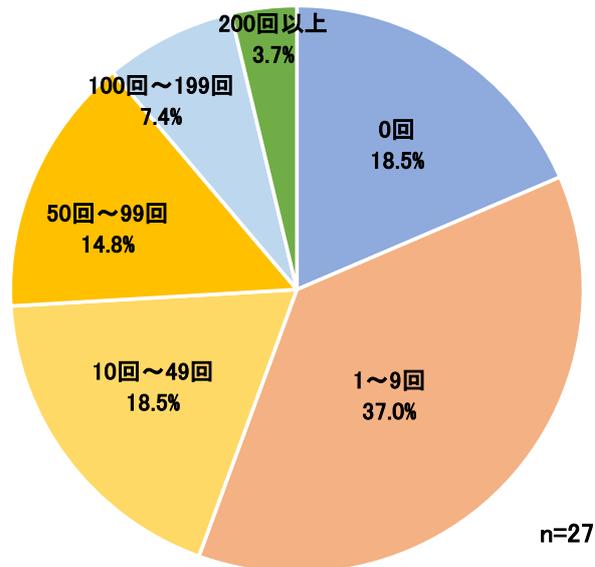
村全体

75歳以上



75歳以上

一人暮らし



(4) 75歳以上のふれAI号利用OD

1) ふれAI号利用者全体の乗降状況

ふれAI号全体利用者8,711人（令和6年4月1日～8月31日153日間）の利用ODをみると、最も多い利用区間は、ザ・ビック白馬店からエコーランドロータリー（エコーランド別荘地）延べ162人、白馬町交流センターから風切り地蔵前（落倉別荘地）で延べ132人であり、この2つの別荘地での利用が、100人を超えています。

目的地については、商業施設や観光施設、駅、病院など目的地は多岐にわたっています。

目的地が村内全域に広がっているため、目的地を往復する利用が目立っており、一般タクシーに近い利用が多くなっています。

出発地については、利用者全体では、観光施設からの利用や商業施設からの利用が目立ちますが、中山間地の集落からの利用もみられ、これら集落で自動車を利用できない方の移動手段として活用されていることがわかります。

また、片方向の利用が多い駅や商業施設と別荘地を結ぶ移動については、行きは公共交通以外の方法で移動し、帰りはまとまって帰宅するような利用が考えられます。

2) 75歳以上のふれAI号利用者の乗降状況

75歳以上のふれAI号※利用者2,641人（令和6年4月1日～8月31日153日間）の利用ODをみると、最も多い利用区間は、ザ・ビック白馬店からエコーランドロータリー（エコーランド別荘地）であり、延べ136人が利用しています。

その次は、岳の湯前（ゲートボールアリーナ）利用者で、信濃森上駅周辺からの利用が多く、その他では、神城醫院、白馬診療所等の病院、Aコープ白馬店、ザ・ビック白馬店等の商業施設利用者が多くなっています。

利用範囲をみると、北部から南部まで広く利用されており、神城駅東側の中山間部からの利用もみられます。

全体的には、利用者全体と同じ傾向にありますが、観光施設が減って、ゲートボール施設など高齢者の集う施設利用が目立っています。

※：令和6年度の資料は、ふれAI号運行開始後のため、ふれAI号と表示（以下、同様）

図 4.1.7 75 歳以上のふれ AI 号利用者の乗降地点の組合せ

資料：75 歳以上のふれ AI 号利用者利用 OD (延べ 2,641 人)

(令和 6 年 4 月 1 日～8 月 31 日 153 日間の延べ利用人数から 20 人以上の OD を作図)

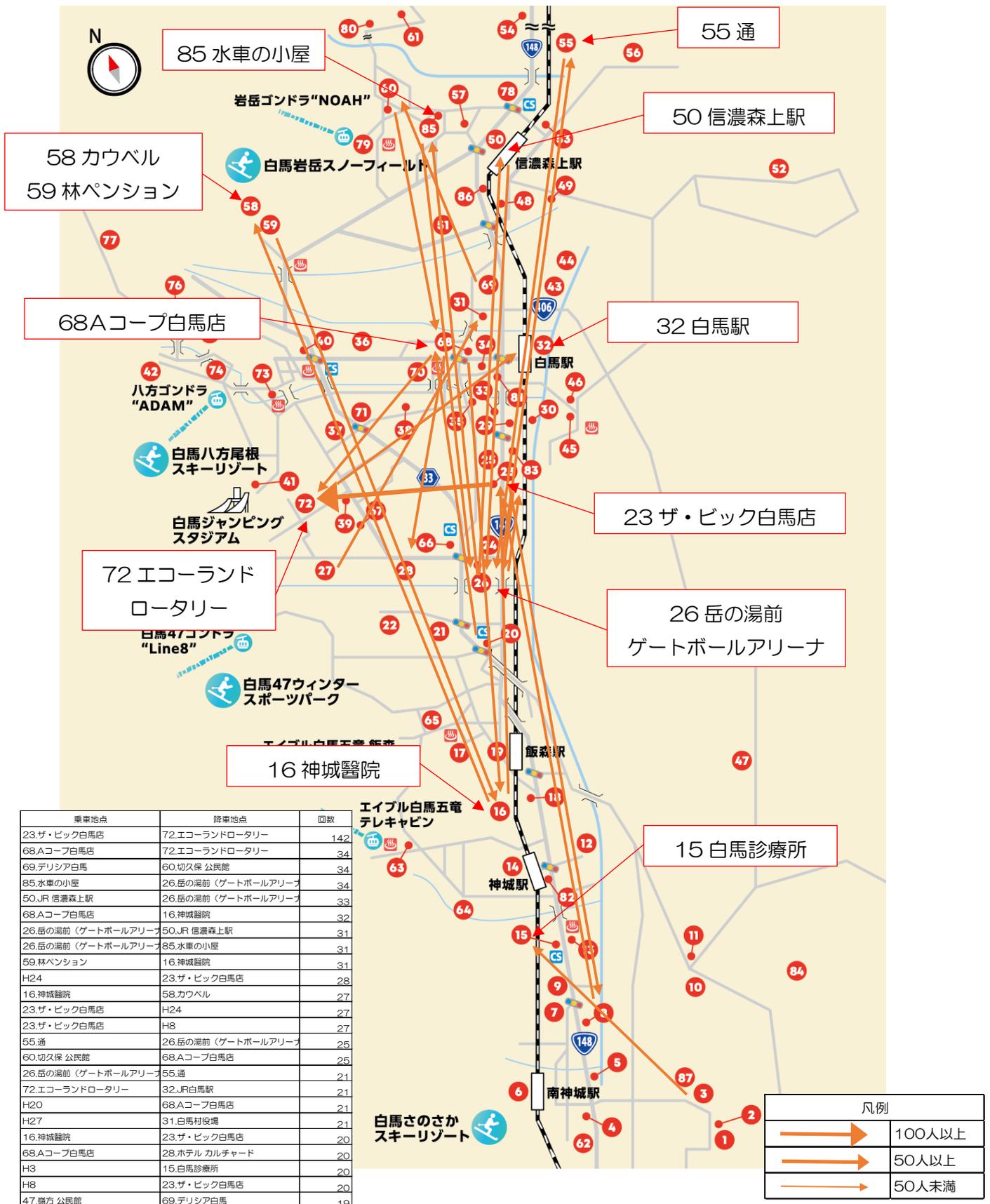
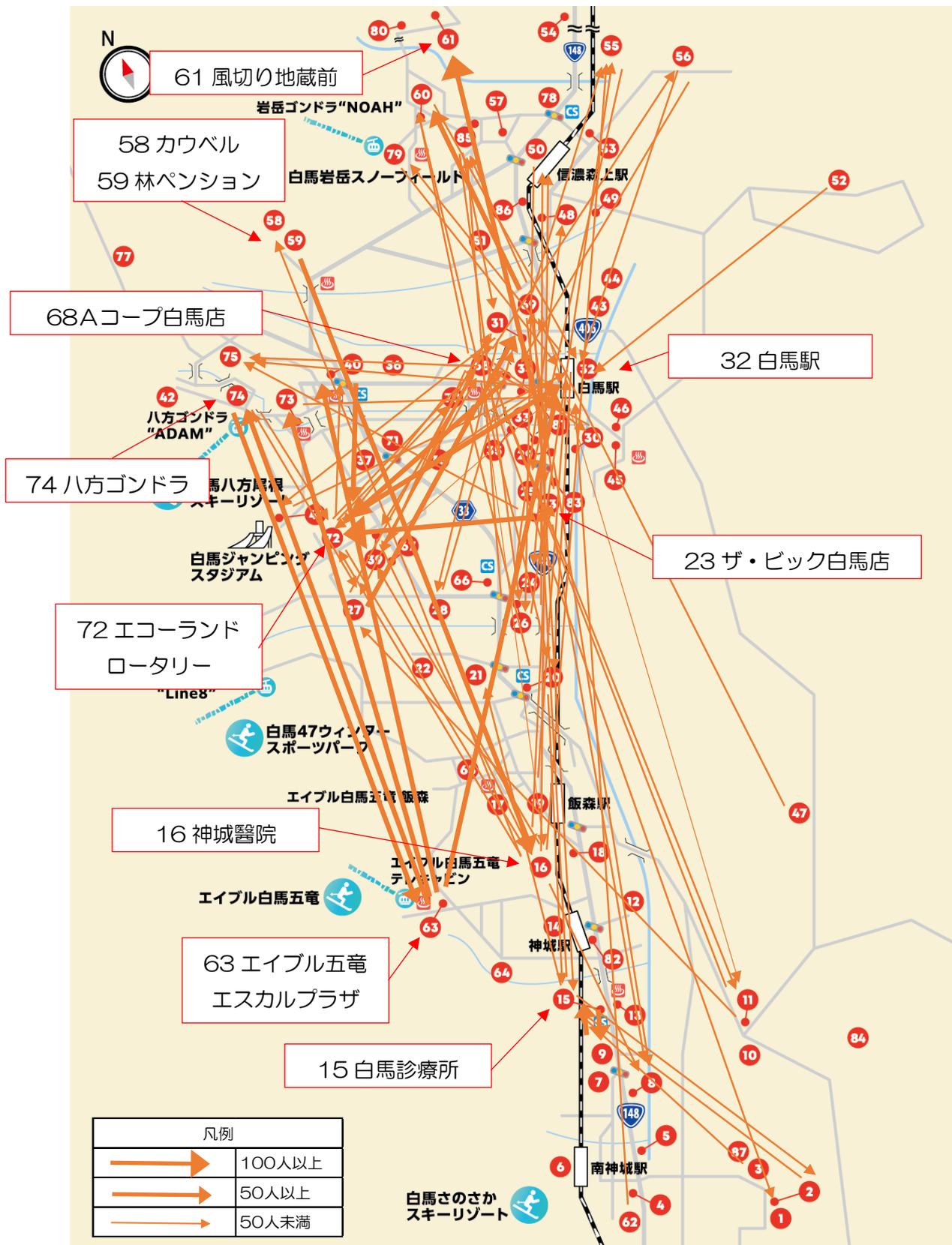


図 4.1.8 ふれ AI 号利用者全体の乗降地点の組合せ

資料：ふれ AI 号全体利用者利用 OD (延べ 8,711 人)

(令和 6 年 4 月 1 日~8 月 31 日 153 日間の延べ利用人数から 20 人以上の OD を作図)



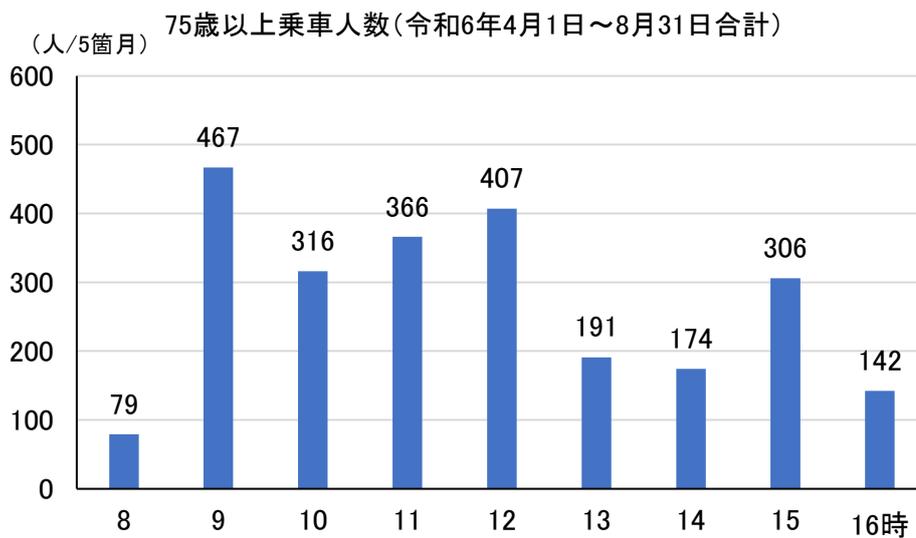
(5) 75歳以上のふれAI号乗車時間

75歳以上のふれAI号利用者の利用時間は、朝9時台と昼の12時台が多く、全体的には、午前中の利用が多くなっています。

朝9時台は、病院や診療所の診療開始時間に合わせるために多いと考えられ、また、12時台は、診療後の帰宅する時間に該当するため多いと考えられます。

図 4.1.9 75歳以上のふれAI号利用時間帯

資料：75歳以上のふれAI号乗車人数（令和6年4月1日～8月31日）



2. 既存調査等からの移動ニーズの把握

(1) 過年度の村民アンケート

① 今後の公共交通について

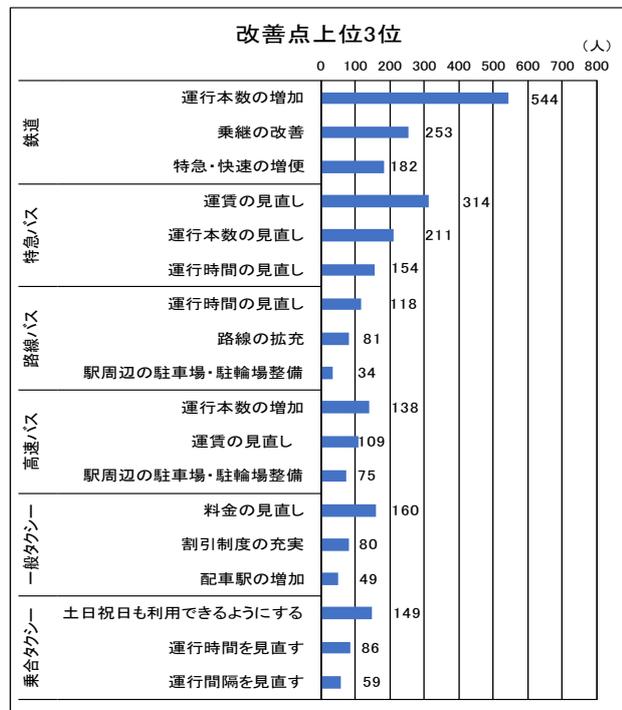
鉄道は運行本数、特急バス・タクシーは運賃、路線バスは運行時間に対する改善要望が強く、乗合タクシーは、土日運行の要望が高かったのですが、現在は毎日運行しています。(改善済み)

なお、最も意見の多かった鉄道の運行本数は、白馬駅において、臨時バスを含めてほぼ同数を維持しています。

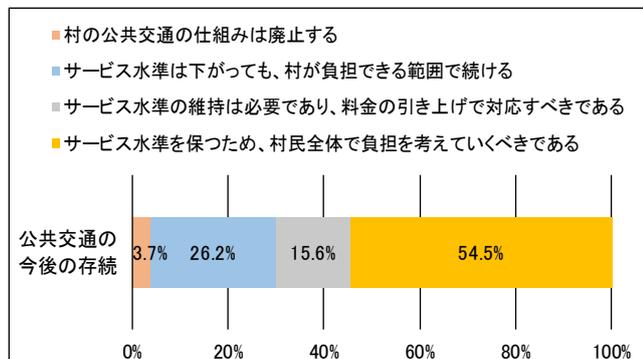
現在のサービス水準を保つためには、村民全体で負担を考えるべきという意見が半数を占めています。

図 4.2.1 今後の公共交通への意見
資料：村民アンケート調査結果（平成30年7月）

■ 公共交通の改善点について



■ 公共交通の今後の存続について



(2) 白馬デマンドタクシー担当課に寄せられた意見

担当課の方に寄せられた意見は、63件あり、乗降場所に関する意見が半数を超え、設置位置の要望と自宅前乗降車の要望が多くなっています。その他では、乗車方法に関する意見が8.0%、予約に関する意見が7.9%、アプリ登録に関する意見が4.8%、相乗りについての意見が4.8%あります。

乗降場所では、乗降場所まで歩くのが大変で近くに設置を要望する意見が多く、また、自宅前乗降車を要望する意見も15件寄せられました。

乗車方法では、ベビーカー利用の問合せが1件寄せられました。

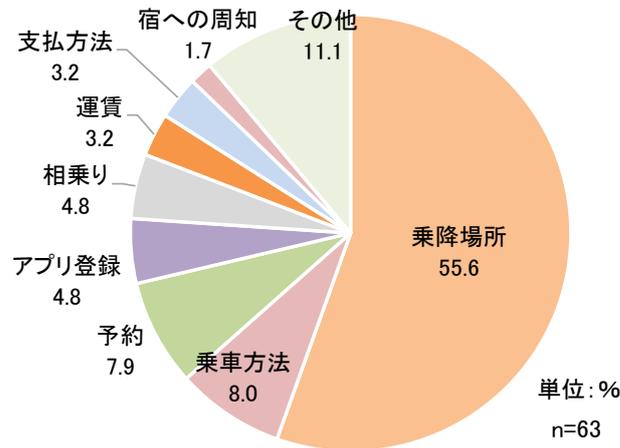
予約については、希望する時間に予約がとれないという意見が3件ありました。

以上より、自宅前乗降者への対応や子供連れへの配慮、予約の取りにくさへの対応などが課題です。

図 4.2.2 白馬デマンドタクシー担当課に寄せられた意見*

資料：観光課資料（令和6年4月～6月 電話・窓口等）

■白馬デマンドタクシー担当課に寄せられた意見



■意見の具体的な内容

内容	具体的な内容	件数
乗降場所	乗降場所の設置位置の要望	19
	ドアツードアの要望	15
	停留所に看板が欲しい	1
乗車方法	ベビーカーの乗車確認	1
	通勤で使いやすい	1
	使いにくい	3
予約	希望時間に予約がとれない	3
	電話予約の番号の掲載	1
	13時台の予約の集中	1
アプリ登録	アプリ登録時の問題	2
	高齢者に難しい	1
相乗り	相乗りでない	2
	遠回りになる	1
運賃	安くていい	2
支払方法	定期券、回数券	2
周知	宿への周知	1
その他	運転手の対応	3
	車両にステップが欲しい	1
	運転手と村の意見交換	1
	通学での利用要望	1
	ボランティア体験時の感想	1

※運行車両は1台増台前の2台体制で運行



1. 現計画の事業評価

現計画「白馬村地域公共交通網形成計画（令和元年3月）」は、令和元年度から令和6年度までの6箇年を計画期間として策定されています。その基本方針等は次のとおりです。

【基本方針】

交流を促進し快適で安らぎのある豊かな
生活環境を支える公共交通の実現

基本方針	目 標
<p>基本方針1 誰もが自動車に頼らず安心して暮らせる公共交通網の拡充</p>	<p>運転できなくなった時に、外出機会を減らすことなく、村内を安心して移動できるように、運行中のデマンド型乗合タクシーを基本に公共交通網の拡充を図る。</p>
<p>基本方針2 子供や家族が安心して負担のない暮らしを支える公共交通の確保</p>	<p>宿泊業や飲食・サービス業など朝夕多忙な方や、また女性の社会進出を促進するためにも、家族に頼らなくても安心して通学できる公共交通の確保を図る。</p>
<p>基本方針3 外国人を含めた観光客がいつでも快適に移動できる公共交通網の確保</p>	<p>一時期への観光需要の集中や、重複して利用者にわかりにくい路線を改善していくことで、国内観光客や外国人観光客がいつでも快適に移動できる公共交通の確保を図る。</p>
<p>基本方針4 村民との協働による柔軟で持続可能な公共交通網の形成</p>	<p>社会環境の変化に対応し、効率的で最小限の負担で効果が発揮できる施策について、行政と村民、事業者による協議の場を設けることで持続可能な公共交通として形成を図る。</p>

(2) 現計画の計画目標の検証

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、利用者数が減少したこともあり、駅等の整備は行われませんでした。大系線の利便性向上のための臨時増便バスや AI オンデマンド乗合交通が始動しました。

表 5.1.1 現計画の計画目標の検証

基本方針	導入事業・施策	評価	
①誰もが自動車に頼らず安心して暮らせる公共交通網の拡充	①駅等の乗り継ぎ拠点の整備	・未実施	×
	②運行本数、ダイヤ等の見直し	・大系線増便バスを令和6年度運行して運行本数を増加	○
	③デマンド型乗合タクシーの利用条件の見直し	・路線定期型からデマンド型に変更し、AIを導入	○
	④デマンド型乗合タクシーの運行日、運行時間等の見直し	・平日のみから365日予約可能に変更 ・利用者数(目標8,100人) R5 7255人/年	○
②子供や家族が安心して負担のない暮らしを支える公共交通の確保	⑤既存路線バス等の活用の検討	・スクールバスを新たに運行 ・利用者数 R5 登下校1.2万人/年	○
	⑥積雪時等の相乗りタクシーの検討	・家族の負担は軽減	○
③外国人を含めた観光客がいつでも快適に移動できる公共交通網の確保	⑦シャトルバスの通年運行の検討	・白馬ナイトデマンドタクシーを期間限定で運行	○
	⑧観光・生活交通としてのシャトルバス統合運行の検討	・白馬ナイトデマンドタクシーを期間限定で運行	○
	⑨自転車利用者に優しい環境整備の検討	・サイクルフェスタ開催(目標510人参加以上) R5 267人参加(2回)	○
	⑩わかりやすいシャトルバス等への配色等の検討	・白馬デマンドタクシーとして配色や表示を変更	○
	⑪わかりやすい公共交通案内情報提供の検討	・白馬バレーエリアで案内サインを統一	○
④村民との協働による柔軟で持続可能な公共交通網の形成	⑫地域公共交通会議の拡充	・2回開催(目標1回以上)	○
	⑬公共交通利用促進キャンペーンの実施	・白馬ナイトデマンドタクシーがHAKUBA Doと共創 ・AI運行に対するスマホ教室、試乗会の実施	○

○：実施した △：実施したが不十分 ×：実施していない ▲：廃止した

2 地域公共交通の課題

これまでの検討結果を踏まえ、地域公共交通の問題点、課題を整理します。

(1) 地域特性からの課題

【人口の分布】

- ・村内の人口分布はJR大系線沿線、特に白馬駅西側に広がっています。
- ・特に人口の多い行政区は、住宅、別荘、営業施設が混在するみそら野区、神城駅を中心とした飯田区、白馬駅や飯森駅周辺の白馬町区、八方区などですが、過去5年間の人口増加率をみると、その中で増加している地区はみそら野区のみで、それ以外では三日市場区、瑞穂区などです。
- ・冬期に宿泊施設に住み込みで働く外国人は約900人、全人口の10%を超えており、八方周辺や飯田区に100人を超える人が住んでいます。

【人口動向及び流動】

- ・人口減少、少子高齢化が顕著で、年少人口が全人口の11%、高齢者単身世帯数は全世帯の10%です。
- ・中山間地の集落は人口減少が著しく、世帯数が10世帯未満、老年人口の割合が50%を超える地区もあります。

【主要施設の立地状況】

- ・村民の生活関連用品を扱う店舗は、JR大系線及び並行する国道148号沿線の比較的規模の大きな商業施設に限られ、自動車の利便性が高い場所に立地しています。
- ・村民の買物は、買回り品（家具、家電製品等）で長野市への依存が目立ち、大規模スーパーや専門スーパーでの買物が半数以上を占めています。
- ・白馬南小を除き、白馬北小、白馬中、白馬高校は白馬駅周辺に集中しています。
- ・村内に総合病院は無く、緊急時には大町市や池田町まで行く必要があります。

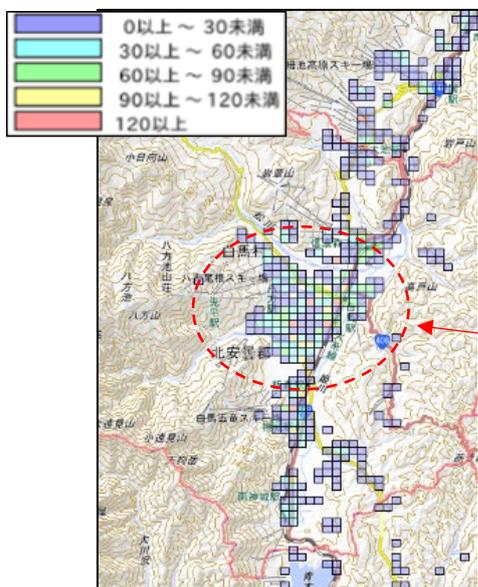
《地域特性からの公共交通の課題》

- ・交通の利便性が高く、主要施設が集まるJR白馬駅西側からみそら野区周辺を除くと、それ以外の地区では人口が減少傾向にあり、地区間の格差がみられます。
- ・国道148号沿いに人口が分布し、各種施設も立地しているが、自動車を利用しないと移動が不便であり、また、周辺の中山間地の集落は、自動車が無いと生活ができない状況にあります。
- ・少子高齢化が顕著であることから、今後自動車を運転できなくなった時の移動手段の確保が必要です。

図 5.2.1 人口・施設立地状況

資料：令和 2 年国勢調査

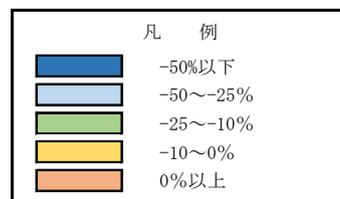
■人口分布



資料：令和 2 年国勢調査

■行政区別人口増加率

(令和 2 年/平成 27 年)



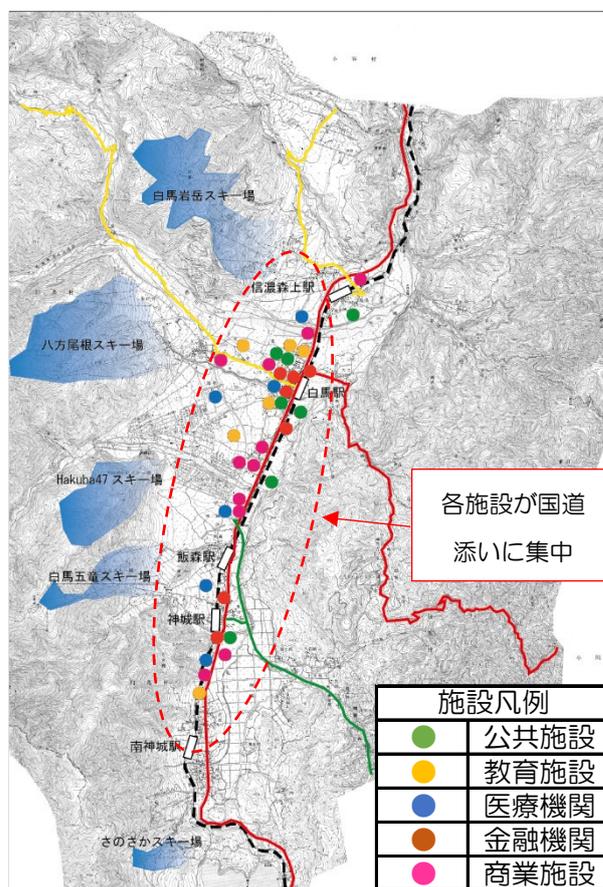
白马駅西側に人口が集中、増加率も高い



■年少人口、高齢者人口の推移



■主要施設の分布状況



施設凡例	
● (Green)	公共施設
● (Yellow)	教育施設
● (Blue)	医療機関
● (Orange)	金融機関
● (Pink)	商業施設

(2) 観光特性からの課題

【観光エリアと観光時期】

- 観光エリアは、スキー場を中心に 8 つのエリアに分かれ、美術館や温泉、アウトドア施設など冬期以外にも観光資源として活用できる施設がありますが、村の南北に広がって広く分布しています。
- 観光入込数が多いのは、冷涼な気候から夏休みの 8 月と冬期の 12 月～3 月であり、これら 5 か月で全体の 70%が集中しています。

【観光動向】

- 新型コロナウイルス感染症拡大により、令和 2 年から 200 万人を下回り、令和 3 年には 150 万人を下回りましたが、令和 4 年から回復し、5 類感染症に移行した令和 5 年には、令和元年以前の水準に戻っています。
- 観光入込客の 3 分の 2 は県外からの観光客で、4 分の 3 は宿泊客です。
- 外国人旅行者は、新型コロナウイルス感染症拡大により急減しましたが、現在は回復しています。
- 白馬村の特徴は、スキー目的のオセアニア地域からの旅行者が多いことです。
- 外国人旅行者は滞在期間が長く、他の都市のスキー場や観光地を訪れる人も多く、泊食分離で外食することも多く、村内には飲食施設が少なく限られた施設に集中することもあります。
- HAKUBA VALLEY では、エリア内 10 のスキー場で利用できる全山共通シーズンパスが発売されていますが、特に外国人スキーヤーにとっては、スキー場間の連携が望まれています。



《観光特性からの公共交通の課題》

- 観光産業は白馬村の地域経済を支える基幹産業であり、若者の雇用機会を確保するためにも地域資源を活用した競争力の強化と安定化が必要で、それを支える観光客に便利でわかりやすい公共交通の整備が必要です。
- 観光入込数は回復傾向にありますが、長期的にみると少子高齢化による人口減少に伴い減る可能性があり、年間を通じての平準化も必要ですが、このような需要の変化に対応した公共交通の確保も必要です。
- 利用者の増加に対しては、運行車両台数やドライバー人材の不足への対応も必要です。

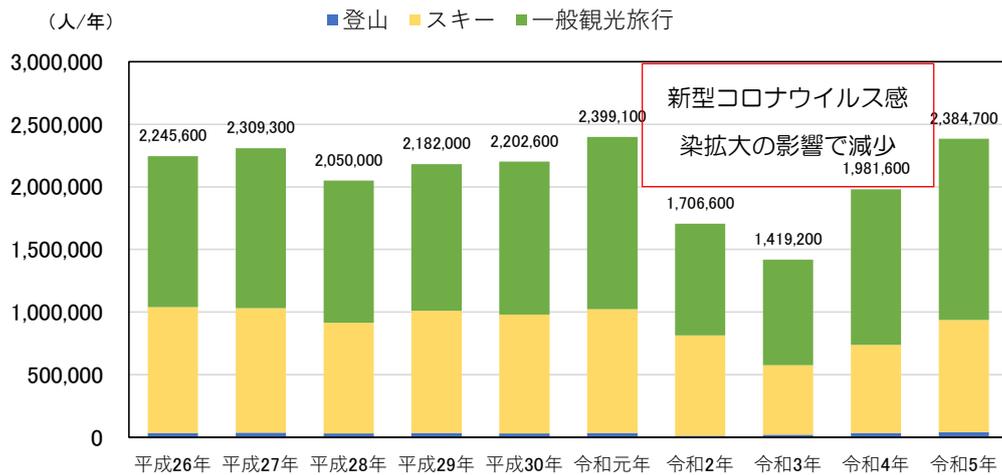
図 5.2.2 白馬村の観光エリアと観光客の動向

資料：白馬村観光局資料

■白馬村の観光エリア



■白馬村観光客数の推移



■白馬村観光客数の月変動

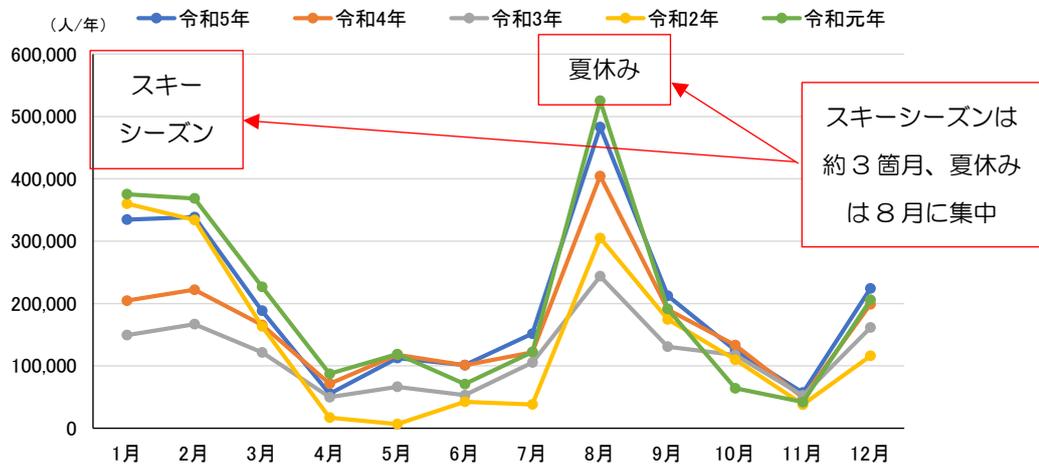
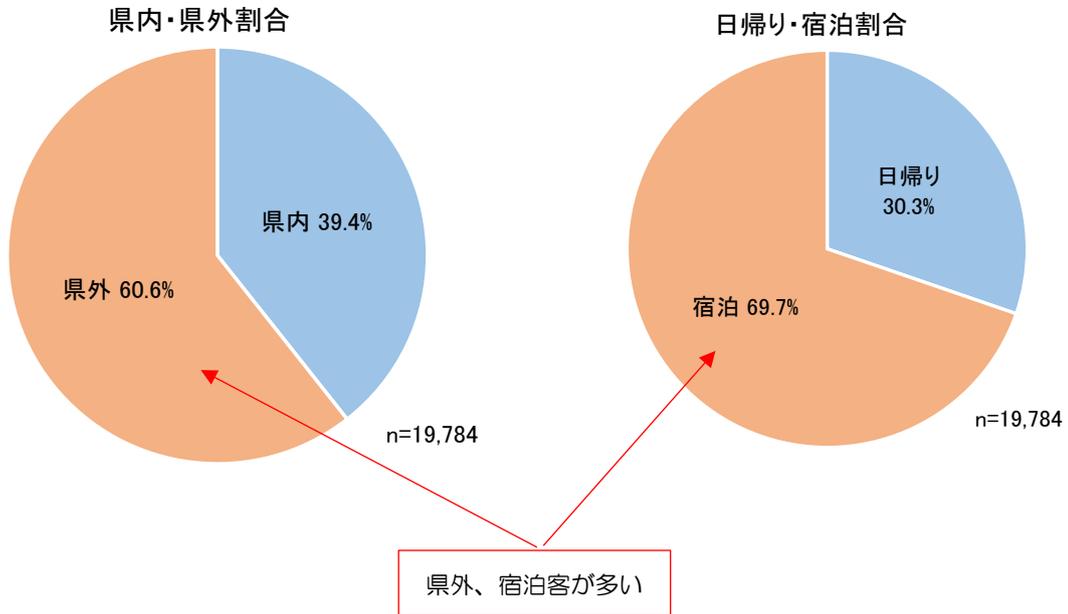


図 5.2.3 白馬村観光客の特性

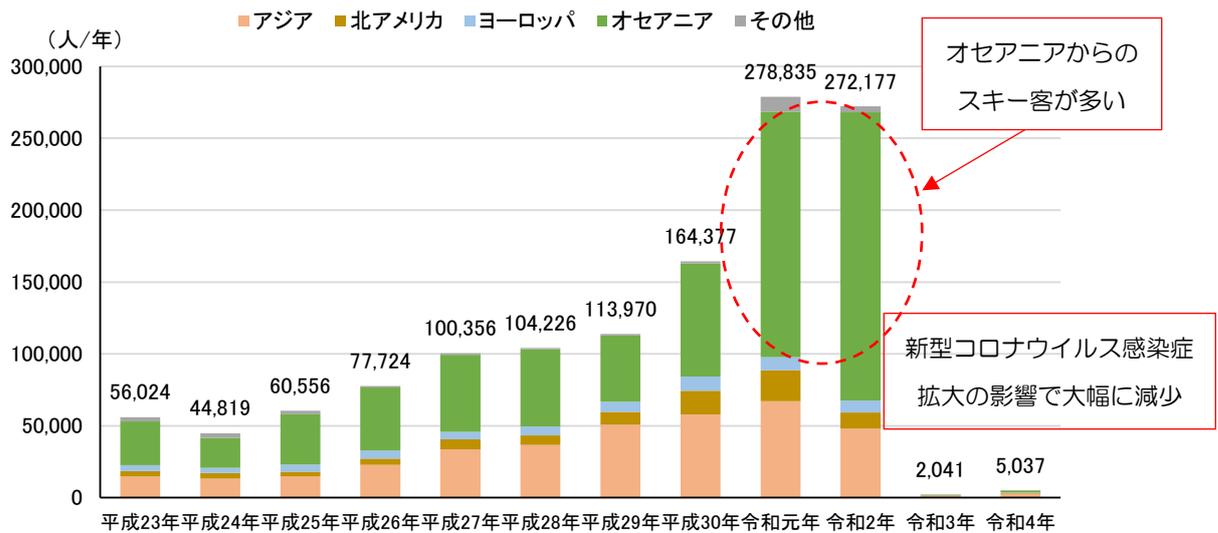
■白馬村観光入込客の特性

資料：令和4年長野県観光地利用者統計調査結果



■白馬村外国人観光宿泊者数の推移

資料：白馬村観光課



(3) 現公共交通の整備状況からの課題

【各公共交通の概況】

① 鉄道

・北陸新幹線の延伸で期待される関西からの観光客を呼び込むため、新幹線が停車する新潟県の糸魚川駅と白馬駅を結ぶ臨時のバスが運行を始めました。白馬駅から糸魚川方面は、このように利便性の向上を図っていますが、松本方面は早朝と夕方を除き運行本数が少ない状況です。

・村の玄関口である白馬駅の乗車人数は、新型コロナウイルス感染拡大により令和2年に200人を下回りましたが、現在は回復しています。駅前広場がありますが、駐車場が無く、路上駐車や送迎車で混雑し、冬場発着する路線バスに影響を与えています。

②バス

・路線バス、特急バスは、村民も村内で利用が可能ですが、基本的に観光地を連絡する路線で、村内で利用できる区間も限られるため、観光客主体となっています。

・冬季は、観光事業者が運行するスキー場シャトルバスが運行していますが、路線が複雑となっています。

③タクシー

・駅前に常駐している駅は白馬駅のみです。

・観光客が増加する冬期は、タクシー車両が不足しています。

④白馬村 AI オンデマンド乗合交通

・令和6年4月からふれAI号が本格運行しています。白馬ナイトデマンドタクシーは、冬期間運行し、実証実験では、外国人の利用もあり、満足度は高くなっています。

・今後、村民と外国人の同乗など統合による課題の検討が必要になります。



《現公共交通の整備状況からの課題》

・白馬駅は、冬期の駅前広場の混雑対策、安全性確保のための整備が必要であり、白馬八方バスターミナルは、快適な待合スペースの確保、案内情報の拡充が必要です。

・神城駅、北部の信濃森上駅などについては、ふれAI号での乗降ポイントとしても利用されており、乗り継ぎ拠点として、二次交通情報の提供、案内情報の充実が必要です。

・冬期の民間シャトルバスは、わかりやすい案内情報提供手段の検討が必要です。

・高齢者以外の交通弱者の移動についても、検討する必要があります。

図 5.2.4 白馬駅の現況

資料：JR 東日本資料

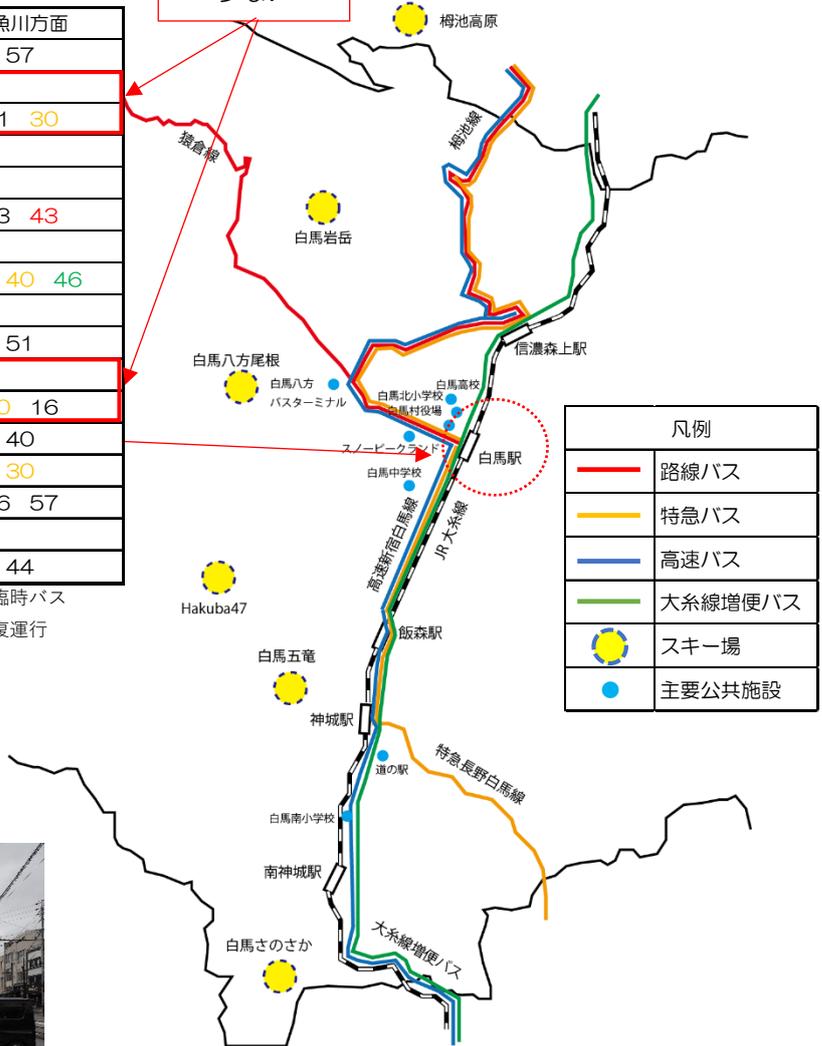
■白馬駅の時刻表

時刻	松本方面	系魚川方面
6	10 57	57
7	43	
8		01 30
9		
10	23	
11		23 43
12	22	
13		01 40 46
14		
15	16 35 51	51
16	37	
17		10 16
18	25	40
19	28	30
20	58	06 57
21	47	
22		44

赤字：あずさ 青字：快速 緑字：※ 橙字：臨時バス
 ※土休日は、リゾートビューふるさと上下1往復運行
 臨時バスは、白馬駅始発

令和6年9月現在

通勤時間帯が
少ない



■白馬駅前広場の現況（夏期）



■白馬駅、神城駅の乗車人数の推移

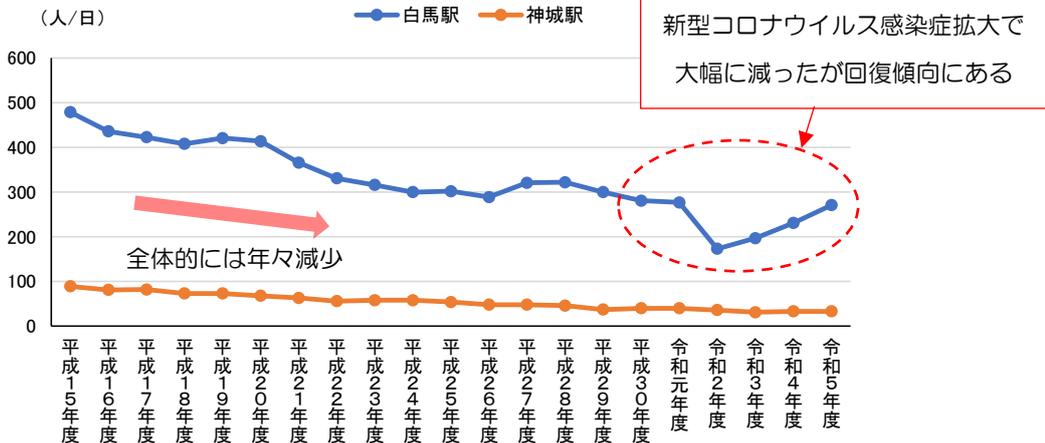


図 5.2.5 路線バス等の現況

■白馬駅と白馬八方バスターミナルの路線バス時刻表

時刻	白馬駅発	白馬八方BT白馬駅方面発
5	55	
6		30
7	20	
8	10 55	12 20
9	30	59
10		
11	10	10
12	00 10	59 4
13	10	
14	00 35	24 45 57
15	10	50
16		45
17		
18	20	
19	30	
20		
21	10	
22		

黒字：梅池線 赤字：梅池線（運転日注意）
緑字：猿倉線

時間帯によって運行
のない時刻表



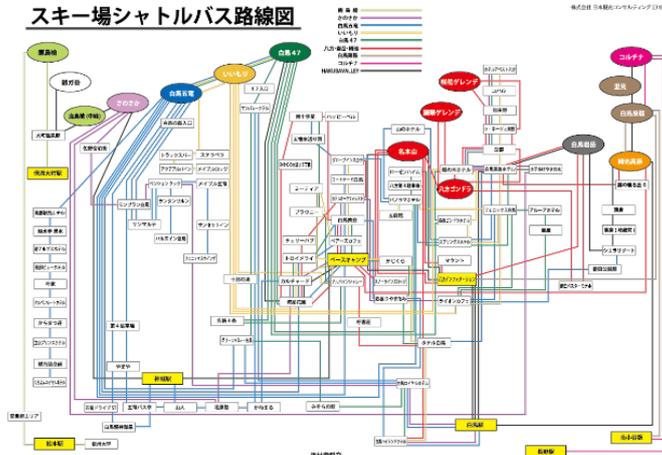
■白馬八方バスターミナルの現況



資料：アルピコ交通(株)資料

■路線が複雑なスキー場シャトルバス路線図

一目で見てどこがどこかわ
かりにくい路線図



(4) 課題のまとめ

■地域特性

- ・ JR大系線沿線、特に白馬駅西側に人口が分布
- ・ みそら野区、飯田区、白馬町区、八方区等の人口が多い
- ・ 年少人口が全人口の11%、高齢者単身世帯数は全世帯の10%
- ・ 中山間地の集落や村の南部において人口減少が著しい
- ・ 主要な公共施設が白馬駅周辺に集中、生活関連用品を扱う店舗は、国道148号沿線に分布

■観光特性

- ・ 観光エリアが、南北に広がって分布している
- ・ 観光入込数の集中時期は、冷涼な気候から夏休みの8月と冬期の12月～3月で70%が集中
- ・ 令和5年に新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復、インバウンド回復により増加
- ・ スキー目的のオセアニア地域からの旅行者が多く、滞在期間が長い
- ・ 泊食分離で外食することが多く、村内には飲食施設が少なく限られた施設に集中

■公共交通の整備状況

- ・ JR大系線の運行本数は、臨時増便バスの運行により、前計画時の水準を維持している
- ・ 村の玄関口の白馬駅乗車人数は、減少傾向が続いている
- ・ 白馬駅は、冬期に駅前広場が混雑し、路線バスが入れない状況がみられる
- ・ タクシーは、白馬駅のみ常駐しているが、冬期の外国人が多い時期は不足している
- ・ 令和6年4月からふれAI号が本格運行し、白馬ナイトデマンドタクシーが冬期間運行している

【村の公共交通の課題】

【地域特性からの課題】

- ・ 村内地区それぞれの地区特性を考慮した移動手段の検討
- ・ 今後自動車を運転できなくなった時の状況に合わせた移動手段の確保
- ・ 通学、通院、買物など、移動目的や施設の立地を考慮した移動手段の検討
- ・ 広範囲な施設立地をカバーする持続可能な移動手段の確保

【観光特性からの課題】

- ・ 回復したインバウンド需要も含め、観光客に便利でわかりやすい公共交通の整備
- ・ 公共交通利用と旅行者に対する飲食店予約やお買い物情報等も含めた情報の利便性向上
- ・ 年間を通じた需要の平準化、それら需要の変化に対応した公共交通の確保
- ・ 公共交通の運行車両台数やドライバー人材の不足への対応

【現公共交通の課題】

- ・ 村の玄関口（白馬駅や白馬八方バスターミナル）としての機能強化
- ・ AIデマンド交通の利用者からの要望への対応、利用者の共助を促す施策の推進
- ・ わかりやすい情報提供手段（冬期民間シャトルバス等）の検討
- ・ 交通弱者の移動しやすさの向上

図 5.2.6 白馬村の現況交通体系と課題

シャトルバスの路線、案内がわかりにくい

待合空間や案内情報が整備されていない

乗り継ぎ拠点として整備されていない

冬期に駅前広場が混雑し、案内情報が不足

移動手段が自動車に限られ、自動車がないと生活できない



- 凡例
- 鉄道 (JR大系線)
 - 路線バス
 - 特急バス
 - 高速バス
 - 大系線増便バス
 - - - 行政界

- 凡例
- 村内スキー場
 - 中山間地の集落
 - 乗り継ぎ拠点



1. 基本的な方向性

（1）全体的な考え方

白馬村の公共交通は、村内及び村内外の主たる移動を分担する幹線システムと村内の移動を補完する地域生活交通システムに機能区分します。

1) 幹線システム

- ・村内外の観光・ビジネス客等を首都圏や中部関西圏から誘導する大量輸送が可能なJR大系線及び民間路線バス（高速、特急を含む）
村の玄関口：白馬駅、白馬八方バスターミナル
- ・村民の村内の主たる移動を支えるJR大系線、民間路線バス
地区への窓口：南神城駅、神城駅、飯森駅、信濃森上駅、主要バス停

- ・幹線システムは、基本的に現在の機能を維持します。
- ・鉄道は、臨時バスによる増便を図っていますが、今年度の実績を踏まえ、事業の継続、利用者の増加を目指します。
- ・路線バスも、事業の継続、利用者の増加を目指します。
- ・村の玄関口である白馬駅、白馬八方バスターミナルは、玄関口として利用者にわかりやすく、混雑しないように乗降場や駐車場の機能強化を図ります。
- ・その他の駅については、二次交通の案内や近隣施設へのアクセスなど、乗り継ぎの利便性向上と外国人を含む観光客へのわかりやすい情報提供を目指します。

2) 地域生活交通システム

- ・村民の幹線システムへのアクセス、村内主要施設への日常的な移動、観光客の観光目的の移動など地域に密着した輸送サービス
- ・村が運行する村内移動の骨格移動システム
 - ①ふれ AI 号
 - ②白馬ナイトデマンドタクシー
 - ③スクールバス
 - ④福祉輸送サービス
- ・民間事業者が運行する移動システム
 - ①一般タクシー
 - ②観光事業者のスキー場シャトルバス

- ・令和6年度から導入した①と②のAIオンデマンド乗合交通は、運行を続けながら逐次改良を行って、利用者が満足できるシステムを目指します。
- ・スクールバスと福祉輸送サービスは、利用目的や利用方法が上記と異なるため、個別に見直し、拡充を図ることを目指します。
- ・民間事業者が運行する移動システムは、需要の変化に対応しながら、利用者が満足できるシステムを目指します。

3) その他

- ・ 民間事業者の動向をみながら、必要に応じて導入を検討するシステム

① レンタサイクル、シェアサイクル

冬期以外の観光等で村内を移動する際の移動手段として充実します。

観光局のホームページで情報提供を行っている。

② ライドシェア

次の2つがあります。

- ・ 公共ライドシェア

バス事業やタクシー事業によって輸送手段を確保することが困難な場合、市町村やNPO法人などが、自家用車を活用して提供する有償の旅客運送を公共ライドシェアと呼び、省令において「交通空白地有償運送」と「福祉有償運送」の2つを規定している。

- ・ 日本版ライドシェア

地域交通の「担い手」「移動の足」不足解消のため、令和6年3月、タクシー事業者の管理の下で、自家用車・一般ドライバーを活用した運送サービスの提供を可能とする日本版ライドシェアを創設した。タクシー配車アプリデータ等を活用して、タクシーが不足する地域・時期・時間帯を特定し、地域の自家用車・一般ドライバーを活用して不足分を供給している。

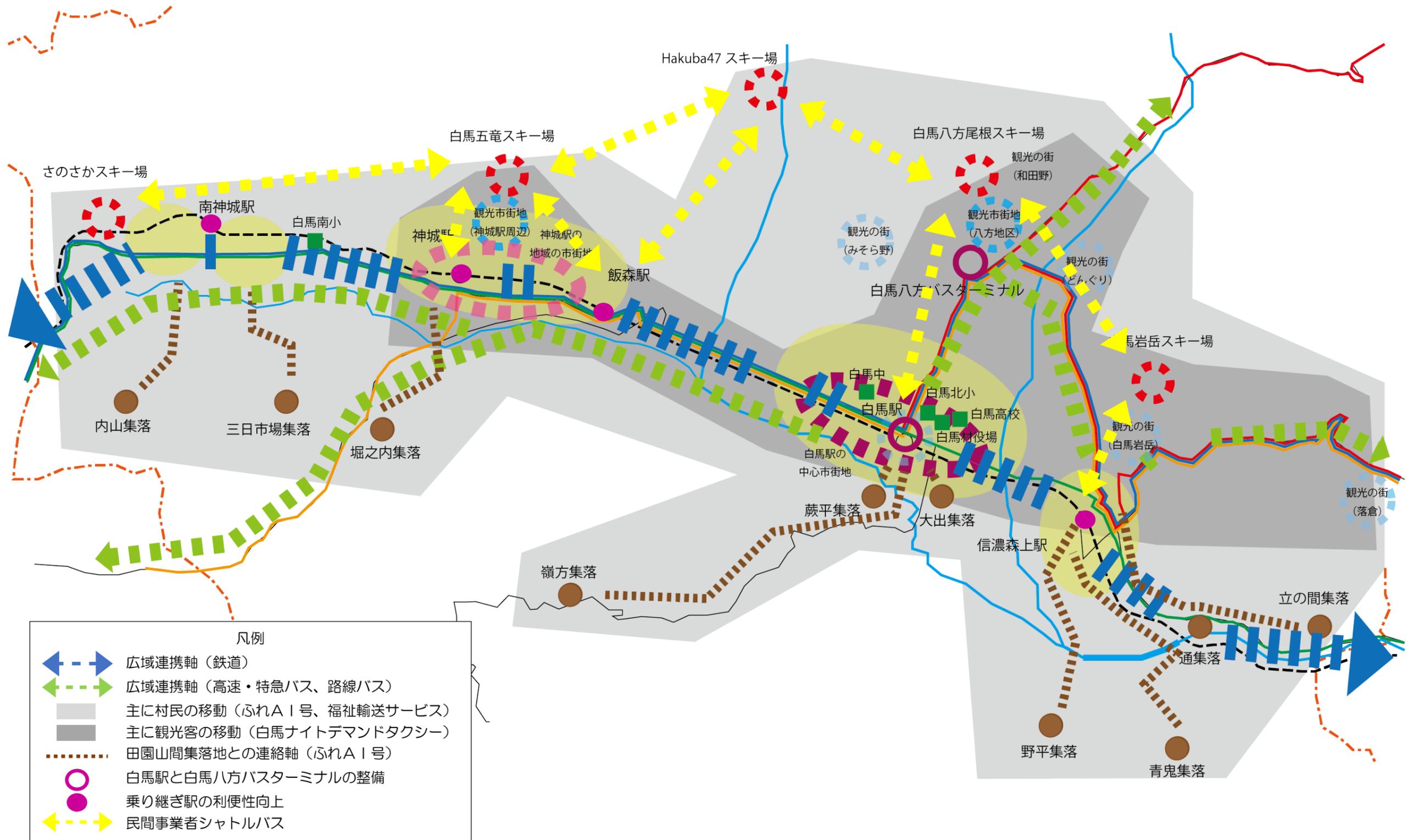
③ グリーンスローモビリティ

時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、高齢化が進む地域での地域内交通の確保や、観光資源として、環境政策と地域が抱える様々な交通の課題解決が期待される。

2. 地域公共交通のあるべき姿（将来像）

長野県地域公共交通計画の北アルプス地域の将来ネットワークを踏まえ、村外からの観光・ビジネス客を首都圏や中部関西圏から誘導する鉄道やバスなどの幹線システムと村内のAI デマンドタクシーによる地域生活交通システムにより、地域公共交通ネットワークを構築します。

■公共交通ネットワークのイメージ



第7章 地域公共交通計画の基本方針及び目標の設定



1. 基本方針

地域公共交通網形成計画において掲げた4つの基本方針を踏襲し、第5次白馬村総合計画や白馬村都市計画マスタープランのまちづくりの姿も踏まえながら、生活交通・観光・持続可能性の3つ観点で整理し、次のように設定します。

【基本理念】

多様な人々が安心して暮らし、快適に訪れることができる
持続可能で利便性の高い交通サービスの実現



村民、高齢者、子ども、障がいのある人、外国人、観光客など様々な人が活動している

どの立場の人にとっても使いやすい多様な公共交通手段を新たな技術を活用して整備することにより、これらの人々の交流を促進し、村民だけではなく、村を訪れるすべての人が、快適に社会生活を送ることが出来て、環境負荷の低い成長する村をつくっていく



【基本方針】

次の3つの視点を今後の地域公共交通計画の基本的な方針とします。

基本方針 1

安心して暮らせるための生活交通の確保と拡充
(住民交通)

基本方針 2

外国人を含めた観光客が快適に移動できる、まちづくりと公共交通網の構築 (観光交通)

基本方針 3

村の豊かな環境維持や担い手不足解消など未来を見据えた持続可能な環境に配慮した交通サービスの発展 (持続可能な交通)

※地域公共交通網形成計画での基本方針1・2を現計画では基本方針1に集約した

■基本方針 1 安心して暮らせるための生活交通の確保と拡充（住民交通）

- 高齢者や子供など交通弱者の村内移動を支援する公共交通を年間通じて確保、新たな技術を活用した福祉輸送により、住民が使いやすい生活交通機能の実現
- ふれ AI 号・スクールバス・福祉有償運送を基にした生活交通の形成
- 運行事業者の AI 等スマート技術活用による効率化

■基本方針 2 外国人を含めた観光客が快適に移動できる、まちづくりと公共交通網の構築（観光交通）

- 来訪者の移動における利便性を確保するため、将来の交通体系の変化を見据えた、運行情報の一元化や多言語対応、乗り継ぎ拠点の整備
- 白馬ナイトデマンドタクシー、タクシーの共同配車、HV シャトル等の DX の推進による利便性の向上
- 駅・バスターミナル等、利便性向上のために乗り継ぎ拠点の整備
- 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）に沿った交通体制の構築

■基本方針 3 村の豊かな環境維持や担い手不足解消など未来を見据えた持続可能な環境に配慮した交通サービスの発展（持続可能な交通）

- 白馬村の豊かな自然環境を維持するため、脱炭素を踏まえた、新たな技術（DX・GX）や多様なモビリティサービスを活用した公共交通システムの向上
- 自動運転技術、グリーンスローモビリティ、コンパクトカー、カーシェアリング、次世代空モビリティ等の新技術の活用
- ゼロカーボンロードマップに準じた交通網の構築

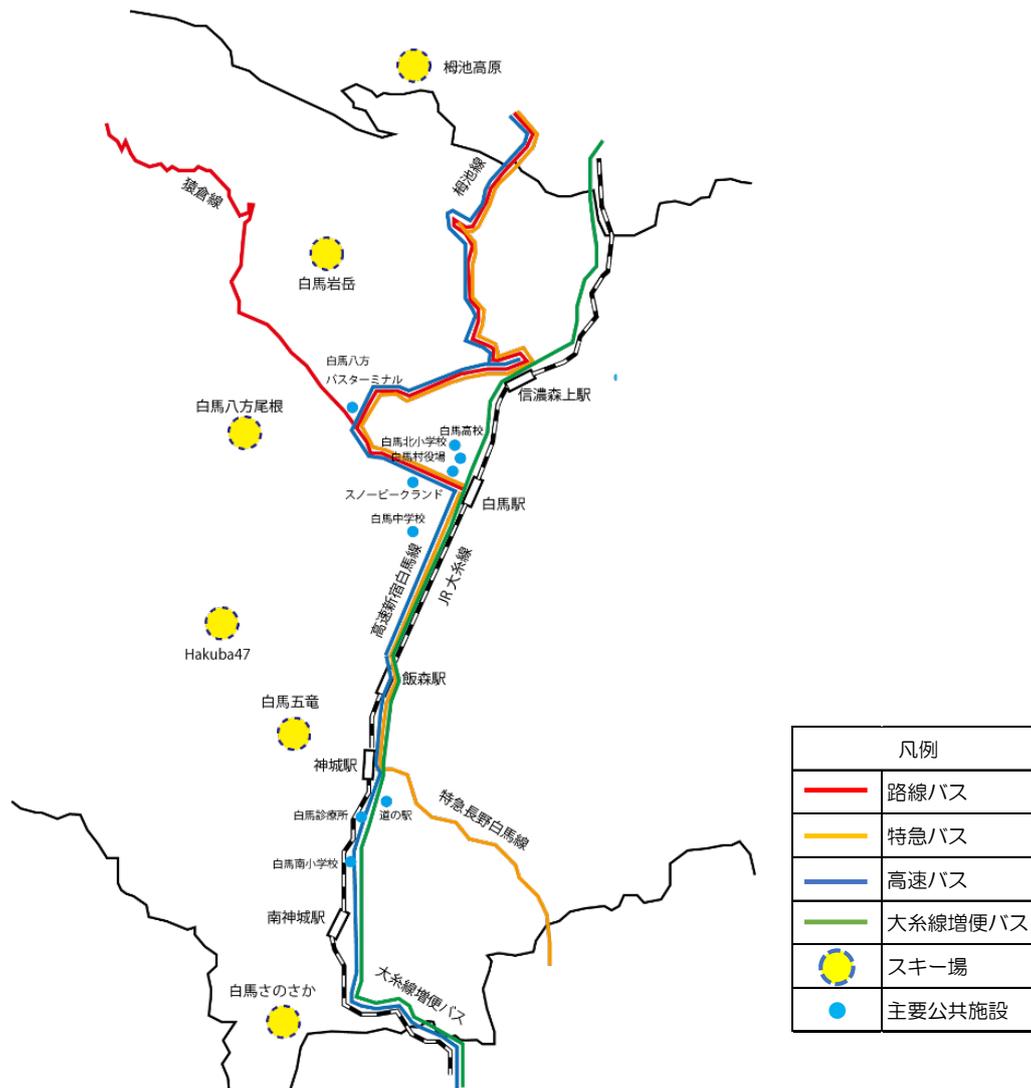
2. 目標設定

基本方針に対応し、以下のように計画目標を設定します。

(1) 計画区域

白馬村地域公共交通計画における計画区域は、白馬村全域とします。

図 7.2.1 計画区域



(2) 計画期間

計画期間は、第6次白馬村総合計画の計画期間と整合を図り、令和7年度から令和12年度までの6年間とします。

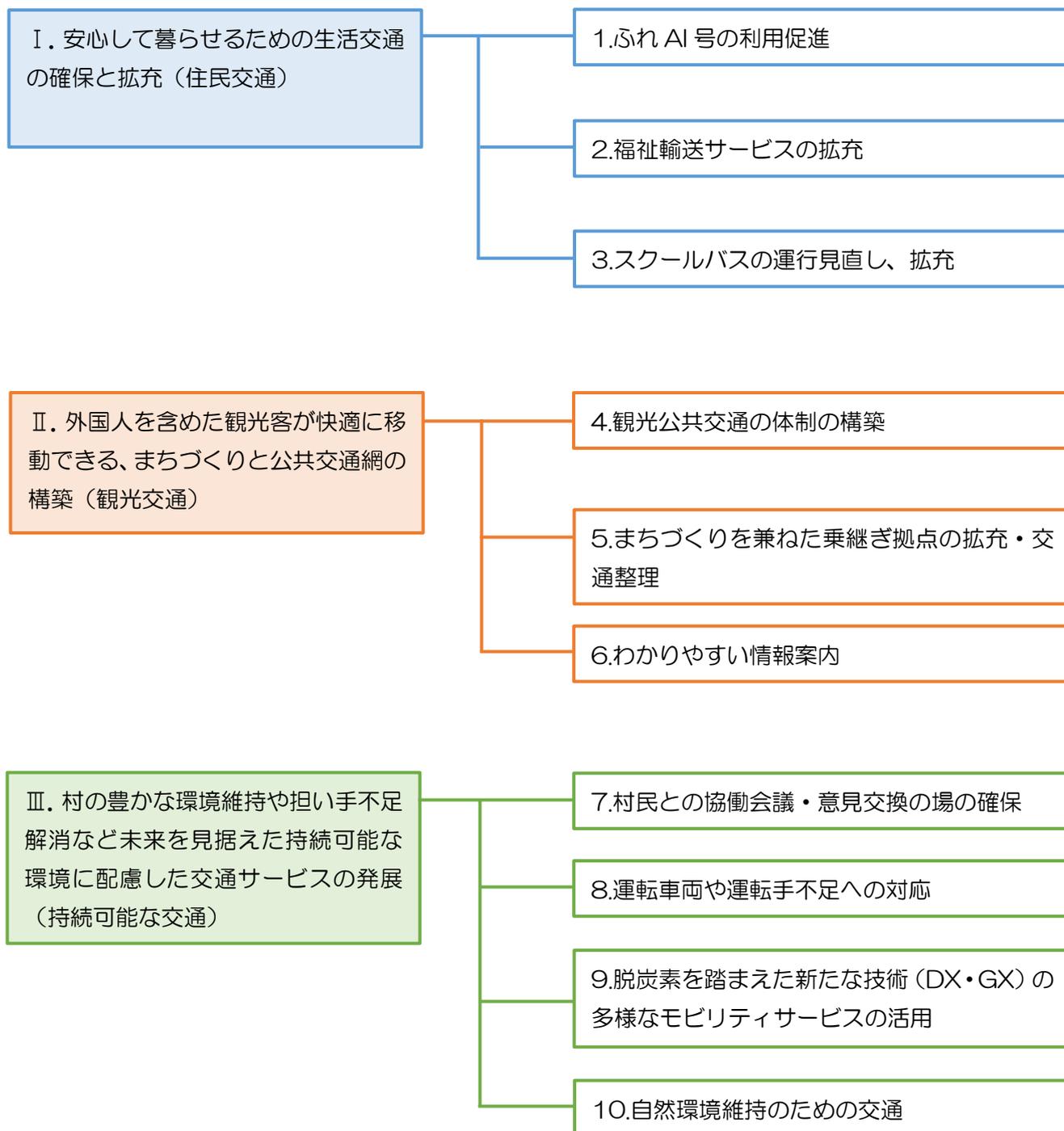
(3) 計画目標

白馬村地域公共交通計画における基本方針体系図

【基本理念】 多様な人々が安心して暮らし、快適に訪れることができる持続可能で利便性の高い交通サービスの実現

【基本方針】

【計画目標】

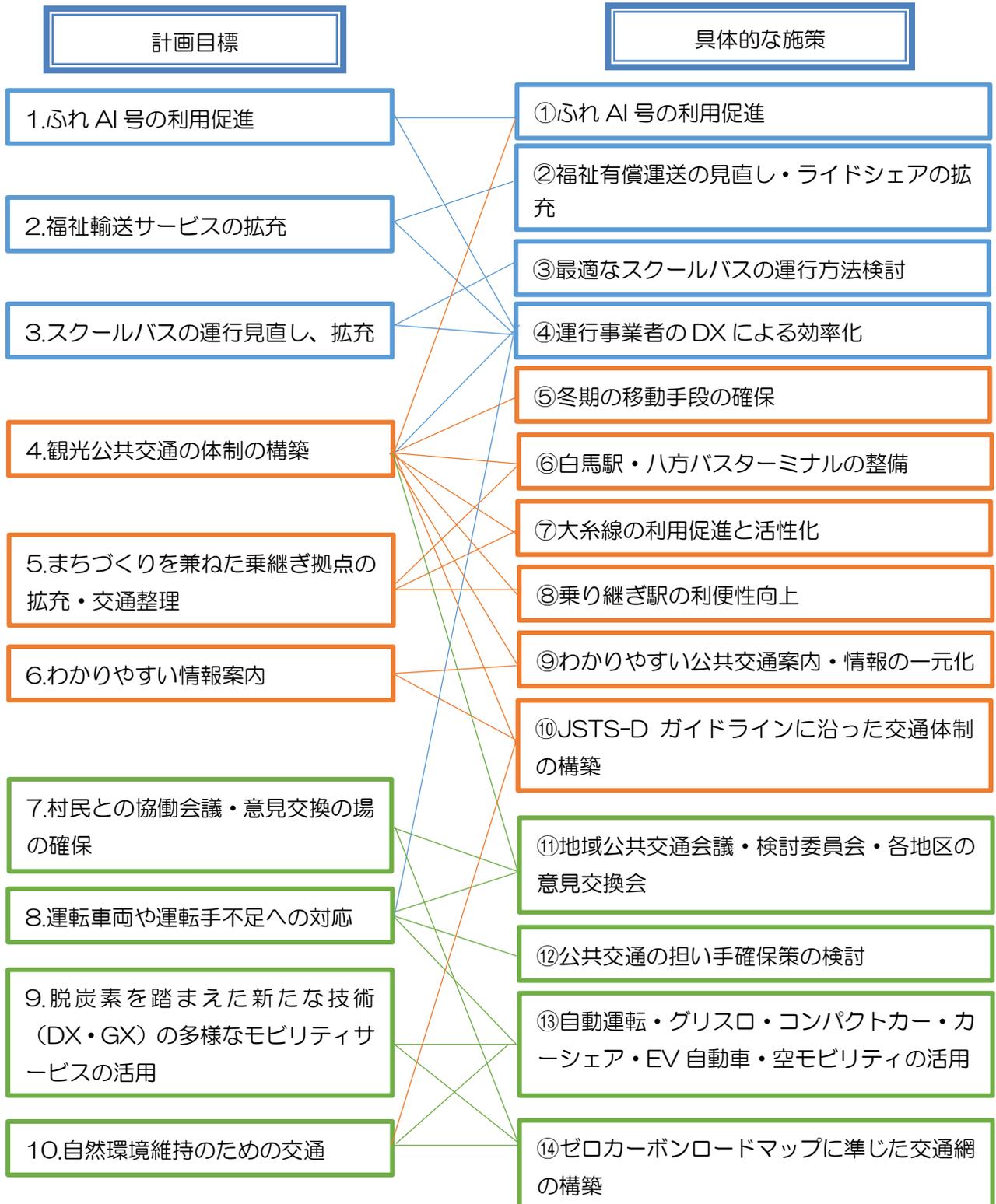




1. 目標達成に向けて取り組む施策

■計画目標・施策

基本方針に掲げた計画目標の実現に向け、具体的に取り組むべき施策・事業メニューを整理しました。



2. 具体的な施策・事業、事業スケジュール

計画目標のための施策の方向性を踏まえ、施策体系で示した施策の方向性毎に、実施の目的、事業概要、主な事業エリア、実施主体、実施時期等を検討しました。

基本方針Ⅰ. 安心して暮らせるための生活交通の確保と拡充（住民交通）

計画目標 1 ふれ AI 号の利用促進

施策① ふれ AI 号の利用促進

■施策の概要

	概 要
目 的	ふれ AI 号は、村が運行する村内移動の主要移動システムで、村民の日常的な移動手段として利用者の協力を得ながら、さらなる利用促進を図ることを目的とします。
事業内容	<p>① 利用者の利便性向上、運行の効率化</p> <p>現在 2 つある予約方法を次のように分けて運用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリ利用による予約 健常者や観光客は、スマートフォンアプリにより予約を行います。予約後は乗車予約手順に従って、デマンドタクシーを利用します。 ・電話による予約 高齢者や障がい者は、電話により予約を行い、自宅前での送迎を実施します。 ・毎日の運行データ（平均待ち時間、予約キャンセル数、配車不成立等）の分析を基に状況にあった設定で最適かつ効率の良い運行サービスに繋がります。 ・ふれ AI 号の利用が難しい通院や福祉施設の利用者については、別途、村が行っている福祉輸送サービスの利用要件等を見直した上で、対応します。 <p>② 周辺自治体との広域運行の検討</p> <p>さらなる利便性向上のため、周辺自治体との連携し広域運行等について検討を行います。</p>
対象者	村民、観光客
時期	通年
実施主体	タクシー事業者、社会福祉協議会、白馬村

計画目標 2 福祉輸送サービスの拡充

施策② 福祉有償運送の見直し・ライドシェアの拡充

■ 施策の概要

	概 要
目的	社会福祉協議会が運営している福祉輸送サービスの活用により、移動困難者が安心して移動できる手段を確保します。
事業内容	<p>福祉輸送サービス事業は、バスやタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な高齢者や障がい者の医療機関への通院・入退院、福祉施設への通所・入退所に利用でき、事前の登録や利用要件があり、毎年10人程度の登録状況にあります。</p> <p>平日のみの運行ですが、利用要件等を見直すことや、公共ライドシェアの中の「福祉有償運送」の拡充を検討します。</p> <p>・福祉輸送サービス事業の利用要件</p> <div data-bbox="450 913 1337 1599" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>◎利用できる方(以下の要件をすべて満たす方)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 白馬村内に住所を有する方 2. 白馬村社会福祉協議会に本事業の登録をした会員及び付添人 3. 公共交通機関の利用が困難な方で、次の要件のいずれかに該当する方 <ol style="list-style-type: none"> ①介護保険法の要介護度 4 以上の方 ②介護保険法の要介護度 3 の方で、要介護度 4 と同程度で、障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準ランク B 以上の方 ③介護保険法の要介護度 2、1 の方で、明らかに介助者が車いすを使用して移動介助しなければ移動が困難な方(審査会で決定します) ④身体障害者手帳の交付を受けている方で、次のいずれかに該当する方 <ul style="list-style-type: none"> ・車いすの給付判定を受けている方 ・1種 1 級及び 1 種 2 級の下肢機能障害の方で、車いすでなければ移動できない方 ・体幹機能障害の方で、車いすでなければ移動できない方 ⑤1種 1 級及び 1 種 2 級の下肢機能障害者又は体幹機能障害者ではないが、明らかに介助者が車いすを使用して移動介助しなければ移動が困難な、肢体不自由若しくは内部障害(人工血液透析を受けている場合を含む)又は精神障害者もしくは知的障害者等の方   <div data-bbox="694 1489 1268 1579" style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>車いすのまま乗車できる福祉車両を使って、 通院などのお手伝いをいたします</p> </div> </div> <p>出典：白馬村社会福祉協議会</p>
対象者	村民
時期	通年
実施主体	タクシー事業者、社会福祉協議会、白馬村

計画目標 3 スクールバスの運行見直し、拡充

施策③ 最適なスクールバスの運行方法検討

■施策の概要

	概 要
目 的	白馬村では、令和 2 年度からスクールバスを運行し、デマンドタクシーとの統合を検討しましたが、統合が難しいため、別に最適な運用方法を検討することを目的とします。
事業内容	<p>冬期の積雪時には自転車での通学は困難であり、また家族が自動車で送迎することも大きな負担になっていることから、スクールバスを運行しています。近年は、猛暑対策として夏期にも運行しています。</p> <p>現在運行中のデマンド型乗合タクシーの活用も検討してきましたが、サービスを利用する学生の料金負担、一般観光客との混乗の安全性などから、難しい状況にあります。</p> <p>こどもや家族が安心して負担のない暮らしを支えるため、現在運行しているスクールバスをより利用しやすい方向で見直します。</p> <p>また、これまでの運行実績を踏まえ、効率的な運行についても、検討します。</p>
対象者	小学生、中学生
時期	夏期、冬期
実施主体	タクシー事業者、バス事業者、小学校、中学校、白馬村

施策 ④ 運行事業者の DX による効率化

■施策の概要

	概 要
目 的	運行事業の担い手不足に対応し、社会情勢の変化や利用ニーズの変化にも柔軟に対応するため、最新の情報技術を活用し、運行事業者が効率的に運用していくことを目的とします。
事業内容	運行管理システムや配車アプリ等の導入により、リアルタイムデータと高度な分析を用いて、交通の流れをスムーズにして運行の効率の最大化の検討を行い、サービスの質を高め、環境への負荷も軽減します。
対象者	運行事業者
時期	通年
実施主体	バス事業者、タクシー事業者、白馬村

基本方針Ⅱ．外国人を含めた観光客が快適に移動できる、まちづくりと公共交通網の構築（観光交通）

計画目標 4 観光公共交通の体制の構築

施策⑤ 冬期の移動手段の確保

■施策の概要

	概 要
目 的	冬期のスキーを目的とした外国人観光客の移動手段の確保を目的とします。
事業内容	<p>① 白馬ナイトデマンドタクシーの利便性向上 令和5年度から本格運行を行っています。これまでの運行では外国人の利用も多く、満足度も高くなっています。今後も利用者の増加が見込まれるため、運行台数や運転手の不足への対応をし、需要の変化には運行データに基づいた分析を行い、最適な運行体制を構築します。</p> <p>② タクシー配車アプリによる交通 DX 交通 DX の具体的な手法である、運行管理システム、配車アプリの導入を行い、利便性の向上を進めます。</p> <p>③HV シャトルの利用向上 観光事業者が運行するスキー場のシャトルバスについて、わかりやすい案内情報の提供方法を検討します。</p>
対象者	外国人観光客、日本人観光客
時期	冬期
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、観光事業者、白馬村

計画目標5 まちづくりを兼ねた乗継ぎ拠点の拡充・交通整理

施策⑥ 白馬駅・八方バスターミナルの整備

■施策の概要

	概 要
目的	<p>白馬村の玄関口である白馬駅と白馬八方バスターミナルは、それぞれのターミナル機能を発揮できるように環境を整備することにより、増加する観光客や村民、特に高齢者や障がい者、ベビーカー利用者なども安全で安心して公共交通を利用できることを目的とします。</p>
事業内容	<p>《鉄道駅》</p> <p>白馬駅は村の玄関口となる駅であり、白馬駅は最も多くの国内外の来訪者が行き来し、観光地や周辺地区を結ぶ拠点となっています。</p> <p>駅前に駐車施設が少ないために、周辺店舗利用者などが駅前広場に駐車し、混雑の原因になることもあります。特に冬期の特急列車到着時には外国人観光客の送迎車で、路線バスが出入りにくい状況となっています。</p> <p>駅前広場の円滑な交通動線を考慮した施設配置の見直しや周辺への適切な規模の駐車場の確保により、駅の安全確保・利便性向上に取り組めます。また、誰にでもわかりやすい二次交通の乗車位置・発車時刻や周辺観光施設の案内情報等の提供に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬駅前広場  <p>《白馬八方バスターミナル》</p> <p>白馬八方バスターミナルは、周辺に宿泊施設が集積し、路線バスや特急バスのターミナルとして機能しています。</p> <p>冬期には外国人の利用も多く、快適な待合スペースの確保、わかりやすい情報提供に取り組めます。</p> <p>また、駅及びバスターミナルは、バリアフリー化を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬八方バスターミナル 
対象者	村民、観光客
時期	通年
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、白馬村、駅周辺商店

施策⑦ 大系線の利用促進と活性化

■ 施策の概要

	概 要						
目的	村内外の移動手段である大系線の利便性向上、観光利用者数の増加を目的とします。						
事業内容	<p>JR 大系線は、白馬村への広域的な交通軸となっており、また、村内の重要な移動手段の一つともなっています。</p> <p>過年度の村民アンケートによると、鉄道については、「運行本数の増加」を改善点に挙げる人が多くありました。</p> <p>現在、糸魚川駅からの臨時バスを上下 4 本ずつ運行し、運行本数の確保につとめています。</p> <p>老人クラブや子ども会、自治会など大系線で移動して行うイベント等に要する経費を補助する大系線利用促進事業補助金、インバウンド観光客向けに和食、相撲体験など日本文化を取り入れた糸魚川ツアーの実施、大系線プロモーション事業（謎解きラリー）、県外・海外へプロモーションキャンペーン等を実施しながら、大系線の利用促進と活性化を進めます。</p> <p>松本方面の活性化についても、事業者と一緒に検討を進めます。</p> <p>■ 村民アンケート</p> <p style="text-align: right;">改善点上位3位</p> <p>・ 改善点上位 3 位</p> <div style="text-align: right;">(人)</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>運行本数の増加</td> <td>544</td> </tr> <tr> <td>乗継の改善</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td>特急・快速の増便</td> <td>182</td> </tr> </table> <p>■ 大系線増便バス</p> <p>■ 糸魚川体験ツアー</p>	運行本数の増加	544	乗継の改善	253	特急・快速の増便	182
運行本数の増加	544						
乗継の改善	253						
特急・快速の増便	182						
対象者	村民、観光客						
時期	通年						
実施主体	各大系線関係協議会、鉄道事業者、バス事業者、長野県、新潟県、関連市町村、白馬村						

施策⑧ 乗り継ぎ駅の利便性向上

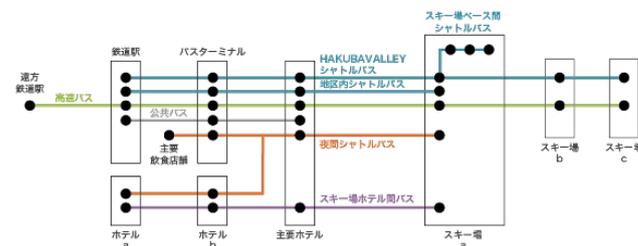
■ 施策の概要

	概 要
目 的	白馬駅以外に村内には 4 つの駅があります。これらの駅は、駅周辺の住民や最寄りの観光地への窓口になっています。これら乗り継ぎ駅の利便性向上を目的とします。
事業内容	<p>神城駅や信濃森上駅は、それぞれが隣接する白馬五竜、白馬岩岳の観光地や周辺集落を結ぶ拠点となっています。</p> <p>駅へのアクセスは、住民であれば家族の送迎やふれ AI 号の利用、観光客であれば宿の送迎などが考えられますが、駅を利用する人々が親しみを持つような駅の待合環境の整備、初めて利用する方にも、誰にでもわかりやすい二次交通の乗車位置、利用方法、周辺の宿や観光地の案内情報等の提供に取り組みます。</p> <p>信濃森上駅：近隣に岩岳新田バス停があり、路線バスへの乗り換えが可能です。しかし、駅から 500m 離れているため、案内誘導方法の充実を図ります。</p> <p>飯森駅：近隣住民や旅館宿泊者の利用が主と考えられますが、近隣にエイブル白馬五竜 IIMORI があり、冬期の二次交通の案内誘導方法の充実を図ります。</p> <p>神城駅：駅の西側に宿泊施設が点在しています。駅から白馬五竜方面への二次交通情報の提供、特に、初めて訪れる人にわかりやすい情報提供窓口の拡充に取り組みます。</p> <p>南神城駅：駅の南側に宿泊施設が点在しています。白馬さのさかスキー場が近隣にあり、冬期の二次交通の案内誘導方法の充実を図ります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>信濃森上駅</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>飯森駅</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>神城駅</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>南神城駅</p> </div> </div>
対象者	村民、観光客
時期	通年
実施主体	タクシー事業者、観光事業者、白馬村

計画目標6 わかりやすい情報案内

施策⑨ わかりやすい公共交通案内・情報の一元化

■ 施策の概要

	概 要
目的	誰もが公共交通を利用しやすい滞在環境を整備するため、ひと目でわかる公共交通案内情報提供を目的とします。
事業内容	<p>公共交通を利用するにあたり、誰もがわかりやすい案内情報の提供を目指します。</p> <p>大町市、白馬村、小谷村の三市村では、サイン・ストリートファニチュアに係る関連ガイドライン等をデザインコードとしてまとめています。</p> <p>複雑な路線の案内、わかりやすい乗り場への誘導など、景観に配慮しながら、高齢者や障がい者をはじめ、外国人観光客にも認識しやすく、わかりやすく情報提供を行います。</p> <p>外国人を考慮し、国際標準を取り入れた表記ルールに統一し、外国人来訪者にも理解しやすいサインとします。</p> <div data-bbox="430 1052 1292 1646"> <p>参考例</p> <p>スキー場移動を主とする「スキー場利用者用バス」、「スキー場ホテル間バス」、「産方アクセス用バス」、「夜間バス」、地元利用者が主である「公共バス」の5種類に整理</p> <p>記号・カラーの種別</p> <ul style="list-style-type: none"> A スキー場利用者用バス B スキー場ホテル間バス C 産方アクセス用バス D 夜間バス 公共バス   </div> <p>出典：HAKUBAVALLEY エリア景観デザインコード計画 案内、サインの例</p>
対象者	村民、国内観光客、外国人観光客
時期	通年
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、観光事業者、白馬村

施策⑩ JSTS-D ガイドラインに沿った交通体制の構築

■ 施策の概要

	概 要
目 的	持続可能な観光、特にオーバーツーリズムに関する課題に対して、JSTS-D ガイドラインに沿った交通体制を構築することを目的とします。
事業内容	<p>JSTS-D ガイドラインの分野の中で、特に次のことを考慮しながら、持続可能な観光を目指します。</p> <p>①多様な受入環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの普及、バリアフリー対策 ・キャッシュレス環境整備の推進 ・多言語による案内の充実 ・多様な宗教・生活習慣への対応 ・域外から観光地への公共交通機関等によるアクセスの確保 <p>地域公共交通に関しては、観光 MaaS の推進、地域公共交通機関の運行情報のオープンデータ化、経路検索等を利用することで、観光地にアクセスする必要な情報ができるような体制を構築します。</p> <p>②地域住民のアクセス権の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光利用者の分散化 ・地域公共交通の村民の優先使用 ・混雑等の見える化 ・パーク&ライド、バスライド駐車場の確保 <p>冬期の混雑が激しい、白馬駅等の乗換場所の整備を進めます。</p> <p>③観光負荷の小さい交通の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の徒歩や自転車での移動の奨励 ・低炭素自動車の導入促進 <p>④低炭素の多様なモビリティサービスの活用、普及を進めます。</p>
対象者	外国人観光客
時期	通年
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、観光事業者、白馬村

基本方針Ⅲ. 村の豊かな環境維持や担い手不足解消など未来を見据えた持続可能な環境
に配慮した交通サービスの発展（持続可能な交通）

計画目標 7 村民との協働会議・意見交換の場の確保

施策⑪ 地域公共交通会議・検討委員会・各地区の意見交換会

■施策の概要

	概 要
目 的	様々な年代の村民や外国人を含む観光客の移動に関する問題、村が運行する公共交通の課題などを、地域公共交通会議で議論し、ともに考える機会を創出することを目的とします。
事業内容	<p>公共交通の維持と改善は、交通事業者や行政だけでなく、村民や地元企業、学校等の積極的な利用や協力が必要です。</p> <p>それぞれの立場で役割を果たすとともに、相互に連携し、推進していくために、定期的に白馬村地域公共交通会議を開催します。</p> <p>今年度から新たに運行を開始した AI オンデマンド乗合交通は、今後も改善を重ねながら持続する必要性があり、運行データや利用者からの要望等を受けて、議論を行う必要があります。</p> <p>また、インバウンドを含めた観光客の増加は、高齢化や運転手不足の中で、まちづくり全体への影響も大きく、その移動を支える公共交通の果たす役割も重要になっています。</p> <p>このような新たな課題に対応するためにも、村民や事業者との協働会議、意見交換の場を確保し、さまざまな立場の人が集まって議論することを進めます。</p>
対象者	村民、関連事業者、行政
時期	通年
実施主体	白馬村地域公共交通会議、白馬村

計画目標 8 運転車両や運転手不足への対応

施策⑫ 公共交通の担い手確保策の検討

■施策の概要

	概 要
目 的	バスやタクシー運転手の更なる高齢化、退職者の増加、運転手希望者の減少等を鑑み、今後も公共交通の担い手を持続的に確保していくことを目的とします。
事業内容	観光地のタクシー不足対策として、第2種運転免許を持たない一般ドライバーが、タクシー会社の運行管理を条件に、自家用車を使って有償で他人を送迎する日本版ライドシェアが解禁されました。 白馬村においても今後の動向を注視し、検討を進めます。
対象者	交通事業者
時期	通年
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、白馬村

計画目標 9 脱炭素を踏まえた新たな技術（DX・GX）の多様なモビリティサービスの活用

施策⑬ 自動運転・グリスロ・コンパクトカー・カーシェア・EV自動車・空モビリティの活用

■施策の概要

	概 要
目 的	脱炭素を踏まえ、新たな技術を活用した様々な移動手段を活用することを目的とします。
事業内容	<p>村内の移動について、できるだけ環境負荷の少ない公共交通の利用を呼びかけます。また、冬季においても降雪・積雪時でも安全かつ快適な移動を進めます。</p> <p>自動運転については今後の運転手不足等を考慮し、導入を検討します。</p> <p>また、観光局がホームページで情報提供を行っているレンタサイクルについて、周辺部への拡大や乗り捨ての実施、シェアサイクルの導入、サイクルトレインの運行などを検討します。</p> <p>さらに、人気の観光スポットへの移動については、グリーンスローモビリティを活用した新たな移動手段について研究を進めます。また、次世代空モビリティの活用についても、研究開発の進展を注視しながら活用の検討を進めます。</p> <p>白馬村レンタサイクル グリーンスローモビリティ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>出典：白馬村観光局</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>国土交通省資料（福山市）</p> </div> </div>
対象者	国内観光客、外国人観光客
時期	冬期以外
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、観光事業者、白馬村

計画目標 10 自然環境維持のための交通

施策⑭ ゼロカーボンロードマップに準じた交通網の構築

■ 施策の概要

概 要																	
目 的	持続可能な社会の実現に向けて、白馬村のゼロカーボンロードマップに準じて地域の公共交通網を構築することを目的とします。																
事業内容	<p>白馬村ゼロカーボンロードマップは、ゼロカーボンと生物多様性の回復に向かう道筋を描き、具体的な取組の推進を促すことを目的に策定しています。</p> <p>令和 12 年の CO₂ 排出量を 60%削減することを目標としており、4 つの重点領域の中で、交通に関して、温室効果ガスを排出しない移動・運輸・交通を掲げています。</p> <p>具体的には、村民や観光客の協力を得ながら、次の施策を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用車・商用車の電動化推進、充電インフラの整備 ・移動の選択肢の充実として、次世代交通サービス（マイクロモビリティやシェアリング） ・持続可能な暮らしの情報発信 <p>■ マイクロモビリティの法令区分</p> <div style="text-align: center;"> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>定格出力 (電動自動車)</th> <th>0.6kW以下</th> <th colspan="2">1kW超</th> </tr> <tr> <th>エンジン排気量 (内燃機関自動車)</th> <th>50cc以下</th> <th>660cc以下</th> <th>660cc超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 歩行補助用具 (免許不要) ・時速6km以下 ・車検なし ・全長:1,200mm ・全幅:700mm ・全高:1,090mm  </td> <td> 第一種原動機付自転車 ・乗車定員1人のみ ・最大積載量30kgまで ・全長:2,500mm ・全幅:1,300mm ・全高:2,000mm ・衝突基準なし ・車検なし ・高速道路走行不可  </td> <td> 軽自動車 超小型モビリティ ・乗車定員1~2人程度 ・高速道路走行不可  </td> <td> 小型自動車・普通自動車 ・乗車定員4人 ・最大積載量350kgまで ・全長:3,400mm ・全幅:1,480mm ・全高:2,000mm ・衝突基準あり ・車検あり ・高速道路走行可  </td> </tr> <tr> <td>歩行補助・支援のため利用</td> <td>日常生活や小口物流の足として あくまでも近場の移動にジャストフィット</td> <td>高速道路を含め あらゆる道路環境、場面で活躍</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：都市と交通（社団法人 日本交通計画協会）</p>	定格出力 (電動自動車)	0.6kW以下	1kW超		エンジン排気量 (内燃機関自動車)	50cc以下	660cc以下	660cc超	歩行補助用具 (免許不要) ・時速6km以下 ・車検なし ・全長:1,200mm ・全幅:700mm ・全高:1,090mm 	第一種原動機付自転車 ・乗車定員1人のみ ・最大積載量30kgまで ・全長:2,500mm ・全幅:1,300mm ・全高:2,000mm ・衝突基準なし ・車検なし ・高速道路走行不可 	軽自動車 超小型モビリティ ・乗車定員1~2人程度 ・高速道路走行不可 	小型自動車・普通自動車 ・乗車定員4人 ・最大積載量350kgまで ・全長:3,400mm ・全幅:1,480mm ・全高:2,000mm ・衝突基準あり ・車検あり ・高速道路走行可 	歩行補助・支援のため利用	日常生活や小口物流の足として あくまでも近場の移動にジャストフィット	高速道路を含め あらゆる道路環境、場面で活躍	
定格出力 (電動自動車)	0.6kW以下	1kW超															
エンジン排気量 (内燃機関自動車)	50cc以下	660cc以下	660cc超														
歩行補助用具 (免許不要) ・時速6km以下 ・車検なし ・全長:1,200mm ・全幅:700mm ・全高:1,090mm 	第一種原動機付自転車 ・乗車定員1人のみ ・最大積載量30kgまで ・全長:2,500mm ・全幅:1,300mm ・全高:2,000mm ・衝突基準なし ・車検なし ・高速道路走行不可 	軽自動車 超小型モビリティ ・乗車定員1~2人程度 ・高速道路走行不可 	小型自動車・普通自動車 ・乗車定員4人 ・最大積載量350kgまで ・全長:3,400mm ・全幅:1,480mm ・全高:2,000mm ・衝突基準あり ・車検あり ・高速道路走行可 														
歩行補助・支援のため利用	日常生活や小口物流の足として あくまでも近場の移動にジャストフィット	高速道路を含め あらゆる道路環境、場面で活躍															
対象者	村民、観光客、事業者、白馬村																
時期	通年																
実施主体	バス事業者、タクシー事業者、観光事業者、白馬村																

表 8.2.1 事業スケジュール

← : 検討 → : 実施

計画目標	施策内容	実施主体	実施スケジュール						中長期
			短期						
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
基本方針1 安心して暮らせるための生活交通の確保と拡充（住民交通）									
1.ふれAI号の利用促進	①ふれAI号の利用促進	タクシー事業者、社会福祉協議会、白馬村	←	→	←	→	→	→	
2.福祉輸送サービスの拡充	②福祉有償運送の見直し・ライドシェアの拡充	タクシー事業者、社会福祉協議会、白馬村	←	→	←	→	→	→	
3.スクールバスの運行見直し、拡充	③最適なスクールバスの運行方法検討	タクシー事業者、バス事業者、小学校、中学校、白馬村	←	→	←	→	→	→	
	④運行事業者のDXによる効率化	バス事業者、タクシー事業者、白馬村	←	→	←	→	→	→	
基本方針2 外国人を含めた観光客が快適に移動できる、まちづくりと公共交通網の構築（観光交通）									
4.観光公共交通の体制の構築	⑤冬期の移動手段の確保	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、観光事業者、白馬村	←	→	←	→	→	→	
5.まちづくりを兼ねた乗継ぎ拠点の拡充・交通整理	⑥白馬駅・八方バスターミナルの整備	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、白馬村、駅周辺商店	←	→	←	→	→	→	
	⑦大糸線の利用促進と活性化	鉄道事業者、バス事業者、関連市町村、白馬村	←	→	←	→	→	→	
	⑧乗り継ぎ駅の利便性向上	タクシー事業者、観光事業者、白馬村	←	→	←	→	→	→	
6.わかりやすい情報案内	⑨わかりやすい公共交通案内・情報の一元化	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、観光事業者、白馬村	←	→	←	→	→	→	
	⑩JSTS-Dガイドラインに沿った交通体制の構築	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、観光事業者、白馬村	←	→	←	→	→	→	
基本方針3 村の豊かな環境維持や担い手不足解消など未来を見据えた持続可能な環境に配慮した交通サービスの発展（持続可能な交通）									
7.村民との協働会議・意見交換の場の確保	⑪地域公共交通会議・検討委員会・各地区の意見交換会	白馬村地域公共交通会議、白馬村	←	→	←	→	→	→	
8.運転車両や運転手不足への対応	⑫公共交通の担い手確保策の検討	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、白馬村	←	→	←	→	→	→	
9.脱炭素を踏まえた新たな技術（DX・GX）の多様なモビリティサービスの活用	⑬自動運転・グリスロ・コンパクトカー・カーシェア・EV自動車・空モビリティの活用	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、観光事業者、白馬村	←	→	←	→	→	→	
10.自然環境維持のための交通	⑭ゼロカーボンロードマップに準じた交通網の構築	バス事業者、タクシー事業者、観光事業者、白馬村	←	→	←	→	→	→	

第9章 計画管理体制



1. 目標設定と数値目標の検討

本計画の目標の達成状況を確認するため、計画目標に対して次のような成果指標を設定します。ここでは、施策の方向性から想定される施策内容に対して数値化が可能な成果指標を設定しています。

なお、この評価指標の数値は、社会情勢等を踏まえ必要に応じて見直しを行う場合があります。

表 9.1.1 計画目標とその成果指標設定値

計画目標	施策内容	成果指標
基本方針1 安心して暮らせるための生活交通の確保と拡充（住民交通）		
1.ふれAI号の利用促進	①ふれAI号の利用促進	指標1 ふれA I号利用者数 指標6 公共交通の満足度
2.福祉輸送サービスの拡充	②福祉有償運送の見直し・ライドシェアの拡充	指標2 福祉輸送サービス利用者数
3.スクールバスの運行見直し、拡充	③最適なスクールバスの運行方法検討	指標3 スクールバス乗車率
	④運行事業者のDXによる効率化	指標7 新規事業の件数
基本方針2 外国人を含めた観光客が快適に移動できる、まちづくりと公共交通網の構築（観光交通）		
4.観光公共交通の体制の構築	⑤冬期の移手段の確保	指標4 白馬ナイトデマンドタクシー利用者数
5.まちづくりを兼ねた乗継ぎ拠点の拡充・交通整理	⑥白馬駅・八方バスターミナルの整備	指標5 白馬駅乗車人数
	⑦大系線の利用促進と活性化	指標5 白馬駅乗車人数
	⑧乗り継ぎ駅の利便性向上	指標6 公共交通の満足度
6.わかりやすい情報案内	⑨わかりやすい公共交通案内・情報の一元化	指標6 公共交通の満足度
	⑩JSTS-Dガイドラインに沿った交通体制の構築	指標7 新規事業の件数
基本方針3 村の豊かな環境維持や担い手不足解消など未来を見据えた持続可能な環境に配慮した交通サービスの発展（持続可能な交通）		
7.村民との協働会議・意見交換の場の確保	⑪地域公共交通会議・検討委員会・各地区の意見交換会	指標8 意見交換会等の開催回数
8.運転車両や運転手不足への対応	⑫公共交通の担い手確保策の検討	—
9.脱炭素を踏まえた新たな技術（DX・GX）の多様なモビリティサービスの活用	⑬自動運転・グリスロ・コンパクトカー・カーシェア・EV自動車・空モビリティの活用	指標7 新規事業の件数
10.自然環境維持のための交通	⑭ゼロカーボンロードマップに準じた交通網の構築	指標7 新規事業の件数

■数値目標の選定方法

指標 1 ふれ AI 号利用者数

・ふれ AI 号の利便性向上について、ふれ AI 号の利用者数の増加を施策の進捗状況を図る根拠とします。

《算定方法》

・白馬村の運行データから 1 年ごとに算出

指 標	現状値（令和 6 年度）	目標値（令和 12 年度）
ふれ AI 号利用者数	15,571 人 (R7年2月末時点)	1.9 万人

指標 2 福祉輸送サービス利用者数

・福祉輸送サービスの見直しについて、利用人数を施策の進捗状況を図る根拠とします。

《算定方法》

・白馬村の運行データから 1 年ごとに算出

指 標	現状値（令和 6 年度）	目標値（令和 12 年度）
福祉輸送サービス利用者数	延べ 50 人	延べ 500 人

指標 3 スクールバス乗車率

・スクールバスに運行見直しについて、乗車率を施策の進捗状況を図る根拠とします。

《算定方法》

・スクールバスの運行データから 1 年ごとに乗車率（利用対象者に対する実際の乗車人数の割合）を算出

指 標	現状値（令和 6 年度）	目標値（令和 12 年度）
スクールバス乗車率	50%	70%

指標 4 白馬ナイトデマンドタクシー利用者数

・白馬ナイトデマンドタクシーの利便性向上について、国別利用人数を施策の進捗状況を図る根拠とします。

《算定方法》

・白馬村の運行データから 1 年ごとに算出

指 標	現状値（令和 6 年度）	目標値（令和 12 年度）
白馬ナイトデマンドタクシー利用者数	8,963 人 (R7年2月末時点)	1.2 万人

指標 5 白馬駅乗車人数

・大糸線の利用促進、白馬駅の整備について、村内外の玄関口である白馬駅の乗車人数を、施策の進捗状況を図る根拠とします。

《算定方法》

- ・白馬駅の年間1日平均乗車人数（JR東日本資料）から算出

指標	現状値（令和5年度）	目標値（令和12年度）
白馬駅乗車人数	271	500人

指標 6 公共交通の満足度

・白馬村のまちづくりアンケートにおける公共交通の満足度を施策の進捗状況を図る根拠とします。

《算定方法》

・令和6年度に実施の第6次総合計画・総合戦略におけるアンケート結果から満足度の割合を算出

指標	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
公共交通の満足度	11.7%	20%

指標 7 新規事業の件数

・計画目標に沿った新規事業の進捗状況を図る根拠とします。

《算定方法》

- ・新規事業の実施件数より算出

指標	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
JSTS-Dガイドライン関連 運行事業者のDXによる効率化 脱酸素を踏まえた新技術活用 自然環境維持関連	3件 ・AI オンデマンド乗合交通 ・Uber アプリ導入 ・レンタルサイクル	6件

指標 8 意見交換会等の開催回数

・地域公共交通を考える場の確保を目的としており、その議論の場である地域公共交通会議以外に、意見交換の機会（タクシードライバー、デマンドタクシードライバーとの懇談）等の開催回数を根拠とします。

《算定方法》

- ・意見交換会等の開催回数

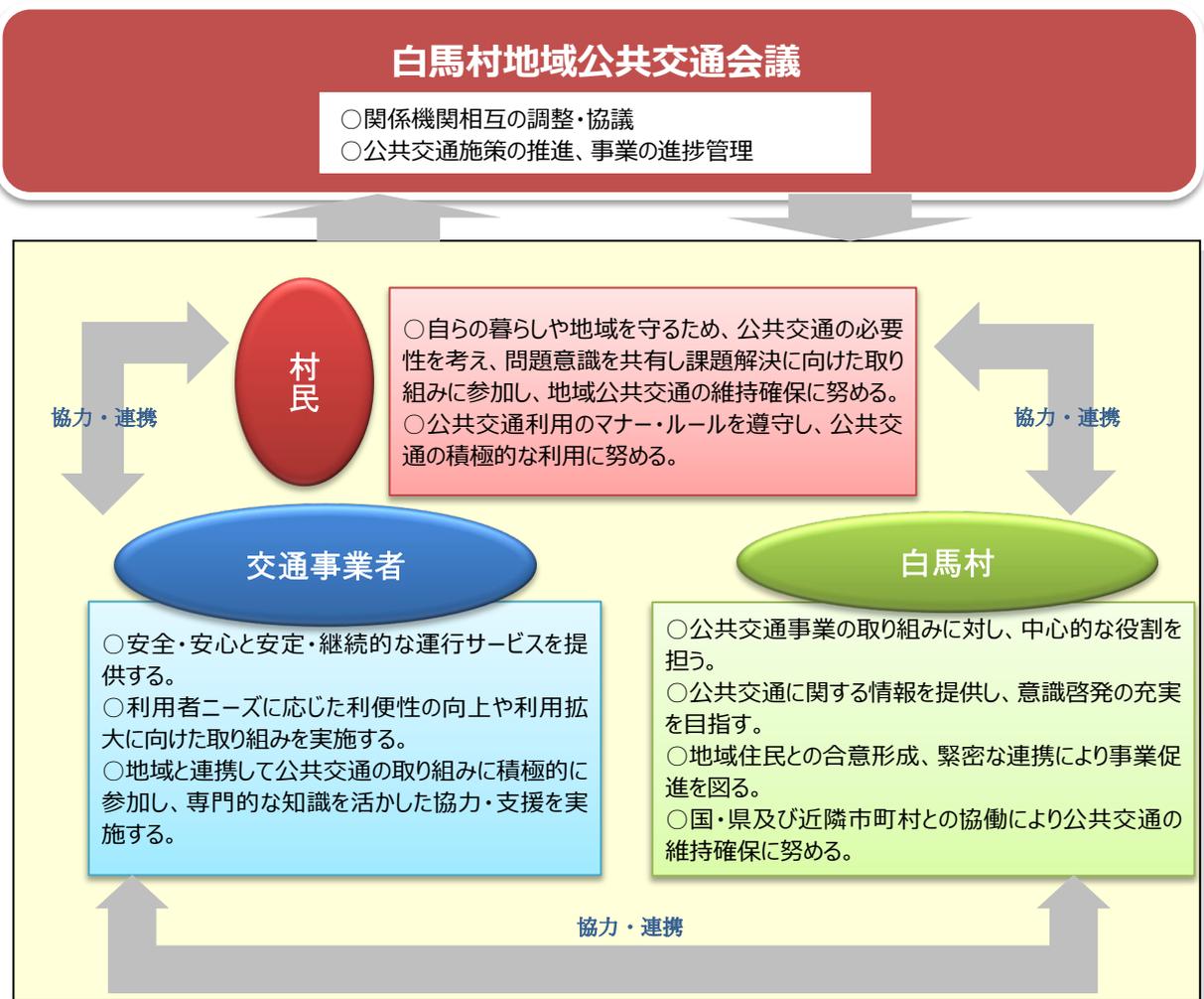
指標	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
開催回数	0回	12回以上

2. 各主体の役割と管理体制

公共交通の維持及び改善は、交通事業者や行政だけでなく、村民（地域、企業、学校等）の積極的な利用や協力が必要です。本計画は村民・交通事業者・村がそれぞれの役割を果たすとともに、相互に連携し、推進します。

白馬村地域公共交通会議は、地域の公共交通に関わる関係者が集まり、地域公共交通の維持や改善に向けて協議する場であり、本計画の進捗を管理します。

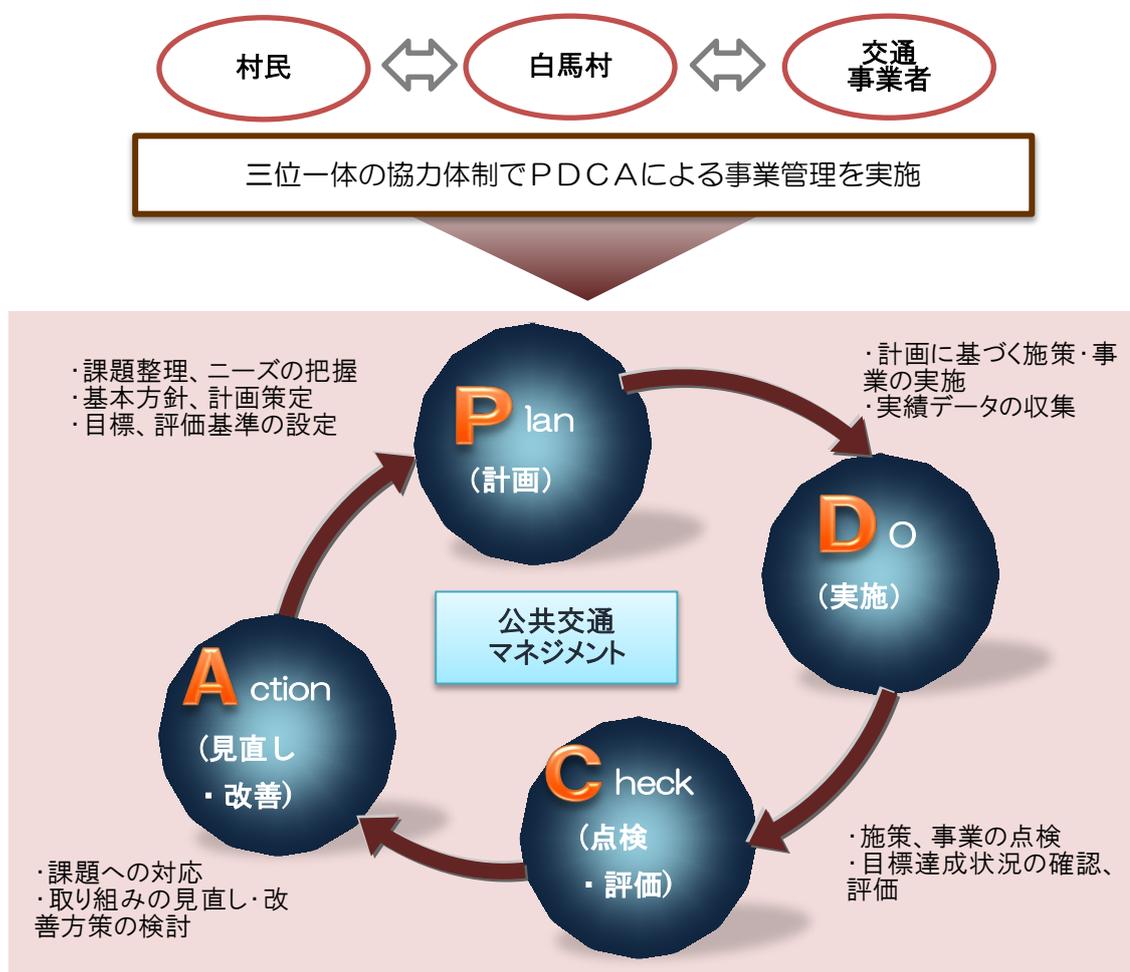
■各主体の役割



利用状況やニーズの把握等については、白馬村・白馬村地域公共交通会議が主体となつて、定期的な点検・評価を実施し、新たな課題との抽出と改善を実施します。このため、PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルを実施する体制を構築し、計画的に取り組むとともに、計画期間の中間時期において事業・目標指標の評価・見直しを行い、事業を効果的・効率的に進めます。

また、PDCAの各段階における計画内容や運行実績、評価結果等の情報を広く開示し、地域住民や利用者並びに事業者の意見を取り入れます。

■PDCA サイクルによる事業管理



3. 事業主体、事業スケジュール

計画期間の最終年度（令和12年度）には、計画全体及び地域公共交通全体について評価・検証を実施します。評価・検証の際には各種アンケート調査を実施し、合わせて最終年度には、次期計画に向けた見直しを行います。

なお、村が運行する公共交通などの利用状況及び計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度実施します。

また、計画期間内で目標値を達成した指標については、途中での見直しを行います。

表 9.3.1 評価方法とスケジュール

項目		令和					
		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
評価方法	鉄道 路線バス 特急バス 高速バス ふれA1号 白馬ナイトデマンドタクシー スクールバス 福祉輸送サービス ・利用者数の把握	○	○	○	○	○	○
	鉄道 路線バス 特急バス 高速バス ふれA1号 白馬ナイトデマンドタクシー スクールバス 福祉輸送サービス ・利用者アンケート調査						○
	村民アンケート調査						○
事業実施の評価		○	○	○	○	○	○
計画の評価							○
計画・目標値の見直し							○
白馬村地域公共交通会議		○	○	○	○	○	○

用語集

あ行

用語	説明
AI	Artificial Intelligence の略。人工知能のこと。
IoT	Internet of Things：モノのインターネットの略。 「様々な物がインターネットにつながること」「インターネットにつながる様々な物」を指す。
インバウンド	外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。
大系線プロモーション事業	大系線の「列車での移動価値」を訴求するプロモーションサイトとして、車での移動では味わえない大系線や沿線の魅力を映像等で伝え、大系線に乗車したからこそ楽しめること等をコンテンツとして発信する事業。

か行

用語	説明
カーシェアリング	1 台の自動車を、複数の人が、共同で使うこと。
キャッシュレス決済	現金を使用せずにお金を支払うこと。クレジットカード、デビットカード、電子マネー（プリペイド）やスマートフォン決済など、さまざまな手段がある。
グリーンスローモビリティ	時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。導入により、地域が抱える様々な交通の課題の解決や低炭素型交通の確立が期待される。
コンパクトカー	5ナンバーで全長 4.2m、エンジンの排気量が 1,500cc 以下というのが大まかなコンパクトカーの基準。

さ行

用語	説明
自動運転技術	ドライバー（人間）が行っている、認知、判断、運転操作（加速、操舵、制動など）といった行為を、人間の代わりにシステム（機械）が行うもので、GPS やカメラ、レーダーやセンサーなど様々な計測装置や情報通信技術を駆使し、道路の白線や、クルマやヒトなどの移動体・構造物を始めとする道路上の周囲環境を読み取りながら、運転操作の自動制御につなげるものである。日本では、自動運転のレベルを 0～5 までの 6 段階とし、段階的に実現を目指している。

JSTS-D	「日本版持続可能な観光ガイドライン (Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations, JSTS-D)」 持続可能な観光の推進のため、各地方自治体や DMO が多面的な現状把握の結果に基づき、持続可能な観光地マネジメントを行うための観光指標。観光庁が令和 2 年に策定した。
シェアサイクル	一定のエリア内に複数配置された自転車の貸出・返却拠点（シェアサイクルポート）において、自転車を自由に貸出・返却できる交通手段のこと。
GX	Green Transformation（グリーントランスフォーメーション）の略語。化石エネルギー中心の産業・社会構造を、クリーンエネルギー中心の構造に転換していく、経済社会システム全体の改革への取り組み。
次世代空モビリティ	ジェット機のような内燃機関を使用せず電力とコンピュータ制御技術を活用した小型航空機である。「動力が電動モーターであること」「操縦士のいない自動操縦が可能であること」「垂直離着陸が可能であること」が次世代エアモビリティを定義する条件とされている。
ゼロカーボン	企業や家庭が排出する二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス（カーボン）の「排出量」から、植林・森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、排出量の合計を実質的にゼロにすること。

た行

用語	説明
地域公共交通	地域住民の日常生活若しくは社会生活における移動又は観光旅客その他の当該地域を来訪する者の移動のための交通手段として利用される公共交通機関のこと。
DX	デジタル技術を駆使して交通システム全体を革新し、移動の利便性、効率性、持続可能性を飛躍的に向上させようとする取り組み。
デザインコード	地域の景観を構成する要素の配置、色、形、素材、生物種における空間の秩序を形成する視覚的な約束事。
低炭素化	地球温暖化問題を解決するため、CO2 などの温室効果ガスの排出を抑えること。

は行

用語	説明
パーク&ライド	道路交通混雑を避けるために、郊外部において自動車を駐車し、鉄道・バス等の公共交通機関へ乗り換える手法。サイクル&ライド（C&R）は自転車で駅やバスターミナル等まで来て列車やバスに乗り換えることを言う。
PDCAサイクル	計画（Plan）⇒実施（Do）⇒評価（Check）⇒改善（Action）のプロセスの順に実施し、改善を次の計画に結びつけ、継続的に改善していく手法のこと。
フリー乗降区間	バス停以外でも路線上の任意の位置で乗降できる制度で、その対象区間を呼ぶ。

ま行

用語	説明
MaaS （マース）	Mobility as a Service の略。個々の利用者の移動ニーズに対応して、複数の公共交通や公共交通以外の移動サービスを最適に組み合わせ、観光、商業、医療、福祉、教育等の多様な移動以外のサービスとも連携し、一括した検索・予約・決済等を提供するサービスのこと。
マイクロモビリティ	自動車よりもコンパクトで、短距離の移動に適した小型の交通手段で、電動スクーターや電動キックボード、電動バイクなどが該当する。

ら行

用語	説明
ライドシェア	<p>公共ライドシェアは、バス事業やタクシー事業によって輸送手段を確保することが困難な場合、市町村や NPO 法人などが、自家用車を活用して提供する有償の旅客運送を公共ライドシェアと呼び、省令において「交通空白地有償運送」と「福祉有償運送」の2つを規定している。</p> <p>日本版ライドシェアは、地域交通の「担い手」「移動の足」不足解消のため、令和6年3月、タクシー事業者の管理の下で、自家用車・一般ドライバーを活用した運送サービスの提供を可能とする日本版ライドシェアを創設した。タクシー配車アプリデータ等を活用して、タクシーが不足する地域・時期・時間帯を特定し、地域の自家用車・一般ドライバーを活用して不足分を供給している。</p>

利用OD	Origin（出発地）－Destination（到着地）の略語です。バスや鉄道の利用者 OD とは、利用者毎の乗車地（O）と降車地（D）がわかるデータのこと。
------	---